

教育委員会の教科用図書採択に係る会議の議事録

第1回 教育委員会の教科用図書採択に係る会議

答申受理

数学、家庭、国語、公民、保健体育 採択審議

1 日時

令和6年7月10日(水) 会議開始時刻14:30 会議終了時刻17:21

2 会場

市役所11階 教育委員室

3 出席者

○教育委員

教育長	阿形 博司
教育長職務代行者	藤本 禎男
委員	森崎 陽子
委員	波床 昌則
委員	石元 和代

○教科用図書採択事務局

事務局長	奥山 由佳	(教育局長)
事務局次長	前北 博文	(学校教育部長)
事務担当課長	岩本 信哉	(学校支援課長)
	西谷 宣昭	(学校教育課長)
	竹内 圭	(教育研究所長)
事務局員	北林 直樹	(教育研究所専門教育監補)

4 議事

阿形教育長

それでは、議案第19号「令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の採択について」の説明をお願いします。

奥山事務局長

議案第19号は、「令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の採択について」御審議いただくものです。これより、令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書採択のための定例教育委員会、第1回採択審議をお願いいたしたく存じます。

これまで、教育委員会は、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例に基づき、令和6年5月9日付で選定委員会に対し、当該教科書の選定について諮問を行いました。選定委員会におかれましては、各教科・種目ごと全ての教科書について熱心な調査・研究・審議を行い、審議結果を答申としておまとめくださいました。本日は、同条例第3条の規定に基づき、選定委員会から答申をいただきます。

これを受け、教育委員会では、今後、8月31日までに、令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の採択を行います。教育委員におかれましては、和歌山市立小学

校、中学校及び義務教育学校教科書採択基本方針を踏まえ、採択権者の責務として、市の子供にとって最も適切な教科書を採択するための御審議をお願いするものでございます。よろしくお願いいたします。

それでは、これより事務局の説明は、教育研究所長の竹内に行かせます。

竹内教育研究所長

本日の採択会議日程について、御説明を申し上げます。これより、選定委員会の答申を受け、数学、家庭、国語、公民、保健体育の順に御審議をいただきます。御答申は、選定委員長に続き、選定委員から教科・種目ごとに、1社ずつ行っていただきます。そのあと、質疑応答のお時間を設けたいと存じます。質疑応答が済み次第、選定委員には退出していただきます。選定委員の退出後、教育委員の皆様には御審議をお願いいたします。

それでは、初めに和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会 高幣 泰男選定委員長より、御答申をいただきたいと存じます。高幣選定委員長、よろしくお願いいたします。

高幣選定委員長

和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会 委員長 高幣 泰男です。教科用図書選定委員会において、これまで審議してきたことを答申としてまとめ、報告いたします。

和歌山市教育委員会

教育長 阿形 博司 様

令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定について（答申）

令和6年5月9日付和教研第83号において、和歌山市教育委員会 阿形 博司 教育長から、令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定についての諮問がありました。

これを受け、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会は、教科・種目ごとの全ての教科書について調査研究を進め、同月9日から5回にわたり審議を重ねてきました。

ついては、ここに、審議結果を「令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申」として取りまとめ、「令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料」を添えて答申します。

令和6年7月10日

和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会 委員長 高幣 泰男

なお、教科・種目ごとの答申は、教科・種目専門の選定委員より、資料に基づきながら行います。

阿形教育長

ありがとうございました。高幣委員長はじめ、各教科・種目の選定委員の皆様には、大変熱心な御審議ありがとうございました。答申は確かに拝受いたします。

数学

竹内教育研究所長

ここからは、教科・種目ごとの答申及び答申資料の御説明をいただきます。初めに、数学の答申及び答申資料の御説明をいただきます。数学は、東京書籍、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版、大日本図書です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は高幣選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくをお願いいたします。

阿形教育長

高幣選定委員、数学の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

高幣選定委員

選定委員の高幣です。数学の答申をいたします。数学は、7社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を1社ずつ申し上げます。その前に、この教科を見る視点として2点申し上げます。

- ①生徒が意欲的・主体的に学ぶことができる学習活動が展開しやすくなっているか。
- ②数学的活動を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善をする工夫・配慮がされているか。

次に、各社の教科書で、共通しているとみることができる内容構成をはじめに2点述べます。

- ①学習において「導入動画」や「補充問題」などのデジタルコンテンツを活用する場面設定が随所にあります。
- ②冒頭の数ページには、自ら考え、考えたことを伝えるなど問題発見や解決する力を身に付けるポイントや意欲的・主体的に学ぶことができる学習活動の展開例、対話的な学びを実現する例、学習ノートづくりの例など、教科書の各コーナーの役割やそのねらいにふれながら、教科書の構成や使い方が示されています。

それでは、各教科書の説明を行います。小学校算数と中学校数学のつながりを考えなければならない部分が多いことから、中学校1年生の教科書を使った説明が多くなります。では、東京書籍からです。

(東京書籍)

答申

算数の振り返りや既習事項との関連づけとして「学習課題」が明示され、系統性も分かりやすいことから個々の実態に応じて自ら見通しをもって学習に取り組むことができる。主体的・対話的で深い学びの実現を促す学習活動を展開することも可能であり、授業でも自学自習でも使えるデジタルコンテンツが多数用意されている。身の回り・社会とのつながりを題材とした内容、小・中・高のつながりや系統性を踏まえた内容なども豊かで、自ら考え、いろいろな意見を出し合って互いの考えを深めたり広めたりすることができる教科書である。

ここから、特色と工夫などについて述べます。1年巻頭を開いてください。1人1台端末を学びの文房具のように取り扱えるようにと、紙面右下の二次元コードから学びを広げる「導入動画」や「フラッシュカード」、「統計ツール」などのデジタルコンテンツを利用することができます。3学年合計1, 752点となっています。このような二次元コードは、随所にあります。1ページの目次には、小学校で学んだ既習事項とのつながりが示されています。12ページを開いてください。算数と数学の学びをつ

なぐ単元として、0章「算数から数学へ」が1年生の教科書に設定されていることから、中学校数学の最初の授業開きで使えるようになっていきます。15ページには「素因数分解」、16ページには「累乗の指数」をこの章の中で学習します。負の数を学習する前に、九九表のきまりを説明する題材で「素因数分解」につなげているのが特徴の1つです。31ページを御覧ください。必ず身に付けて欲しい問題にハート形マークを示したり、基礎的な問題に「チェックボックス」を設けたりして、問題の重要度が生徒に分かりやすくなっています。また、266ページにある「補充の問題」では、少し難しい問題には星形マークがあり、個に応じて学習を進めることができます。60ページには、習得すべき内容の「章の問題A」、61ページには、自ら進んで取り組む「章の問題B」と個に応じた問題があります。他の章にも同様にあります。身の回りの題材を扱うページに、「マイ教科書・マップ」が設けられ、1年では192ページ、47都道府県ごとのデジタル紙面が用意され、和歌山市庁舎、県立橋本体育館などの身の回りにある立体をみる教材があります。

続いて、「学校図書」です。

(学校図書)

答申

各章・各節の始めに、「疑問を発見する」ページがあり、身の回りの生活の中や、数学の学習の中から、主体的に疑問を発見するようになっている。また、その疑問を受ける形で数学の問題に置き換えるように導入問題がある。導入問題では、話し合い活動を取り入れ、その話し合いから学習の目標を立てることで対話的な学びが実現できるようになっている。章のまとめ問題や補助的なデジタルコンテンツが豊富にあり、個別最適な学びができるよう様々な配慮がみられる教科書である。

ここから、特色と工夫などについて述べます。1ページを御覧ください。見開きの目次には、小学校で学んだ既習事項とのつながりが明記されています。8ページには「算数から数学へ」振り返りのページが設けられ、既習事項を確認できるようになっています。生徒が主体的に数学の学びに取り組めるように、導入や各題材において、身の回りや数学の学習の中で疑問に思うことを取り上げており、それを解決したいという気持ちが生まれるような構成となっています。生徒が自分たちの疑問を解決する形で学習が進められるという主体的・対話的な学びに取り組むことができます。個に応じて習熟やつまずき対策ができるように、76ページの「ふりかえり」、84ページの「チャレンジ」や「パトロール隊」、88・89ページの「解答」を示すような二次元コードが、他の箇所にも設けられています。94ページには、発展的な学習内容も取り上げられています。最後に、裏見返しを御覧ください。ここには「プログラミングを体験してみよう」のページがあり、論理的な思考の大切やICT活用の重要性に気づくことができるようになっています。

続いて、「教育出版」です。

(教育出版)

答申

学んだことを振り返るページが全ての章の前にあり、既習事項との関連や予習を促す仕組みがある。また、実社会や日常生活などの数学にかかわる話題を取り上げ学習と関連づけることで、数学の有用性を実感し、学習による自己の成長を感じることもできるようになっている。学習の過程で生じ

る生徒の疑問から、主体的・対話的な学びを通して、学びを進め深める学習活動につながる教科書である。

ここから、特色と工夫などについて述べます。表紙に『『数学レンズ』をのぞいてみよう』と数学の世界へ入るきっかけとなる表紙動画があります。目次には、小学校の学習内容との関連が示されています。12ページを御覧ください。各章を学習する前に「章を学習する前に」、学習後に「学習のまとめ」が設けられ、基礎・基本を確認することができます。16ページを御覧ください。第1章、第1節のこのページには、「素数」や「素因数分解」があり、整数の見方を広げる学習内容があります。その後、正の数・負の数の学習が始まります。26ページを開いてください。このように、例（例題）→たしかめ→問→補充問題と自信を持ちながら学習に取り組めるような構成になっています。70、71ページ「数学しごと人」というページでは、仕事に数学を活用している人へのインタビュー内容を掲載し、数学が実社会で役立っていることを実感することができ、将来の職業を考えるきっかけとなっています。99ページには発展として、生徒が興味・関心を持ってさらに中学2年の内容へと深めていくことができるようになっています。巻末の288ページを開いてください。そこには「学びのマップ」があり、算数の内容をいつでも振り返ることができるような工夫があります。また、算数のコンテンツも数多く用意されています。このように、小学校や前学年で学習した内容から、自分の考えを広げたり深めたりする学習活動に取り組みことができるようになっています。

続いて、「啓林館」です。

(啓林館)

答申

数学的な見方・考え方を体得するために、本文の大切な考え方を働かせている箇所に下線を引き、その右側にどんな考え方を使っているかを示す「標識」の配置が随所にある。学んだことから数学的な見方・考え方を働かせて、生徒自ら課題を発見・解決し、他者と意見を出し合い、比較したりする場面設定も多く設けられている。1人1台端末も有効に活用することで数学の学習がさらに広がるよう工夫されている教科書である。

ここから、特色と工夫などについて述べます。表紙右上の二次元コードを読み取ると、デジタルコンテンツの目次画面を見ることができます。この教科書は、主に授業中に取り組む必須部分の「本編」と、247ページ以降の必要に応じて取り組む選択部分の「数学広場」で構成されています。巻頭に戻ってください。巻頭Ⅰ・Ⅱに、「学びは新しい時代へ！ICTの活用でひろがる数学の学習」見開きページがあり、ICT活用しながら学習を進めるGIGAスクール時代の教科書であることが強調されています。二次元コードからは、教科書の全ての「例」「例題」や「章末問題」を丁寧に解説する動画を見ることができるようになっています。次のページには、「この教科書で学ぶみなさんへ」と学びに導くメッセージがあります。動画やプログラミングなど教科書で使われるデジタルコンテンツ数は1,384となっています。また、デジタルコンテンツ活用により、教科書のページ数、重さを約1割削減され、生徒の持ち運びに配慮されています。12ページを御覧ください。新しい学びがはじまる導入場面では、「学習のとびら」が設けられ、デジタルコンテンツの配置もあることから、生徒が興味・関心を持って学習に向かうことができるようになっています。14ページのように内容のまとめりに「小見出し」があり、目的意識を持って学習に取り組む、「ひろげよう」で既習事項をもとに考えることができるので、スムー

ズに新しい学習に取り組むことができます。34ページを見てください。授業の中で働かせる数学的な見方・考え方を表すために、本文中に「新しい問題をみつけるなど学びをひろげるときに役立つ考え方」を示すオレンジ色の下線や「標識」、「問題を解決するとき役立つ考え方」を表すグリーン色の下線や「標識」で分かりやすくしています。このような下線や「標識」が随所にあります。52ページを開けてください。このように単元に「〇〇の利用」の節が配置され、「〇〇の利用」の節には「ステップ方式」の課題を設けていて、与えられた問題をただ解くだけではなく、自ら問題を発見して解決し、解いた問題をさらに深める力が身に付くようになっていきます。248ページからの「学びをふりかえろう」には、算数で学んだ内容を復習する問題や、「力をつけよう」「学びをいかそう」では、各章と関連する内容で、生徒が深化・発展的で探究的に取り組むことができる問題が豊富にあります。

続いて、「数研出版」です。

(数研出版)

答申

日常の学びを生徒が主体的に進めることができるように構成されている。各章に入る前に、学習内容と関係する既習内容のページ「ふりかえり」があり、その章を学ぶ前に確認しておきたい既習内容が示されている。また、学習のめあても確認しやすい。教科書の各ページの下に掲載された二次元コードを読み取ることで、学習内容に関連したコンテンツを利用することができる。基礎・基本の定着、数学的に考え説明する力の育成、数学を学ぶことの楽しさなどに力を注いでいる教科書である。

ここから、特色と工夫について述べます。11ページを御覧ください。各章の学習に入る前に、その章に関連する既習内容を確認できるようになっており、新たな学習内容と既習事項との関連等が分かるようになっています。21ページにあるような項目の冒頭に、QやTRYが多くページに設けられ、数学的活動を通して新しい内容を学ぶことができるようになっています。また、キャラクターの対話の場面によって、数学的な見方・考え方が具体的な形で視覚化され、数学的な見方・考え方を身に付けられるよう支援されています。「例」や「問」も細かく配置され、基礎的・基本的な知識・技能が無理なく習得できるような工夫がみられます。22ページを御覧ください。節末にそれぞれ標準的な「確認問題」があり、定着度合いを確認することができます。54ページを開いてください。「やってみよう」などの活動を通して、さらに学びを深めることができるようになっています。また、左下にあるような二次元コードが他のページにも配置され、「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探究」の5種類のコンテンツとリンクしているので、使いやすくなっています。1年158ページを御覧ください。平面図形の導入場面に子午線上に和歌山市友ヶ島があることが紹介されています。巻末292ページから1年の内容を領域別にまとめたページを設けています。算数の内容をあわせて確認することができるようになっており、小中の接続に配慮されています。

続いて、「日本文教出版」です。

(日本文教出版)

答申

新たな学びに入る前に既習事項を確認し学習を進めるようになっている。各章や巻末には多彩な問題がバランスよく配置され、個に応じて扱うことができるようになっている。また、主体的・対話的

で深い学びの実現を促す学習場面の設定もある。「分かる」「できる」を大切にした基礎・基本を重視した学習を進めることができる教科書である。

ここから、特色と工夫などについて述べます。1 ページ見開きの「もくじ」には、「算数で学んだこと」があります。14 ページのように学習の「めあて」が明示されているので、学習に見通しをもって取り組むことができます。23 ページを御覧ください。デジタルコンテンツに二次元コードからアクセスすることができます。理解を助けるアニメーションや動画などのコンテンツが各所に用意されています。51 ページを開けてください。節末の「基本の問題」、54 ページの章末には、基礎・基本から標準的な問題までの「章の問題」と、55 ページのやや難易度の高い問題の「とりくんでみよう」が設けられ、個の実態に応じて扱えるようになっていきます。他の章にも、それぞれの章の内容の問題が設けられています。260 ページを開いてください。「プログラムと数学」では、素因数分解をするプログラムについて考察することができるようになっており、素因数分解を実行するプログラミングのコンテンツも用意されています。

最後に、「大日本図書」です。

(大日本図書)

答申

各学習単位で「めあて」の明示があり、見通しをもった学習活動が進めやすい。学んだことが身に付くように豊富な課題が用意されており、基礎的・基本的な知識・技能等の定着を図ることができる。学習に主体的・対話的に取り組み、学習したことを深めるための学習活動を進めることができる教科書である。

ここから、特色と工夫などについて述べます。2、3 ページの目次ページを御覧ください。ここでは、既習事項とのつながりが明記され、学習の系統性が分かりやすく示されています。14 ページを御覧ください。第1章第1節で「素数」や「素因数分解」「累乗」を学習します。また、各学習単位で「めあて」と導入課題「考えよう」で、学習目標が明確に示されています。また、「活動」を通して対話的に学習に取り組むことができるようになっていきます。「活動」・「例」・「例題」を適切に配置し、学習の流れを分かりやすく構成されています。49 ページにあるような「ウェブコンテンツ」マークが対象を絞って表示され、ICT教育への対応もみられます。59、60 ページを御覧ください。各章にある「利用」の課題、ここでは「正の数、負の数の利用」で、思考の段階に対応させて問題発見・問題解決の流れを示し、学級の仲間と協力して問題解決に取り組むとともに、解決の過程を振り返ったり、新たな問題を発見したりすることを通して、深い学びが実現するような工夫があります。これで7社の教科書についての答申及び答申資料の説明が済みました。どの教科書も内容構成に差はなくつくられています。既習事項の振り返りや算数から数学への接続、基礎・基本を図るための工夫もよくできています。どの教科書も、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができる学習活動が展開しやすくなっています。一方、それぞれの教科書を比べる中で、目次ページに既習事項が併記されている教科書とそうでない教科書があります。また、学習の流れやポイントを色や下線、吹き出し、側注を使って学習者への視覚的な示し方に若干の違いがみられます。加えて、二次元コードからつながるデジタルコンテンツの量や内容に違いが見られます。さらに、数学的活動をとおして、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善をする工夫・配慮については、教科書による差が若干あります。以上で、数学の答申及び答申資料の説明を終わります。

す。

阿形教育長

ありがとうございました。報告いただいた内容について、質問等ありましたらお願いします。

波床委員

前回の教科書選定の際に拝見した教科書と比べた場合、今回は特徴的な工夫や特色のある工夫がされていました。例えば啓林館では、「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」に分けられていました。数研出版では、本冊と別冊に分かれているという工夫が見られて、かなり特色があったのですが、今回、かなり平準化されて、全般的に同じような構成になってきています。これは教育現場からのやりにくいなど何らかの声があったからなののでしょうか。

高幣選定委員

現場の声は私も直接聞き取ったことはございませんが、自分なりの感想を含めて発言をさせていただきます。今使っている教科書と比べて、今回の教科書はデジタルコンテンツに対応されているというのが、各社の特徴でありますし、今回の大きな教科書改訂の目玉になっていると思います。

そういう観点から、委員がおっしゃられたように、内容的に各社の大きな違いが、若干減ったあるいは狭まったのかな、という思いがあります。ただその中でも、色の工夫や下線の工夫、側注といった生徒自らが、この教科書を使って学ぼうという意欲を示しやすいと感じました。教科書会社によって、色具合の違いや、絵柄の違いの示し方に力を入れていると感じました。また、デジタルコンテンツを使っているICTの活用については、各社の特色がございますので、概要的なことについては、私も読み取った中で、説明するには不十分なところがあるのですが、「分かりやすさ」を支援するという視点で工夫し、学習できると思います。以上です。

阿形教育長

ほか、何かございませんか。かなり丁寧に教科書のページ数を言いながら御説明いただきましたので、分かりやすかったかなと思います。それでは、高幣選定委員には御退出いただきます。どうもありがとうございました。

数学の審議に入る前に事務局に伺います。教科書展示会において、数学について何か御意見はありましたか。

竹内教育研究所長

1件の御意見がありました。資料4「令和6年度教科書展示会に関するアンケート結果」の23ページの御意見になります。

阿形教育長

アンケート結果、資料4でいただいているのですけれども、1番の資料に教科・種目に関するアンケート結果が載せられておまして、数学は1点だけで、23ページということ。いろいろ市民の方の御意見、せっかく展示会をやっておりますので、こういったものに目を通しながら我々も審議をして

いきたいなと思いますし、審議の途中でも結構ですのでこういったものを踏まえながら御意見を出していただけたらと思います。

それではこの後、数学の審議に入りたいと思います。いろいろ事前に御覧になって、いろんな御意見があるかと思いますが、どんなことでも結構です。数学の方、7社ございますのでよろしくお願い致します。先程高幣委員からもありましたけど、平準化という言い方はおかしいかもしれませんが、割と教科書がどこも似ているというか、特色はあることはあるのだけれども、似てきているのかなと思います。できれば2社、ないしは3社ぐらいに絞っていきたいなと思っております。

波床委員

今回の教科書は、特色的な工夫が割と鳴りを潜めて、平準化傾向にあり、各社とも構想が似通っています。その他にもう1つ感じるのが、今回の教科書の場合は、一般的に身近な課題に数学的思考が、「生かすことができる」、また「生かされている」ということを体感させるような傾向がより強くなってきているという気がいたします。数学を学ぶことの意味を生徒たちに十分意識付けをする上においては、好ましい傾向だろうと思います。ただ、和歌山市の生徒たちの数学的能力の程度からしますと、先日の学力テストの調査結果からいえるように、平均から見ると少し低い傾向があることは否めないと思います。そういう意味からすると、今回の教科書選定にあたっては、あまり内容が盛り沢山で、内容が少し高度なものではなく、もっと基本を教えることに重点を置くような教科書が望ましいと思いました。具体的に教科書名を挙げますと、啓林館の教科書が内容も割と分かりやすく、すっきりしていますので、教えやすいし生徒も理解しやすいのではないかと思います。それから、「説明しよう」とか「話し合おう」という課題も随所に見られて、言ってみれば生徒間で勉強しながら会話し、自らの学力定着を図っていく、あるいは、他の生徒たちに刺激を与えたり、刺激を受けたりするという教育効果を上げる工夫も啓林館はよく見られるのではないかと思います。次に第2順位として現時点で思うのは、やはり東京書籍が安定しているという気がいたします。身近な問題を例題として、数学的な思考が生かせる、あるいは現に生かされているということを非常に強くアピールする内容になっていると思います。生徒に数学的な興味を覚えさせるという姿勢が、強く一貫している教科書であると言えます。ただし、内容がやはり盛り沢山で高度にわたるとい部分もありますので、やや教えにくいし、生徒が徐々に分からなくなってきて、それが数学嫌いを生む懸念もあるようにも思います。従って、啓林館と東京書籍を比較した場合に、冒頭に申し上げましたように、基礎的な事柄を十分理解してもらって力を蓄えていってもらおうという意味合いで、啓林館を第1順位で私は推したいと現時点で思っております。数研出版なども、さすが数学に非常に強い会社だなという気がいたしますけども、解法のテクニックを学ばせるような、そういう傾向が中学校の教科書についてはあるような気がいたします。啓林館、東京書籍を第1順位、第2順位で、私は、現時点で挙げさせていただきたいと思います。以上です。

石元委員

私も教科書を見比べてみて、どれが一番というのが、見つけるのがとても難しかったのですが、第1位は啓林館がいいかなと考えています。先程の説明にもあったように、オレンジのアンダーラインやブルーのアンダーラインが、すごく子供の目からも視覚的に、ぱっと目に入るような色使いで工夫されて、視覚に訴えられているというのと、図や写真なども、丁度良い所で、適所に入ってきているし、量もちょうどいいなと思います。あと、二次元コンテンツで動画解説が見えるというのも、中学校の数学とな

ると、私も教えるのが難しいので、子供が自分ですぐに解説を見て、問題解決ができるというのは、とてもありがたいなと感じています。家庭で復習するときにも、とても役に立つと感じています。それで、小学校でも啓林館が使われているのですが、そのせいもあってか、見て馴染みのある落ち着いた感じがします。あと、東京書籍もいいと思うのですが、東京書籍は1番最初に「0章 整数の性質」といって、九九の表の決まりを見つけようというところから始まるのですが、丁度これが、小学校から中学校へ、算数から数学で繋がっていく、スムーズに学習が入っていける所が魅力的だと思います。先程、波床委員がおっしゃられたように、ちょっと情報が多いというか、パッと見て余白がとても少なく、行間も結構詰まっているような感じがするので、見ていてしんどいと感じる所もありますが、これも良い教科書だなと思います。総合的に見てみて、啓林館がいいと感じました。以上です。

森崎委員

私は、2人と同じように第1候補は啓林館と考えました。その理由は、まず目次までの内容がICT活用を前面に出しているということ。対話的な学びの方法、主体的な学びの方法、深める方法、ノートのまとめ方などで、非常に細やかに計画されている。章の進め方がスモールステップで、0より小さい数から生活の中での生かし方、きめ細やかに進められている。0より小さい数字の捉え方は、専門的ではないので間違っているかもしれませんが、他の本ではないのではないかと。問題数も多いし、ICTの活用もされている。何よりスモールステップで進められていることが一番大きな理由です。波床委員が言われましたように、やはり、今の和歌山市の中学生の力を考えまして、少しずつ進めていくことが非常に大事なかなと思いました。第2候補はやはり同じように、東京書籍です。啓林館と同じぐらい詳細に分かる章立て、分かりやすい問題の叙述。身の回りのことから、問題提起がされており、自分で考え、話し合っ解決することの手順が分かりやすく効果的であると思いました。巻末の「もっと数学をつなげよう」も、よく考えられていると思いました。以上です。

藤本委員

皆さんの御意見と同じく私も、1位は、啓林館とっております。高幣選定委員もおっしゃられたように、ものすごく7社が似通ってきた。内容もものすごく似通っているなとっております。ただ、今回、東京書籍の「正の数と負の数」の「負の数×負の数」のところ、ページで言いますと42ページなんですけれども、かなり「負の数×負の数」の説明が少なく、そしてすぐにもう右のページの上に、同符号の数では、かけ算したときには正の数になりますよという説明をしているわけなんです。これを和歌山市の生徒が見たときに、歩いているのが東とか西と言われても、少し分かりづらいですね。それを同じように説明しているのは数研出版の36、37ページ。東京書籍では、42ページの1ページだけで、先生がこれをきちんと説明できるのかということも難しいし、読解力がちょっと弱い生徒にとっては、1ページで「西へ行く、東へ行く」と言われても、どこか分かりにくいということになります。その点、数研出版の、36、37の2ページで、これを行っていて、そして表で、「だんだんだんだん減っているよ、だんだんだんだん今度は増えているよ。」「負の数と負の数をかけたら増えていっているよ」ということを、表でも、言葉でも、表しています。だからそういった面で、ここだけではないんですけども、これを見ても、教える側としたら、数研出版の方がいいかなとっております。そして、2年生の内容でも、文章が丁寧にきちんと書けている。「方程式とグラフ」のところなんですけれども、そういったところの説明も、かなりきちんと書けているなとっております。それと、東京書籍の110

ページの一番上の問1。「 $x : 120 = 2 : 3$ 」、これを比の値が等しいから、 $x / 120 = 2 / 3$ 、この両辺に、分母の120と3をかける。これは3をかける必要がないわけなんです。120かけたら、分母が消えるので両方も、こういったところで教科書全てを見たんですけれども、ちょっと腑に落ちないところが今回、東京書籍にありました。ですから私は、啓林館の次に、数研出版の方を推させてもらおうと思います。ただ、数研出版の方は、3年生を見ていただくと、高等学校へ繋がる内容の方がものすごく多いんです。ですから、中学校と高等学校の一貫教育を意識した教科書と、読めることがあるので、そういった懸念があります。もう1つは、こうやって加法と減法が出てきてくれるんですけども、言葉が言いすぎなところがあって、生徒たちが考えようとしているときに、答えを教えてしまうようなところがあるので、そこはちょっと懸念される場所でした。ですから、私は最終的には1位は啓林館で、2位が数研出版、3位をつけるとしたら東京書籍という内容です。以上です。

阿形教育長

ありがとうございました。私も大体皆さんと一緒に、やっぱり啓林館の教科書は見やすいし、使いやすいかと思います。見開きでICTの活用で今すごく言われているGIGAスクールを意識した教科書なのかな。それからデジタルコンテンツも含めてですね、いろんな問題があって、解決するための動画が全てあるということや、他のものもあるかも分かりませんが分かりやすいかという気がしました。それから活動場面なども結構されていますし、解決の過程が意識されているのかなと思いましたし、波床委員がおっしゃったようにやっぱり身近な課題というか、その生活に生かされている算数、数学を勉強して将来何になるのかななど、そういったものが割と意識されているのかなと思いましたし、教えやすいかと思います。2番手、3番手は、東京書籍、数研出版。見慣れているせいもあって見やすい感じがするんですけど、内容が難しかなという気がしますし、先程藤本委員がおっしゃったように、丁寧な書き方をしているのは、数研出版もあるかなと思いました。

今、皆さんの御意見をまとめますと、啓林館が1番だと皆さんおっしゃっていますので啓林館と、それから東京書籍と数研出版というのもありますので、3社残すという形でいかがでしょうか。啓林館が皆さん、1番に推されているので、一番良いのかなとは思いますが、あと東京書籍、数研出版を残して、次回、最終決めていくということよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは数学については、啓林館1番手。それから2番手で、東京書籍及びに数研出版、3社を残すという形で再度、後日決めたいと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

家庭

竹内教育研究所長

技術・家庭科（家庭分野）の答申及び答申資料の御説明をいただきます。家庭科は、東京書籍、教育

図書、開隆堂です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は西岡選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願ひいたします。

阿形教育長

西岡選定委員、家庭科の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

西岡選定委員

選定委員の西岡です。技術・家庭科家庭分野の答申をいたします。家庭科は、3社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

(東京書籍)

答申

自立と共生のための実践的な力を身に付けさせることに重点をおいており、見開きページに、始めの活動、学習課題、学習内容、学習のまとめが見やすく構成されている。図表、写真、デジタルコンテンツなどの資料も豊富で、小学校家庭科や他教科との関連を図りながら、主体的・対話的な学びが実現できる教科書である。

本教科書はA B判サイズの297ページです。内容の配列に特色があり、学習指導要領の3つの内容のうち、第1学年の最初に学ばせるA(1)を1編に位置づけ、そのあとにBCAと続く構成となっています。デジタルコンテンツの説明は4ページを御覧ください。「動画」や「シミュレーション」で実感を伴う学びを促すことや、「思考ツール」を用いて、主体的・対話的に学習させることもできます。また、他教科リンクでは、小学校家庭科や他教科の教科書ページを見ることができ、系統的・教科横断的に学びを深めることができます。調理や製作の例が豊富なことも特色の1つです。90ページを御覧ください。鮭のムニエルの調理法が6枚の手順写真で示されています。横向きの配列は特別支援教育への配慮でもあります。東京書籍については以上です。

(教育図書)

答申

生活を、自分ごととして見つめ考える活動を通して、主体的・対話的な学習を促す工夫がある。身に付けた知識・技能を生活に生かすための課題解決学習や、応用・発展させられる実習題材などについての内容が充実しており、実践的な力の育成につなげられる教科書である。

本教科書は他社より少し縦長のA4判変形で、293ページです。72ページを御覧ください。各節のタイトルは、短い文章で授業テーマを示しており、「見つめる」にある身近な生活の写真やイラストは、導入段階での意識づけに活用できます。説明のイラストや写真も豊富で、分かりやすく表現されています。190ページを御覧ください。「布のボックス」を、各自が作りたい大きさと製作するための手順が分かりやすく示されています。191ページには、「私のアレンジ」として、リバーシブルバッグや不要なズボンをリメイクする例が載せられています。このように、実習例には、生徒の創意工夫を促す記載が各所にみられます。章ごとの「学びをいかそう」では、自分の課題を発見するためのワークや、課題

解決の手順、レポートの書き方が示され、課題解決学習にも重点がおかれています。教育図書については以上です。

(開隆堂)

答申

「自立と共生は一体」「科学的な内容」「命と暮らし」「持続可能な社会」の4つの視点を重視して編修されており、「多様性・個の尊重」や「防災」に関する内容が多く取り上げられている。科学的な根拠に基づく知識・技能を身に付け、社会に向けて視野を広げることのできる発達段階に適応した教科書である。

本教科書はA B判3 1 3 ページで、ページ数は1 番多くなっています。1 1 ページを御覧ください。「助けを求めることは共生であり自立でもある」ということを具体的に説明し、これに関する内容が随所に掲載されています。「家族・家庭生活」の内容では「ヤングケアラー」を取り上げ、相談窓口の名称や電話番号など、家庭生活に関わる問題で、助けを求める方法を示しています。「多様性や個の尊重」については、表紙のイラストでも表現されていますし、家族・家庭の「参考」コラムには「様々な家族のかたち」が、住生活の「参考」コラムには「住まいは人権」と言われる理由が書かれています。調理実習例は他社より少ないですが、主となる題材は1 番多いです。1 4 3 ページを御覧ください。ここでは、「白身魚のホイル蒸し」をフライパンで蒸す方法と電子レンジを使う方法の2通りを掲載し、蒸し器が無くても家庭で実践しやすいよう工夫されています。また、「なぜそうするのか」という科学的な根拠を示しているので、様々な場面で活用できる力の育成につなげることができます。開隆堂については以上です。以上で家庭科3社の説明を終わります。

阿形教育長

どうもありがとうございました。それでは、報告いただいた内容について、質問等ありましたらお願いします。

藤本委員

ありがとうございました。本当に3社とも内容が似通っていますし、設定の章立ても全て一緒であると見受けられました。3社とも大きい小さいはありますけれど、実習の時の絵がきちんと大きく書かれています。写真とか動画なども設定されています。ただ、懸念しているのは、中学校1年、2年生では3 5 単位時間、中学校3年生になるとその半分の1 7. 5 単位時間ぐらいとなっているわけです。そういう中でこれだけのページがあった時に、どのように選定委員としては家庭科を進めていく、こういうふうに行っているということがありましたら教えていただきたいです。

西岡選定委員

学習指導要領にも書かれているのですけれども、家庭科の各内容は、それぞれ単独で授業を行うというのではなく、それぞれの内容を関連付けて、重ね合わせながら授業を進めていくのが望ましいという

ことが、学習指導要領にも書かれています。それは、担当する教員の工夫が必要ですが、それに加えて申し上げますと、やはり生徒が見て、自分で学習できるというような、そういう視点も大切ではないかなと思っています。家庭分野の方は、やはり家庭で実践する、学んだことを家庭で実践するというのがとても大事な教科ですので、家庭で生徒が実践するときに、教科書を参考にして、それを使って学習ができるということが大事ではないかなと思っています。

阿形教育長

他に質問はございませんか。詳しい説明ありがとうございました。それでは、西岡選定委員には御退出いただきます。

家庭科の審議に入る前に事務局に伺います。教科書展示会において家庭科について意見はありましたか。

竹内教育研究所長

家庭科についての御意見はございませんでした。

阿形教育長

はい。ありがとうございました。それでは、家庭科の審議に入ります。

藤本委員

私はよく見ると東京書籍とそれから開隆堂はよく似ているなと思います。3社の中でもその2社が似ていると思います。それから、この横書きになっていて特別支援の生徒に対しても優しいというかそういう分かりやすさを入れているところは2社が良かったかなと思っています。写真など、調理実習の時、あるいは西岡選定委員もおっしゃっていましたように何か自分で作ってみよう、改善してみようというのをよく載せているのはこの2社かなと思っています。今のところは、この東京書籍と開隆堂が甲乙つけ難いと思っています。以上です。

波床委員

私は開隆堂がやや良いかなと思っています。本当に東京書籍も教育図書も良く出来ているので甲乙つけ難いところがあると思うのですが、開隆堂は比較的情報力が少なく写真が多用されている傾向があって、家庭科として家で何かトライしてみるという時、この写真が分かりやすく、大きくて持っていれば非常に利用しやすいのではないかなという気がします。もちろん、家庭科で学ぶことというのは衣食住の基本形な生活習慣が大事だということを自覚させるとか、あるいは環境に配慮した生活を送る必要が今はあるのだというようなこと、こういったことを自覚させるのは非常に大事な視点だと思うのです。私がみたところ、こういった視点では3社の教科書はいずれも良くできているので甲乙つけ難いと思います。情報量の少なさ、大きな写真が多用されているという使いやすさという観点から開隆堂がやや良いかなと思います。以上です。

森崎委員

今、委員がおっしゃってくださったように参考にして使ってみたいなと主婦の立場からすれば開隆堂

でした。明日、牛井を作ってみたいなと思いました。そのように見ますと東京書籍も見たのですがやはり倍ほどの品数、沢山載ってしまして情報量としては、資料の内容としては豊富で、教科書としては素晴らしいのではないかと思います。家で使ってみたいなと先程おっしゃってくださっていたので、そうすると最初の学び方と身につけたい力、主体的・対話的で深い学びのことも身近なものと置き換えて書いてくださっている。分かりやすい。それから自立と共生についても本当に分かりやすく書いてあるので生かしていかないとと思いました。2つを候補としてあげさせていただきたいと思います。

阿形教育長

ありがとうございます。私も大体一緒に東京書籍は見やすいかなと思っているのですが、確かに資料が多いということで、写真とかの大きさとかインパクトで言ったら開隆堂かなと思います。家庭科の教科書ですので、数学とはここが違って、やってみるや実際に自分でやりたい、そういう意欲が大事だと思います。そういった意味で、東京書籍と開隆堂。できたら1社に絞りたいんですけども、大体こう分かれておりますので、家庭については2社を残すということでよろしいでしょうか。それでは、家庭科につきましては、東京書籍と開隆堂を残して次回で1社にするということでよろしくお願ひします。

国語

竹内教育研究所長

続いて、国語の答申及び答申資料の御説明をいただきます。国語は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は高木選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願ひいたします。

阿形教育長

高木選定委員、国語の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

高木選定委員

選定委員の高木です。国語の答申をいたします。国語は、4社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を申し上げます。国語科の特徴として、教科書の教材で何を学ばせるかが重要ですので、そういった観点に注意を払い、答申いたします。それでは、1社ずつ申し上げます。

(東京書籍)

答申

「未来への扉」として9つのテーマを巻頭で示し、言葉の力で未来を生きるために必要な力を育んでいくことを意識づけている。各教材で「言葉の力」の欄を設け、どのような力を身に付けていくのかを具体的に明確に示している。二次元コードでは、学びを深めるコンテンツが豊富で、生徒の学びたい意欲に応える教科書である。

東京書籍の教科書は、巻頭の折り込みで「未来への扉」として9つのテーマを示し、未来を生きるた

めに必要な学びを意識させています。本編最後の章にも、1年間の総まとめ教材として「未来への扉」を設け、学んだ「言葉の力」を生かす課題で進んでいます。また、各教材の目標の確認から振り返りまでの学びの手順を、1例を申し上げますと、1年生の教科書では「読むこと」教材として22から24ページの3ページで、「書くこと」教材では、33、34ページの2ページで、「話すこと・聞くこと」教材では、174から178ページの5ページで示しています。情報活用能力の育成については、「ニュースの見方を考えよう」や「図書館の活用」の教材を設定し、情報の収集や整理、編集、表現・発信の仕方を学べるようにしています。そして、二次元コードはコンテンツの数が最も充実しています。コードを読み取ると、まず目次が出てきて、その目次をタップすると更にその項目についての目次が出てくるという形になっています。豊富なデジタルコンテンツがあることで、教科書のページ数を削減しています。東京書籍は以上です。

(三省堂)

答申

「思考の方法」を図解で示したり、「読み方を学ぼう」で読みに関するスキルを解説したりして、国語力を高める手段を具体的に系統立てて配置しており、生徒の主体的な学びに重点をおいた教科書である。また、「情報を関連づける」の章を設け、図表・文章など多様な情報を関連づけながら現代の課題について考える学習を設定している。

三省堂の特色は、「思考の方法」や「読み方を学ぼう」などで、国語力を高める手段を具体的に、系統立てて配置していることにあります。1年生の教科書では、16ページを御覧ください。「思考の方法」として9種類の思考ツールを示し、次の折り込みの表と裏のページで図解の一覧にしています。そして、教材ごとの学習活動を示す「学びの道しるべ」のページ、例えば、1年生の教科書34、35ページでは、「学びの道しるべ」「思考の方法」「語彙を豊かに」「学びを広げる」の4点セットで何を学ぶのかを捉えやすくしています。「読み方を学ぼう」では、読み方の方略を視覚的に捉えられるようにしています。「グループディスカッション」の単元については、各学年の第1章で設定し、1年間の対話的な学習をリードしています。二次元コードでは「話し合い」の場면을視聴した後、話し合いを効果的にするための「こつ」の解説が流れます。また、「情報を関連づける」は、1つの章として設け、冒頭は漫画スタイルで解説し、生徒の興味を引くようにしています。二次元コードの特徴としては、何が収録されているかを具体的に明記しているものが多く、また、そこから「NHK for school」など、外部リンクに繋がるものもあります。三省堂は以上です。

(教育出版)

答申

「総合（SDG s）持続可能な未来を作るために」という単元を設けて、未来の担い手としての関心を高めながら、考えを深め、協働的に課題解決に取り組むことで国語力を高めることをねらいとしている。「学びナビ」は、何を学ぶかを教材よりも前に配置し、目的意識をもって学習に取り組んでいくことを企図した教科書である。

教育出版の特色は「総合（SDG s）持続可能な未来を創るために」という単元を設けて、未来の担い手として、考えを深め、対話的な学習をすることで国語力を高めることをねらっています。また、「何

を学ぶのか」を示した「学びナビ」は、これから学ぶ教材よりも前に配置しているところが他社にはない特徴です。例えば、1年生の教科書92ページにある「森には魔法使いがいる」という教材では、その前のページに「学びナビ」を配置し、教材の後ろの101ページの「みちしるべ」で、学習活動の流れと「学びナビ」との関連を示しています。二次元コードには内容の表記はありませんが、読み取ったコンテンツに現れたメニューから学びたい目的に合ったものを自分で選び、タップすると、教材理解のための補足資料や画像、動画等が流れるようになっていきます。教育出版は以上です。

(光村図書)

答申

教材ごとの「学びへの扉」「学びのカギ」などで、生徒の学びの内容、手順を視覚的に捉えやすく示し、主体的、対話的、深い学びに向かうことを企図したユニバーサルデザインの効果が特徴的な教科書である。また、二次元コードを効果的に活用し、「話すこと・聞くこと」教材には、音声や動画から始まる新しい学びの形が提供されている。

光村図書の特色は、生徒が学習の見通しを持って主体的に取り組むことを追求しているところにあります。具体的には、教材ごとの「学びの扉」「学びのカギ」が挙げられます。例えば、1年生の教科書では「話すこと・聞くこと」教材の34、35ページ、見開きで提示の仕方が視覚的に捉えやすくなっています。この形はすべての領域で統一されており、生徒は学習の見通しが持ちやすくなります。「書くこと」教材の例は54、55ページ、「読むこと」教材の例は28、29ページなどで確認できます。

そして、巻頭、折り込みの「学習の見通しをもとう」や、その裏面の「思考の地図」の図解一覧も、ページをめくらずとも、必要な情報が一目で確認できます。二次元コードについては、何が収録されているかが具体的に明記され、コードを読み取ると、ダイレクトに視聴したい内容が現れます。そして、1年生の教科書189ページのように、音声や動画を視聴して、教科書の問いに答えるというような「話すこと・聞くこと」教材で新しい活動が取り入れられています。また、巻末の「ICT活用のヒント」で、活用場面の提案があるところが他社にはない特徴です。以上です。

阿形教育長

報告いただいた内容について、質問等ありましたらよろしくお願いします。

森崎委員

この思考ツールというのは、深い学びに繋げていく意味での手段としておりますが、その効果というのはどのようなものでしょうか。思うような展開ができるものですか。

高木選定委員

はい。言葉による学びは形のないものですので、抽象的なことで学習していくことになるのですが、視覚的に整理されたものを見ることで、思考の過程等が子供には掴みやすいと思います。指導する側としても、今は電子機器も発達していますので、前で示したりしながら説明するにはありがたいツールです。

阿形教育長

ありがとうございます。ほか、ございますか。それでは高木先生、どうもありがとうございました。それでは事務局に伺いますが、教科書展示では御意見をいただいているのでしょうか。

竹内教育研究所長

国語について6件の御意見がありました。該当ページは、資料4、令和6年度教科書展示会に関するアンケート結果の裏表紙に一覧表を記載しております。

阿形教育長

それでは、市民の方の御意見など6点ございまして、10、11、26、35、40、41ページとありますけれども、この辺も御覧いただき、審議に入りたいと思います。先生方が御調べになったことや、どんなことでも結構です。

藤本委員

学習指導要領の中で、近代以降の代表的な作家の作品をいずれかの学年に取り扱うことになっておりますので、4社ともかなり説明文や他の教材にも新しいものが入っているなと思っています。とりわけ私が嬉しいなと思ったのは、光村図書の竹取物語で、昇天のところの文章が前の教科書では途中で切れていて、上へ上がっていくところがなかった。しかし、今回はそれが全て入って、最終的なところまで切れずに載っている。要するに、1年生の156ページです。そういうふうになっているということは、これは良かったなと思いました。それと、高木選定委員もおっしゃられていましたが、今回、縦書きの国語の内容を横書きにしているということにも驚かされました。1年生の54、55ページです。これは後ろにあった方がいいなと思うので、この情報を整理して説明しようとする中で、1番が1番大切だよというところで、1番を今度は拡大したのが55ページ、隣のところに文章が入っている。

こういうところで、学習して情報を整理して、こういったところは大事だよというところが、各教材の後につけているところは、良くなったなと思っておりました。全て見た中で、4社ともすばらしい内容だというところがありました。そういった意味で斬新的に変わっているなと思ったのが光村図書、それから今、和歌山市の中学校で使っております東京書籍の2つを選ばせていただきます。以上です。

波床委員

やはり、国語力の基本は読解力にあるというのが私の変わらない信念みたいになっておりまして、その意味合いで、中学校の教科書の中で読解力をしっかりつけるためにはどの教科書がいいのかというのを、まず第1の視点として考えております。それからもう1つは、これからはやはり発信力、表現力をつけないと、持続可能な社会の実現ということもおぼつきませんので、そういった能力を高める工夫も同様になされている必要があるということも、私は理解できます。そういう観点や、まず読解力を高めるといった観点から見たときに、この4社の教科書の中で、やはり東京書籍が一步抜きん出ているなと思います。しかも、東京書籍の場合は、1年から3年と学年を追うごとに、やさしい短文の読み物から読み応えがある読み物に順次配列されているように見えまして、課題の設定や読解力を高めるための工夫も適切に行われていると思います。表現力を高めるという観点から見ても、東京書籍は1年では、考えをまとめてわかりやすく伝えるという視点で工夫がされていますし、2年では伝え方を工夫して説得力

を高めて効果的に伝えるという観点で、やはり工夫をしているようです。3年では多角的に検討して論理的に表現することを目指して、表現力を練成するということですので、表現力を高める、発信力を高めるという観点からも、学年を追って学年ごとの工夫がなされているということだと思います。また、前回の東京書籍の教科書では、課題設定や教え方の指示に先生方が使いにくいだろうなと思うようなものがかなりあったようにも思いますが、前回と比べますと、今回の教科書は割とその辺りの課題設定や教え方の指示に進化が見られて、生徒に消化不良感を抱かせる恐れもかなり解消されてきているように思います。従って第1順位としては、東京書籍を私は推したいと思います。第2順位は光村図書が良いのではないかと思います。読解力を養うことが十分期待できる教科書だということは、光村図書の場合もいえるかと思えます。表現力については、東京書籍以上に培われるのではないかとと思われる工夫があることはあるのですが、これは先生方が十分準備をなさった上で生徒たちに接しないと、指示がいろいろと周到に行き届いているだけに、かえって教え方が難しくなる可能性があるのではないかと私は思います。それから、光村図書の場合、1年から3年にかけての適切な教材配置という観点から見たときに、東京書籍と比べたら少し難があるのではないかと感ぜるところがございまして、東京書籍と光村図書がいいかと私は思いますが、第1順位としては、やはり東京書籍を推させていただきたいと思います。以上です。

森崎委員

光村図書は随分変わったなという印象を持ちました。特に言葉を主体的な学びのために、学び方の手順、そして学びの会議でそれを深めて、それを自分自身が整理していくという、その手法を使い進めやすいようにまとめられていると思いました。また、学びの扉が、この主体的な学びのための道しるべとなっていると思います。学びの鍵はその手助けを行っているように思いました。他の教科との関連もよく示しております。もう1つは1年から3年までに向けて、1年生では、構成や根拠を理解して評定して、その表現方法を理解する。2年生ではそれを深めて、さらに深めるために、題材を吟味させる、説得や構成や、相手を尊重する、印象深い豊かな表情を考えるということを示しております。また3年生では、それをさらに深めて、応用力、予測、評価、場面に応じた説得力、批判力なども、養えるような構成になっていると思います。学びを支える言葉では、情報と理論の学び、文化の学び、対話の学び、そして見方・考え方を深める取組が細かく示されて、両方とも同じぐらいでいいなと考えました。以上です。

阿形教育長

はい、ありがとうございます。私も皆さんと一緒に光村図書と東京書籍が良いのかなと思います。光村図書は本当に、どの単元でも、話を聞く、書く、全ての領域で共通の紙面の構成にしていると言いますか、見通しを持ちやすく書いてくれているので、ちょっと変わってきたのかなと思います。このアンケートで見た教職員も良いというふうに書かれています。まず、10、11ページの方がどちらも公立の先生ですが、光村図書の方が良いような感じで書かれています。ベテランの方は光村図書を使っているので、見やすいのかなという感じもしますが、年代を見たら50代、30代で光村図書を使われてきた方かなと思います。光村図書の教科書もすごく良く出来ているし、コンテンツもすごく充実しています。ただ、コンテンツに関しては、東京書籍の方が優れているのかなと。ページ数は東京書籍が一番少なく、他社は340、350ページあるのですが、東京書籍は300ページを切っていますので、重さで

判断してはいませんが、毎日持つということから考えると、東京書籍が一番軽いのかなと思います。今、情報収集とか整理とか活用が弱いとよく言われているので、東京書籍では情報活用、ニュースの見方とか、光村図書もすぐく入れていただいて、書くというのが結構多いですし、両方ともちょっと甲乙つけがたいのかなと思っております。もう少し研究すればいいのかなと思います。どの委員も光村図書と東京書籍で、どっちを上を推すかというのはちょっといろいろ違いますが、次の審査ではこの光村図書と東京書籍を再度審査したいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、国語は東京書籍と光村図書を残していきますので、よろしくお願いします。

公民

竹内教育研究所長

公民の答申及び答申資料の御説明をいただきます。公民は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は柏野選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願いたします。

阿形教育長

柏野選定委員、公民の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

柏野選定委員

選定委員の柏野です。公民の答申をいたします。公民は、6社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

(東京書籍)

答申

ほぼ全てのページに二次元コードがあり、説明動画やワークシート、つまづきを補うシミュレーションや確認クイズなど個別最適な学びを支えるコンテンツが準備されている。様々な現代的諸課題と克服のための取組みを学習することで、よりよい社会の形成者となるための力を育むことができる教科書である。

特色・工夫としましては、東京書籍をはじめ多くの会社で、単元学習、そして課題解決的な学習を重視しているということが分かりました。教科書38、39ページを御覧ください。39ページ右下にありますように、各章の導入では、章(単元)を貫く問いを「探究課題」として設定し、各節においては「探究のステップ」、そして1時間ごとには「学習課題」というように3段階の問いを設けることで、生

徒が無理なく課題解決的な学習に取り組める工夫がみられます。また、各章の導入では、「みんなでチャレンジ」のコーナーを設け、例えばカードを使ってグループでの対話を促すことで、友達の多様な意見に触れながら、この単元で学ぶ内容についての問いを作るような工夫がなされています。続いて、教科書40、41ページを御覧ください。このように見開きの2ページに、1時間ごとの学習課題、本文、資料、チェック項目等が定位置に配置され、学習の流れが把握しやすくなっています。また、課題の横には二次元コードが全てのページに示され、資料の解説動画やNHK for School 動画、インタビュー映像などのデジタルコンテンツを活用して、内容の理解や学習の振り返りを充実させることができるようになっています。最後に、教科書50、51ページを御覧ください。人権の保障に関して記述している項目は、「部落差別の撤廃」「在日韓国・朝鮮人への差別の撤廃」、次のページで「男女平等を目指して」「障がいのある人への理解」など、どの課題に対してもしっかりと記述があります。特に、「アイヌ民族への差別の撤廃」については、51ページに加えて、74、75ページで2ページを使ってさらに詳しい説明があります。以上、東京書籍です。

(教育出版)

答申

社会的少数者の権利の保障をめぐる課題が広く紹介され、夜間学級や子ども食堂についてのコラムがあるなど、人権・平和に関する記述が充実している。学習を一步進めて技能や表現力を養うコーナーもあり、人々の多様なあり方を互いに認め、支え合う態度を身につけさせることができる教科書である。

特色・工夫としましては、教科書40、41ページを御覧ください。教育出版も、先の東京書籍同様、課題解決的に学習を進められるよう、章全体を通して追究する問いと、各節の問い、1時間の授業ごとの問いと、問いを3段階で設け、見通しをもって単元学習に取り組めるよう工夫されています。各章の導入では、「ウォーミングアップ！公民」のコーナーを設けて活動を促し、生徒の生活体験から出発して課題意識をもたせ、意見交換を通じて、章を貫く問いを作らせる工夫がみられます。次に59ページを御覧ください。上にありますように、適宜、「公民の技」のコーナーを設け、生徒個人やグループでの活動を通じて、学習で身につけた技能や表現力を高める機会を設けています。話を聞くだけの授業に終わらせない工夫がみられます。続いて、教科書50、51ページを御覧ください。平等権に関しては、「部落差別」「アイヌ民族への差別」「外国人に対する差別」53ページには「障がいのある人とともに」など、各課題についてしっかりと記述されています。また、1枚めくっていただいて、「LGBTと自分らしさ」「ハンセン病問題に取り組む学校」についても、それぞれ1ページを使って取り上げ、社会的少数者の権利保障をめぐる課題について考えられるようにしています。また、54ページには「SOGI」「性的マイノリティ」「LGBT」が詳しく説明されています。最後に、「SDGs」については、巻頭、巻末のページで公民の学習全体に関わる大切な視点として紹介するとともに、各ページの右下の脚注や、各章の終わりの「JUMP！」に掲載されている取り組みがSDGsのどの目標と関係があるのかを質問したりするなど、SDGsを一つの軸として学習を展開していく構成となっています。以上、教育出版です。

(帝国書院)

答申

生徒の日常から見出した問いを常に意識させ、また、活動型の学習を促すパフォーマンス課題や多様なアイコンを配置することで主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。言語活動など、学習の基盤をつくる活動の充実を図ることができる教科書である。

特色・工夫としましては、帝国書院も、先の2社と同様に、課題解決的な学習を重視している構成になっております。教科書2、3ページを御覧ください。特に、各章の導入では、鳥瞰図的なイラストを使って、そこに描かれている事柄を比較し、違いや課題をみつける作業をすることで、生徒の日常生活の中から問いを見出す工夫がみられます。次に、教科書22、23ページを御覧ください。このように、各章の終わりでは、「アクティブ公民AL」として具体的なテーマを用いたパフォーマンス課題を準備しています。活動型の学習で終わることで、自分の意見をまとめたり、友達と意見を交換したりしながら、学びを深められるとともに、社会参画を疑似体験させる工夫となっています。また、教師にとっても、このような活動は、主体的に学習に取り組む態度を評価できる機会であると思います。次に、教科書34ページの左下を御覧ください。このように各ページの脚注で「小学校・地理・歴史・他教科との関連アイコン」を示し、小学校での学習や他分野、他教科での既習事項を踏まえながら学習を進めていく足掛かりを設けています。最後に、人権の保障については、教科書48、49ページを御覧ください。「部落差別の解消に向けた政策」「性差を超えた平等の実現」の項目があり、特に、「LGBTQ+」については、本文中と資料で解説があり、選択できる学校の制服を取り上げた写真もあります。また、52、53ページで、「偏見や差別をなくすために」と題して、2ページで、生徒の人権作文や、部落差別に関する手記が記載されています。以上、帝国書院です。

(日本文教出版)

答申

単元を通して、見方・考え方を働かせることができるよう具体的な問いや活動事例を各所に配置している。また、単元の終わりには、既習事項を生かして社会の課題を自分ごととして捉え、解決へと導く工夫があり、自ら課題を見つけ、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質・能力を育成できる教科書である。

特色・工夫としましては、日本文教出版も、課題解決的な単元学習を重視しております。教科書38、39ページを御覧ください。単元を貫く「章の問い」、「各節の問い」、そして、2枚めくっていただいて42ページですが、1時間ごとの「学習課題」というように、3段階の問いを構造的に配置していますし、特に、各ページの脚注に節の問いを記載するなど、常に問いを意識した学習に取り組ませる工夫がみられます。

また、学習課題の下には、全ページで学習課題の解決に向けての手がかりになる「見方・考え方」の例を示し、示された見方・考え方を働かせて、このページで学習する内容の理解をさらに深められるようにしています。さらに、二次元コードが各ページに記され、学習ポイントを解説した動画や関連資料、ポートフォリオや小テストなどのデジタルコンテンツを活用して、各自の学習進度やペースに合わせた学習ができるようにしています。次に、教科書72、73ページを御覧ください。「明日に向かって」のページで「15歳は子供？それとも大人？」と「大人と子供の違いを考える」学習があり、18歳成人や選挙権年齢の引き下げに関わって、生徒の社会参画を促す「教材」が準備されています。最後に、人

権の保障に関しては、教科書52ページから、「部落差別」「アイヌ民族への差別」「在日韓国・朝鮮人差別」「障がいのある人とともにつくる社会」など、全体的に丁寧な記述があり、「性の多様性を認め合う社会」については、「LGBT」「SOGI」は巻末に用語解説があり、選べるようになった制服の写真も取り上げています。また、和歌山県内の写真が6か所掲載されています。以上、日本文教出版です。

(自由社)

答申

一貫して、個人と家族、地域社会とのつながりや日本の伝統である「勤労・勤勉の精神」や「誠実さと利他の精神」を大切にしながら学習を進めていく構成となっている。伝統と文化を尊重する態度を養うとともに、郷土や国を愛する心を育むことのできる教科書である。

自由社の特色・工夫としましては、教科書24、25ページを御覧ください。まず、「家族の中で育つ私たち」の節を設けて、共同社会の典型である家族の役割、家族のあり方を重視した記述が次のページからあわせて4ページあり、家族の絆が社会の基盤であることがしっかり説明されています。次に、66、67ページを御覧ください。天皇の役割については、「天皇の役割と国民主権」の単元を設けて1時間で学習するとともに、次のページで「もっと知りたい」と題したコラムを設け、「国事行為」「宮中祭祀」等の「天皇のお仕事」について詳しく記述しています。また、象徴天皇は、「現代の立憲君主制が目標とするモデルの1つとなっています」の記述がみられます。さらに、領土問題については、全ての教科書に記述がありますが、166ページを御覧ください。「わが国の領域に関する課題」として本文に記述があり、170、171、174、175ページと4ページにわたり北方領土問題と竹島問題、尖閣諸島をめぐる危機を紹介しています。続きまして、190ページを御覧ください。拉致問題についても全ての教科書に記述はありますが、「なぜ多くの日本人が拉致されたのか。なぜ防げなかったのか。」などについて2ページにわたって詳しく紹介しています。最後に、「SDGs」については、213ページで古来から続く日本人独特の自然観には開発と保全を両立させる精神が息づいているとして、その感性を「日本型SDGs」として捉え直して、世界に発信していくことを促しているなど、日本の伝統の素晴らしさを伝える記述となっています。以上です。

(育鵬社)

答申

現代社会の理想と現実を紹介し、「家族・地域社会・国家・国際社会」と「自分」との関係を常に考えさせることで、「他人事」を「自分事」として捉え、自ら考える態度を育てることをねらいとしている。自ら課題を見つけ、人や地域社会と関わりながら見通しをもって粘り強く学ぶ態度を養うことのできる教科書である。

育鵬社の特色・工夫としましては、教科書の13ページを御覧ください。右上の「学習を深めよう」や30ページの「やってみよう」などのコラムを挿入することで活動をいざない、単に知識面の理解にとどまらない思考力・判断力・表現力を身につけられるように工夫されています。次に、学習内容につきましては、22、23ページを御覧ください。日本の伝統と文化については、「日本文化の特徴」の項目で、年中行事や能や歌舞伎の芸能、相撲や柔道の武道などを取り上げたり、「文化の多様性と異文化理解」の項目で、多文化共生社会の形成について述べたりするなど、4ページを使って、わが国と郷土を

愛する態度を養うための教材を用意しています。続いて、45ページを御覧ください。天皇の役割については、「象徴としての天皇」の項目の中で、国事行為や外国からの賓客への会見などの記述があり、本文中には「現代の立憲君主制のモデルの一つとなっています」との記述が見られます。最後に、領土問題については、190、191ページを御覧ください。北方領土問題と竹島問題、さらには尖閣諸島をめぐる情勢について、政府の見解を紹介しながら86ページと合わせて5ページにわたって、また、拉致問題についても、188、189ページで「拉致問題はなぜ解決していないのでしょうか」と2ページにわたって詳しく紹介しています。さらに、189ページのキャラクターに「日本人としてこの拉致問題にどう向き合いますか。」と語らせ、物事を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、自ら考える態度の育成につなげています。以上です。

阿形教育長

報告いただいた内容について、質問等ありましたらお願いします。

森崎委員

公民の授業の進め方について御質問させていただきますが、このように、課題を持って解決するには、話し合い等々があると思うのですが。50分の中で、十分にそれはできるのでしょうか。

柏野選定委員

単元というのを見越していかないといけないと思うのと、それから毎時間はできないだろうと思うことです。当初の計画を立て、ここではそれをするけれども、ここは知識・技能中心のところもあるというふうな、そういうところの割り切りが大事なかなと思います。すべて、二次元コードも含めまして、扱っていくというのは、少し難しいといえますか、かなりの量があるなという印象です。

森崎委員

その際に、生徒たちの意見は出るのでしょうか。

柏野選定委員

出やすい工夫というのはそれぞれされると思いますので、できるだけ身近なところ、自分の生活と結びつけるような工夫、それぞれイラストであるとか、カードであるとか、といった工夫をされていると思います。そこを十分教材研究していければなと思っております。

森崎委員

そのグループの作り方、構成は、何か工夫点がありますか。

柏野選定委員

まず、個人で書かせて、そして同じような思いを持った生徒、同じような疑問を持った生徒でグループ分けすると、また深まると思います。

森崎委員

難しいですよ。

柏野選定委員

できるのではないかなと思います。

森崎委員

公民を評価するときの試験問題は、やはり覚えたものを解答する形になるのですか。

柏野選定委員

その面も1つあります。しかし今回の教科書のつくりとしましては、最後のまとめの部分で、その知識・技能面を見るところ、そして思考力・判断力・表現力を見るところ、そして、学習に向かう態度を見るところという風に、それぞれ評価の観点ごとにまとめ方というものが載っておりまして、その辺も十分参考にできるのではないかなと思います。

波床委員

社会科という教科で括ってみると、公民だけではなくて、地理と歴史がもちろんあるわけですね。それで公民の教科書を使う際にも、地理や歴史に関係するといいますか、それと関連することが当然出てくるわけですが、この辺りの連続性といいますか、レファレンスといいますか、そういうものが比較的上手に出来ているなという教科書はどれでしょうか。

柏野選定委員

その他の教科書でもありますが、帝国書院の場合はこの左下に、どの学習とこれまでの既習の学習との関連がこのページで関わるか、常に左下に書かれておりますので、一番意識しやすいと言えば帝国書院ですかね。

波床委員

日本文教出版も歴史・地理との関係を、下の方にいろいろと、言及しているところもあるようですが、お伺いしたいのが、例えば、社会科の教科書という形で、仮に括った場合に同一の会社の教科書を使う方が使いやすいのか、それとも3つの教科がバラバラになっても別に支障はないのか、この辺りはいかがでしょうか。

柏野選定委員

そこにあまりこだわりはないです。それぞれの教科書会社にそれぞれの工夫がありますので。

波床委員

わかりました。

阿形教育長

他に質問はございませんか。それでは、柏野選定委員には御退出いただきます。

公民の審議に入る前に事務局に伺います。教科書展示会において公民について意見はありましたか。

竹内教育研究所長

公民については、7件の御意見がありました。該当ページは、資料4、令和6年度教科書展示会に関するアンケート結果の裏表紙に一覧表を記載しております。

阿形教育長

それでは市民の方など、展示会からの御意見で7件の御意見がありますので、そういったことも踏まえながらよろしくお願いします。

藤本委員

6社とも、内容的にそんなに隔たりというのではないと感じました。それから、人権を大切にしたり、それから領土問題、いわゆる政治的なところ、天皇のあり方というところも読ませていただきました。その部分にはちょっと差異があるとは思いますが、全て問題解決的な学習で、問いを立てて、それから1章へ入っていく、それから節へ入っていくというところであったんですけども、読ませていただきまして、日本文教出版の単元を貫いた問い、それから、節ごとの、あるいは章以上に節ごとの問いがあって、本当に読んでいて学びたいなという文章が多いなと思いました。それと、配列というんですか、文字が少なく、それに関連する資料が、この配置はものすごく良いなと思いました。そういった意味で、日本文教出版を選んだのと、それから東京書籍、同じように言いますと、やはり東京書籍の内容が良いのではないかなと私は思いました。以上です。

波床委員

私も第1順位、日本文教出版、第2順位、東京書籍と考えます。今、藤本委員もおっしゃったように、各単元の学習開始時に、生徒に問い立てをきちんとさせて、さらにそれについて、具体的に問題意識を持たせて、課題に取り組ませて見方・考え方、こういったものを教科書内に提示して、最後にまとめと振り返りで、学習したことを振り返る、総括させるという手法をとっておりますので、問題の課題の発見、探究、表現の力を養うという、指導要領に沿った構成で一貫していると思います。また、小学校の教科書との連続性とか、これまでの中学校の教科書との連続性、教えやすさという点では、東京書籍より使いやすいかというのも、あるのではないかと思います。東京書籍の方は、日本文教出版と同様のねらいから、導入資料を示した上で、学習課題の提示だとか、本文チェックアンドトライ、確かめよう、ふりかえろう、深めるという形で学習したことの定着と発展を目指しております、このような構成でしっかりと勉強ができる教科書になっているかと思います。ただ、東京書籍の場合は他の教科書に比べると、生徒に対する問いの設定が、大問小問合わせてかなり多いので、教師の側で周到的な準備、場合によって取捨選択を行わないといけない、それから授業の工夫も必要になるのかなと思います。そういう観点を考えますと、やはり日本文教出版が、一番良いのではないかと私は思う次第です。以上です。

森崎委員

私も日本文教出版、これ一択と思っております。見開きに課題があって、解決に必要な資料、現状より詳しく解説する資料等があり、わかりやすいし、進めやすいのではないかと思います。編で学習し

たことについて話し合い、そしてまとめに続いています。まとめには思考ツールを活用して、80、124、169ページのように、まとめやすいとか進めやすい内容になっていると思います。以上です。

阿形教育長

私の方は6社あったんですけど、特徴的に言うとやはり東京書籍と教育出版、帝国書院、それから日本文教出版は、それぞれの章に繋げている問い、それから節の問い、そして1時間毎の問いと3段階の問い、これは4社とも全部統一されております。あと、小中の円滑な接続とか、小学校の振り返りとか、普段の生活がどうかとか、そういったことが、工夫されているかなと思います。自由社と育鵬社については、どちらかといいますと、御報告の中にもありましたけど、郷土や国を愛する心を育むという、そういったこと、特に日本の伝統文化とか、そういったことが中心になっているのかなと、これはこれですごく大事なことかなとは思いますが、これから先、いろいろな学習をする中で身に付けていくものかもわかりませんし、私も日本文教出版と東京書籍がさっき言った3段階の学習課題解決的な段階を踏んでおりますので、良いかなと思って、そんな中でも特に、生徒の主権者意識を高める工夫であるとか、社会参画を促すような内容とかそういったのが日本文教出版とか東京書籍の方が優れているのかなと思いますので、日本文教出版と東京書籍が良いのかなと思います。それでは森崎委員は、日本文教出版一択とおっしゃっていましたが、日本文教出版と東京書籍の2社を残して、次回で再度検討して、1社に絞りたいなと考えておりますが、よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

保健体育

竹内教育研究所長

保健体育の答申及び答申資料の御説明をいただきます。保健体育は、東京書籍、大修館書店、Gakken、大日本図書です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は西川選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくをお願いいたします。

阿形教育長

西川選定委員、保健体育の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

西川選定委員

選定委員の西川です。保健体育の答申をいたします。保健体育は、4社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

(東京書籍)

答申

「新しい時代の新しい学びを実現する」という方針のもと、主体的・対話的で深い学びを実現でき

るよう工夫された教科書である。誰一人取り残さないようにするための質の高い学びのデザインや、授業が進めやすい、わかりやすい紙面構成、「命や健康を守る」ために、確かなスキルを育成し、学習を深め、生活につながる厳選された資料、豊富なデジタルコンテンツを生かしながら編集されている。

他とは違い、学年別に保健編から体育編、また2年生の保健編では「傷害の防止」から「健康な生活と疾病の予防」という流れで配置しています。「動画」「シミュレーション」「思考ツール」「図鑑」「章末問題」など、多彩なデジタルコンテンツが約150点用意され、様々な学習プロセスで活用することができ、主体的、個別最適な学びを目指すことができます。8、9ページを御覧ください。ここに「Dマークコンテンツを使ってみよう」という解説が、2ページにわたり掲載され、学習における使い方が詳しく示されています。14、15ページを御覧ください。1時間の授業は、見開きの2ページで構成されています。各ページ左側に本文、右側が資料というのが基本的なスタイルですが、内容により上下に資料を掲載したり、右側下部に資料を配置したりと様々な形のレイアウトがあり、工夫を凝らしています。また『学習課題』を大きく提示、本文を『課題の解決』と位置付け、授業の流れを課題解決学習としています。次に76から79ページを御覧ください。自然災害は今後ますます重要になる内容ですが、本書では「自然災害による危険」「自然災害による傷害の防止」をそれぞれ1時間で扱っています。さらに86から88ページの章末資料を御覧ください。ここには災害の画像と防災タイムラインを掲載。合計7ページで、自然災害を扱っています。そして、「命や健康を守る」確かなスキルを育成するため、巻末に20の技能「スキル」を掲載し、合理的・科学的に正しい方法を紹介し、解説動画も充実しています。最後に、この教科書は、本市の「目指す子供像」に適した内容となっています。

(大修館書店)

答申

「自ら未来を切りひらく力を育てる」という基本方針のもと、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」の3つの資質をバランスよく育成することができるよう、また共生社会や多様性を重視する等、社会の急速な変化に対応し、さらに国際社会の平和や発展、環境の保全等の今日的な課題を含めて深く学べる工夫がされている教科書である。

男女の役割を固定せず、国籍や障害の有無など差別や偏見に繋がらないように配慮しています。7ページを御覧ください。1時間の授業は内容・分量ともに適切で、見開きの2ページで構成されています。さらに文章が内側（中心）にまとまりよく配置され、資料が周りに配置されています。「今日の学習」が見開きの2ページの上部に掲載され、学習の途中でもめあてを再確認できるようになっています。また学習のキーワードもわかりやすくまとめられています。次に42、43ページを御覧ください。本文ではほとんど触れていませんが、特集資料として「性」についての多様性を「体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」等、見開きの2ページに渡って詳しく解説しています。次に116ページを御覧ください。実習單元では二次元コードで動画を視聴できるようになっています。次に110、111ページを御覧ください。「自然災害によるけがの防止」は1時間扱いですが、続いて120から123ページを御覧ください。ここに特集資料として、「気象災害から身を守る行動」「地震災害から命を守る行動」を4ページにわたり掲載、特に避難情報に関しては詳しく説明しています。最後に、この教科書は本市の「目指す子供像」に適した内容となっています。

(G a k k e n)

答申

「生きる力、自ら学び、自ら考える力を育てる」という基本方針のもと、保健体育への興味・関心を高め、意欲を高める工夫をするとともに、自ら課題を発見し、その解決に向けて思考・判断し、表現できるような主体的な学びのスタイルを大切にした教科書である。また他者との協働的な学びを充実させるとともに、学びに向かう力を養うことができる工夫がされている。そして保健体育の学びがウェルビーイングにつながるように、という願いも含めた教科書である。

最初に口絵の8ページを御覧ください。各章の学習の流れと1時間の進め方をわかりやすく図示しています。様々な学習方法も説明されていますが、特に主体的な学習に深く関わる、『課題解決学習』の進め方については、グループで取り組む場合を想定して、1ページを使い、さらにその整理の仕方を、1ページを費やして、わかりやすく示しています。本文の16から19ページを御覧ください。配色はすっきりしていて、視認性も高く、ページ内の図やイラスト・写真もバランスよく、かつ本文に対してあまり目立たないように掲載され、落ち着いて授業に取り組めると思われます。多くが、ページ左に文章を配置し、右に資料を掲載するという、わかりやすい配置になっています。また本書では、多様性や個人差について配慮した扱い方が見受けられます。48ページを御覧ください。発育・発達には個人差があることを重視し、初潮や精通などは、あまり個人差を感じにくいグラフで示されています。同じように、飲酒の単元においても、酔い方に、お酒の量のイラストなどは掲載されていません。続いて、116から121ページを御覧ください。本書では、「自然災害」や「災害から身を守るために」という内容で、6ページにわたり、本文や資料・画像を絡ませながら詳しく扱っています。最後にこの教科書は、本市の「目指す子供像」に適した内容となっています。

(大日本図書)

答申

主体的・対話的で深い学びを通して、課題を解決し、学びを生活に生かすことで、現在から未来へと「生きる力」が身につくように工夫されている。また生徒の興味・関心を引き出し、「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実現できるような工夫のある教科書である。

4、5ページを御覧ください。見開きの2ページで、1時間扱いに構成されており、左ページに本文とトピックス、右ページに資料や画像をまとめていて、本文が読みやすくなっています。

「トピックス」では、学習内容と関連が深い話題や興味深い読み物が示され、発展学習に繋がるよう工夫されています。31、33、35ページを御覧ください。複数の資料を見比べて読めるようレイアウトが工夫されています。53ページを御覧ください。各章末に学習のまとめがあり、重要な言葉が非常に詳しく解説されています。次に98、99ページを御覧ください。「自然災害による傷害の防止」は1時間扱いです。しかし、ページをめくっていただいで100ページを見ると、挿絵資料として非常にインパクトのある画像を掲載し、対策について説明しています。続いて107から109ページを御覧ください。心肺蘇生法の実習では折り込みが採用され、全体を確認しながら、さらに横1列で流れがわかるように工夫されたレイアウトとなっています。また中学生が活躍し、親しみを持てる場面の写真が、多数掲載されています。最後にこの教科書は本市の「めざす子供像」に適した内容となっています。以上で保健体育の説明を終わります。

阿形教育長

それでは、西川選定委員から報告いただいた内容について、質問等ありましたらお願いします。
特に質問はございませんか。では、西川選定委員どうもありがとうございました。

阿形教育長

事務局に伺いますが、展示会において、保健体育について御意見はありましたか。

竹内教育研究所長

保健体育についての御意見はございませんでした。

阿形教育長

それでは保健体育の審議に入りたいと思います。先生方がそれぞれお調べになったことやお考えになったことを出していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

藤本委員

前に小学校のときも言いましたが、保健体育の時間は、本当に限られた少ない時間であり、年間16単位時間程度しかなく、3年間で48単位時間ということです。それを考えると、家庭科と同様に、資料を見て、また家に帰って家族と話をしたり、それから自分で考えを深めようとしたり、資料を見て勉強するというのを考えた方がいいのではないかと思います。言葉が少なく、見やすく、資料やグラフが多いということで考えましたら、大修館書店と東京書籍が良いのではないかと思います。

波床委員

私は大修館書店だけで良いのではないかなと思うぐらいです。他の教科書に比べると、資料が豊富で、内容も踏み込んだものになっていると思いますし、各章の最後にまとめ問題なんかもあって振り返りなどもできるのだらうと思います。家庭に備えて家族が利用するという形の教科書の使用の仕方もあると思いますので、大修館書店でよろしいのではないかと思います。

森崎委員

この科目は、いろいろなことが現代社会の問題として関連のある科目になってまいりました。心の問題もそうですし、災害の問題もそうですし、もちろん健康の問題、これだけの高齢化社会になりますと、このことも考えなければなりません。各章にその認識を育てなければいけない環境になってきています。ただ時間数が少ないということもあって、皆さんがおっしゃっているように学んだことを生かして学ぶような教科書でなくてはということなのですが、それならばどうしてもその体の仕組みや働きがわかりやすく明記されているのが良いと考えましたら、いろいろ教科書によってありまして、例えば運動により体の機能の発達、運動と健康に関しては、やはり大修館書店が骨密度の問題や内臓の発達であったりということを詳しく触れて、わかりやすくしているということで、内容としてよいのではないか。それから、東京書籍は、運動の効果や運動習慣と健康について等が明確に表されている。また体の発育発達に関しては、大修館書店と東京書籍は、スキヤモンの発育曲線をわかりやすく説明してあるということ

で、良いのではないかと思います。特に大修館書店で感心したのは生活習慣病について、様々な生活習慣病が、生活から見た関連死亡数等々具体的に書かれてあって、とても説得力のある内容だと思いました。G a k k e nの方も、運動と健康の項目のところで、運動の効果と必要性というところが中学生のものを具体的に取り上げて書かれてあるので、理解しやすいというか、興味を持たせやすいのではないかとこのように考えまして、G a k k e nも捨て難いかなという思いがあります。大修館書店、東京書籍、G a k k e nという順番です。

阿形教育長

私も大修館書店で良いのではないかと思います。現代的な課題というか、今日的な課題がたくさん入れられていますし、避難とか防災とか最近よく言われていることがすごく詳しく書かれているように思います。今日的な課題が一番積極的に取り上げられているのではないかとこのことで、大修館書店で良いのではと思います。今の御意見を聞きますと皆さん大修館書店が一番なのですが、東京書籍とG a k k e nについても挙げていただいていますので、この3社を残すということによろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、これで本日の審議を終了します。事務局から事務連絡等ありますか。

竹内教育研究所長

次回、第2回採択会議について御連絡いたします。第2回は7月16日18時からです。審議教科は、書写、道徳、音楽、歴史、技術です。よろしくお願ひいたします。

阿形教育長

それでは、本日はこれで閉会します。

第2回 教育委員会の教科用図書採択に係る会議

書写、道徳、歴史、技術 採択審議

1 日時

令和6年7月16日(火) 会議開始時刻18:00 会議終了時刻20:34

2 会場

教育文化センター2階 会議室

3 出席者

○教育委員

教育長	阿形	博司
教育長職務代行者	藤本	禎男
委員	森崎	陽子
委員	波床	昌則
委員	石元	和代

○教科用図書採択事務局

事務局長	奥山	由佳	(教育局長)
事務局次長	前北	博文	(学校教育部長)
事務担当課長	岩本	信哉	(学校支援課長)
	西谷	宣昭	(学校教育課長)
	竹内	圭	(教育研究所長)
事務局員	北林	直樹	(教育研究所専門教育監補)

4 議事

阿形教育長

それでは、議案第20号「令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の採択について」の説明をお願いします。

奥山事務局長

これより、令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書採択のための臨時教育委員会 第2回採択審議をお願いいたしたく存じます。

本日も、本市の子供たちにとって最も適切な教科書を採択するための御審議をお願いいたします。それでは、これより事務局説明を、教育研究所長竹内に行かせます。

竹内教育研究所長

本日の採択会議日程について、御説明を申し上げます。これより、書写、道徳、歴史、技術・家庭(技術分野)の順に御審議をいただきます。御答申は、選定委員から教科・種目ごとに、1社ずつ行っていただきます。そのあと、質疑応答のお時間を設けたいと存じます。質疑応答が済み次第、選定委員には退出していただきます。選定委員の退出後、教育委員の皆様には御審議をお願いいたします。

書写

竹内教育研究所長

書写の答申及び答申資料の御説明をいただきます。書写は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書です。委員の皆様は、御手元の答申資料を御覧ください。御答申は三宅選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくをお願いいたします。

阿形教育長

三宅選定委員、書写の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

三宅選定委員

選定委員の三宅です。書写の答申をいたします。書写は、4社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

(東京書籍)

答申

学習のポイントを示した「書写のかぎ」を核とした課題解決型学習を通して書く力を身につけさせ、その力を学習や生活に役立てられるように構成されている。手書き文字再発見をはじめ行書学習では書く動きを意識させ、特徴的な動きを学ぶことで、誰でも行書が書けるように工夫されている。また、職場訪問や防災訓練に参加しようなど、学びを生活に広げるための思考力を育み、活用力につながるように企図した教科書である。

28、29ページを御覧ください。学習の進め方は、「目標」→「見つけよう」→「確かめよう」→「生かそう」→「振り返ろう」→「生活に広げよう」という流れで構成され、「書写のかぎ」を核とした課題解決型学習となっています。「振り返ろう」では、「書写のかぎ」や書写の用語を使って学習したことを説明する対話的な振り返りをする中で、知識と技能の両面からより深く振り返ることができます。26ページを御覧ください。行書を書くときの動きをパターン化し、4つに絞った頻度の高い動きを示しています。各単元の教材文字の淡墨図にはこの四つの動きを生かす部分を示しているため、動きに注目した学習ができるようになっています。「身の回りの文字の目的と工夫」「手書き文字の特徴」「現代につながる文字の役割」等では、キャリア教育の観点から生徒が社会や自分の将来とのつながりを感じながら主体的に学習に取り組むことができます。巻末の「書写活用ブック」では、様々な書式のほかに人名用漢字表や行書の部分の形など、日常生活や社会に出てからも活用できるよう工夫されています。

(三省堂)

答申

単元冒頭の「書き方を学ぼう」で書き方のポイントを明確化し、学習内容がわかりやすく工夫されているため、生徒は見通しをもって主体的に学習を進めることができる。また、「書いて身につけよう」では学習したことを多様な「書く」場面で活用できるように構成され、自分の文字をよりよくし

て社会生活の中で生かせるように企図した教科書である。

36、37ページを御覧ください。学習の進め方は、「目標を確かめる」→「書き方を学ぼう」→「毛筆で書く」→「学習を振り返る」→「書いて身につけよう」→「自分の言葉でまとめる」という流れで構成されています。各学年末の「やってみよう」では、1年「グループ新聞を作ろう」、2年「情報誌を作ろう」、3年「名言集を作ろう」が設定され、学習してきたことを生かして書くことができるよう工夫されています。30ページでの1年「文字の変遷」や68ページでの3年「身のまわりの文字」では、文字の歴史や文化を取り上げています。また、手書き文字の魅力を伝え広めながら社会で活躍する人物を紹介しています。効果的に文字を書くことの必要性や文字を手書きすることの意義を見つめ直すことができます。62、63ページを御覧ください。2年「楷書と行書の使い分け」では、目的や必要に応じてどの書体が適切かを考え、使い分けて書くことができるよう考慮された教材となっています。資料編「日常の書式」では、便せんと封筒・はがきの書き方・時候の挨拶・送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方を学ぶことができ、学習活動や社会生活などで活用できるよう工夫されています。

(教育出版)

答申

学習の進め方が明確で理解しやすく示されている。日常の書写活動に生かすために必要な基礎的・基本的な能力の育成や、書写用語を用いて文字を書く原理・原則について伝え合う対話的な学び方ができるように工夫されている。また、他教科と連動して学習活動や日常生活で生きてはたらく書写力を身につけるように企図した教科書である。

46、47ページを御覧ください。「学習の進め方」は、「目標」→「考えよう」→「生かそう」→「振り返ろう」→「学習や日常生活に生かそう」という流れで構成され、日常の書写活動に生かすために必要な基礎的・基本的な能力を習得できるよう工夫されています。「目標」の後には「試し書き」のワークが、「考えよう」では穂先の動きがわかりやすいように淡墨図による解説図版があり、試し書きと比べて自ら課題を発見し、解決していく学び方となっています。「生かそう」では他の文字への応用が、その後にはまとめ書きのワークが、「振り返ろう」では○△による自己評価が設定されており、自らの成長に気づくことができます。61から64ページを御覧ください。コラム『書くこと』の変遷で手書き文字と活字の特徴を考えることで、伝統と文化を尊重し文字環境を豊かにすることができるコラムとなっています。巻末の「書式の教室」では、手紙、封筒、年賀状、はがき、包み紙、エアメール、原稿用紙、伝票、願書、志願理由書など、書写学習で習得した力を様々な学習活動や日常生活に生かし、効果的に文字を書こうとする力が身に付くよう工夫されています。

(光村図書)

答申

学習の進め方が丁寧に示され、「学びのカギ」でポイントがひと目でわかるように工夫されているため、生徒は見通しをもって取り組める。また、別冊「書写ブック（硬筆練習帳）」を活用し、繰り返し学ぶことで書く力の定着を図ることができる。手書きの価値や文字文化の豊かさに触れる教材が用意され、文字への興味・関心を高めるとともに、書く楽しさや達成感が感じられるように企図した教科

書である。

54、55ページを御覧ください。学習の進め方は、「考えよう」→「確かめよう」→「生かそう」という流れで構成され、「振り返ろう」では、目標が達成できたかを自己評価するとともに、別冊「書写ブック」の更なる活用により書写の基礎・基本を身に付け、書く力の定着を図れるよう工夫されています。学習ページには、学習の進め方を大きい文字でわかりやすく示し、生徒が見通しをもって「行書スイッチ」を手がかりに主体的に学ぶことができます。また、「学びのカギ」を設けて学習のポイントがひと目でわかるよう設定されています。88ページの「手書きのよさって、何だろう」や、96ページのコラム「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」では、手書きで伝わる良さや手書きの特徴を深めたり、見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体に気づいたりすることができます。110ページからの「日常に役立つ書式」では、縦書きや横書きの手紙、はがき、送り状、入学願書、原稿用紙などの書き方やレポートの書き方など、日常生活に役立つ書式が取り上げられています。最後に、どの教科書も二次元コードによるデジタルコンテンツが豊富で、特に毛筆の運筆動画を繰り返し見ることによって、主体的な書写活動となるよう工夫されています。以上で、書写の説明を終わります。

阿形教育長

報告いただいた内容について、質問等ありましたらお願いします。

阿形教育長

特に質問はございませんか。それでは、三宅選定委員には御退出いただきます。

書写の審議に入る前に事務局に伺います。教科書展示会において書写について意見はありましたか。

竹内教育研究所長

書写についての意見はございませんでした。

阿形教育長

それでは、書写の審議に入ります。委員1人1人がお調べくださったことやお考えになったことをお出しいただき、御審議ください。

石元委員

4冊が似ている感じで、それぞれの教科書がステップごとに分かれており大変分かりやすい教科書だなど思っております。その中で、2つに絞ってみました。1つは東京書籍ですが、書写の中で初めて中学校で習う行書の書き方がありますが、慣れていない中学生が理解しやすい方法で文字を書く時の注意点を「書写のかぎ」として、生徒の目線で分かりやすく丁寧に書き方のコツを示しているように思いました。また、「生活に広げよう」という学習もあり、36ページの「年賀状を書こう」とか、これは年賀状を小筆やペンを使って行書で書いたり、60ページの「本のポップを書こう」では、好きな本を紹介するというポップを作るのですが、社会に出てからも書写の学習が生活する上で、役立つような内容が盛り込まれており、生徒にとっても学ぶ目的が分かるように工夫されているなど感じました。もう1つは三省堂ですが、項目ごとに目標を設定しており、注意すれば良いポイントを分かりやすく示している

と感じました。解説動画も見ましたが、毛筆や硬筆で書く時の姿勢や、筆の運び方が分かりやすいと感じました。3年生の身の回りの文字では、ポスターや看板など学習した内容が、将来仕事に繋がっているところがわかり、実際活躍している達人を知る事によって、書写が将来生きてくる学習だと生徒が感じるようになってしまった。全体的にスッキリとしている教科書で、文字を書くことに集中できそうな教科書になっているなど感じました。以上です。

波床委員

書写と言えば毛筆の事がすぐに頭に思い浮かぶのですが、どちらかというと硬筆がうまく書けるかどうか、社会に出て恥ずかしい思いをするかどうか大きく影響している気がします。私は裁判官をやっていたけれど、判決を自筆で書く時代があって、その時にある裁判官はワープロができた時に、これが私の福音ですと、それまで上手く硬筆が出来ないものですから、恥ずかしい思いをしていたんですとおっしゃった方もいて、やはり硬筆が上手く書けるかどうか社会に出て、非常に大事ではないかと思っております。その観点からすると、東京書籍が姿勢から始まり基本的な事を勉強できる良い教材ではないかと思えます。繰り返し字を書く事が大切だと思えますが、そういう動機付けもできていると思えますし、それから書写活用ブックもあり、そういったものを利用し日頃から字を書きましょうねと意識するようにもなっています。したがって、東京書籍が良いかなと思えます。硬筆の観点からすると、三省堂が良くできているのかなと思えます。そういう意味で東京書籍と三省堂の順で推薦させていただきたいと思えます。

森崎委員

どの教科書も学んだ事を生活に生かすという観点では、非常に丁寧に書かれていると思えます。その中で、東京書籍は書き方はもちろんですが、書写活用ブックや硬筆字典も今後参考になる資料がたくさんあるのでいいと思えます。そして三省堂は、シンプルでとても分かりやすいという感想です。以上です。

藤本委員

私も1番は東京書籍です。書写の教科書においても、問題解決的な学習が取り入れられるようになって4社ともそれをきちんとまとめられているというので、学習指導要領に沿った、本当に深い学びになるような教科書の設定ができているかなと思えます。その中でも、やはり三宅選定委員もおっしゃられましたけども、「書写のカギ」というところ、これは学ぶポイントが焦点化されていて、子供たちが本当にどういうふうに学んでいけばいいかというのが、つぶさにわかる方法で書かれています。それと、一部の教育委員もおっしゃられましたけども、中学校で初めて行書を習うのですが、その時に、行書で頻繁に使われる4つの筆の方向性、これは頻度の高いものを4つ選んでやってくれる。そういった意味でもすごく良いなと思えました。続いて、光村図書を2番目に推しております。取り外しができる書写ブックを使い、筆使いでやったもの、毛筆をやった事を硬筆でも何回も練習させる。今、我々教員の中でも逆書き、書き順が若い先生方の授業を見させてもらうんですけども、式なんかエから入るんです。文化庁は、書き順は関係ないと、やはり波床委員もおっしゃられましたように、書く、きちんと書けるということは、正しい筆順で書くと綺麗に書けるということになりますので、そういった意味で、私は光村図書を推しているのと同時に、国語との関連が良く出来ていると捉えました。以上です。

阿形教育長

ありがとうございました。私も1番は東京書籍かなと思います。まず字が綺麗な感じがします。それから作品も多いかなと思いますし、手本や字も大きく見やすいと思いました。それから生活に生かす点でもいいかなと思います。みなさんがおっしゃっている書写活用ブックも使いやすい感じがしていいと思いました。1番は東京書籍で、硬筆指導で丁寧なのが、光村図書が多いかなと思いますので、次にいいと思います。

大体皆さんの意見を聞くと、東京書籍が1番で、次に三省堂か光村図書の御意見が多いと思います。3社を残す形にしましょうか。東京書籍を第1候補として、三省堂と光村図書も検討するといった形でよろしいでしょうか。今申し上げましたように、書写の方は東京書籍を第1候補として、あと三省堂と光村図書を次の審議に残したいと思います。再度3社について慎重に見て頂きたいと思います。よろしくをお願いします。

道徳

竹内教育研究所長

続いて、道徳の答申及び答申資料の御説明をいただきます。道徳は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、Gakken、あかつき教育図書、日本教科書です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は、川端選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願いたします。

阿形教育長

それでは川端選定委員から、道徳の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

川端選定委員

選定委員の川端です。道徳の答申をいたします。道徳は、7社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

(東京書籍)

答申

教材冒頭に「学習のテーマ」を配置し、観点を共有して学習を進められるようにしている。定番教材を増やすとともに、ユーチューバーや分身ロボットなど生徒に身近な題材を扱った教材や防災、SDGs、多様性などの現代的な課題を考える教材を充実させている。授業の導入や終末、自宅学習など様々な場面で活用できる教科書となっている。

内容を具体的に説明します。1年生の教科書の8ページを御覧ください。教材に関する漫画の1コマが掲載されています。教材の題材のこの下にございます。物事を多面的・多角的に考えられるよう読み物

教材はもちろん、漫画やグラフなど、様々な形の教材が用意されています。1年生では5教材取り入れております。1年生の教科書2ページを御覧ください。教材冒頭の右上に内容項目の視点を色と絵柄で示し、教材のテーマも示し、それからそれずに授業展開できるようになっています。2ページのところですけれども。ここの図柄と内容項目とが図と絵で。1年生の教科書9ページを御覧ください。各教材の末には、「考えよう」「見つめよう」があり、主に「道徳的価値に迫る中心的な問い」と「自我関与して発展的に考えることのできる問い」が示されています。巻末に「考えよう」「見つめよう」というそれぞれの問いにより、こういう目的で問いが設定されております。続いて2年生の教科書144ページを御覧ください。教材のこの下に二次元コードがあります。そのコードから、例えば、NHK for Schoolの番組ストーリーを紙面に落とし込んで、全学年に紙面と同じ内容の動画にも二次元コードからアクセスでき、文章を読むことが苦手な生徒にも楽しく授業に参加できるようにしています。以上が東京書籍です。

続いて、教育出版です。

(教育出版)

答申

魅力的な教材と誰にでも理解しやすい発問構成で、生徒の「考えたい」「話し合いたい」を引き出し、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにしている。学校や生徒の実態に合ったカリキュラムづくりに柔軟に対応できる教材構成で、活力ある授業を支えます。

内容を具体的に説明いたします。道徳の授業については、1年生では「何を学ぶか」、2年生では「どう学ぶか」、3年生では「学びを広げる」。学年末の『『よりよく生きる』って、どういうことだろう?』で道徳科の学びを今後の生き方に生かし、生徒それぞれのウェルビーイングの実現につなげようとしています。3年生の教科書188、189ページを御覧ください。1年間を振り返り、道徳科の学びを生徒のウェルビーイングへとつながるようになっていきます。1年間で学んできたことがこういうふうにもまとめられるようになっております。続いて、1年生の教科書164から170ページを御覧ください。誰もが取り組みやすく、生徒が主役となる授業づくりのために、教材は内容把握のしやすさを大切に、話し合い活動に誰もが参加できるように考えられています。写真や絵本を教材にすることで「考える時間」や「話し合い」の時間を十分取れるように考えられています。ここではこういう写真が載ってあって、視覚的に捉えられるようになっていきます。写真が多い教材になっているかなと思います。続いて、1年生の教科書156ページを御覧ください。当事者の言葉で心に響く教材です。このような教材で学びを豊かに広げたり、さらに深めたり、他の教科や特別活動の時間と関連づけられる多彩な内容ひろば、コラムを設けています。こういう教材に関したことを、さらに広げるためのひろばというのをこの教科書では掲載されています。以上が教育出版です。

続いて光村図書です。

(光村図書)

答申

「主体的な学び手を育てる」「自ら問いをもち探究する」「人権に対する感性を育む」ことを軸に内容が編集されている。全学年、年間を9つのテーマを持ったユニットで構成し、「いじめを許さない

心」「共生」「情報モラル」等、全学年に共通するものもあれば、学年の発達段階に応じたテーマも設定されている。内容項目間の関連づけが図られ、より効果的に学習できる。主体的・対話的に学びが深まる授業を実現できる工夫が施された教科書である。

内容を具体的に説明します。「人権」について、考えることを大切にしています。自分も他者も大切に
する感覚を養うために、様々な教材が用意されています。「人権」について、しっかりと、じっくりと考
えられるよう「共に生きるために大切なことは？」というユニットを設けています。各学年3つの教材
とコラムで構成されています。「人権」と向き合うために、3年間を通して、人権について知って欲しい
こと、考えてもらいたいことをコラムにしています。3年間系統立てて掲載しています。1年生の教科
書の134ページを御覧ください。1年生では「わたし」や「あなた」には、どんな権利があるのかと
いう教材。2年生の教科書132ページを御覧ください。2年生では現代の日本社会において人権が守
られていない事実に向き合うというような。3年生の教科書では、138ページを御覧ください。3年
生では人権を守るために、私たちはどうすれば良いかを考えるというように1年生、2年生、3年生と
系統立てています。次に多様な考えに触れ本質を洞察するために、「感動」「尊重」「学び」の3つのテー
マで、友達と話し合いながら身の回りの当たり前を問い、答えを求める楽しさを味わえるようにしてい
ます。問うことの楽しさを実感するため、自ら問いを立てて、考えていくことを促している。「なんだろ
う」と問うことの楽しさを感じるために、「なんだろう なんだろう」を掲載。生徒が楽しみながら考え
ることができるようにしています。2年生の教科書128ページを御覧ください。意味の本質を考え、
生徒同士で話し合いながら答えを求める楽しさを味わえるようになっています。次の130ページには、
本質について、みんなで考えるようになっています。以上が光村図書です。

(日本文教出版)

答申

「道徳ノート」を別冊でつけ、教科書と同じ配列で心の成長を記録するようにしている。「いじめと
向き合う」「よりよい社会を考える」の2つのユニットを年に複数回組んで、集中的に学ぶことができ
るなど、テーマのまとまりを意識し、系統的、発展的に学習できる教科書である。

内容を具体的に説明します。各学年、6つの教材の後ろに「学びを深めよう」のページを付属。問題
解決的な学習や体験的な学習などの流れと資料を示し、学びの見通しや思考の広がり・深まりにつな
がる工夫をしています。2年生の教科書74ページを御覧ください。ここでは、シンキングツールを使っ
て、教材の中で起こっている道徳的な問題を見つけ、その解決に向けて主体的・対話的に考えること
で、新たな気づきや発見を得る事ができると思われま。学びのための配慮として、人権への配慮では「多
様性」を掲げ、全ページ人権面に配慮しています。特別支援教育への配慮として、ユニバーサルデザ
インに配慮した紙面、個に応じた指導を支えられるように工夫しています。1年生の教科書42ページ
を御覧ください。ここでは多様性を尊重し合う社会のために大切にしたいこととして、「向上心、個性の伸
長」「相互理解、寛容」を新たに重点化しています。こういう絵のような、個性のところを使った教材が
入っております。1年生の教科書の2ページを御覧ください。目次のところ。先程言いましたユニ
ット「いじめと向き合う」は、いじめの事例を直接に扱った教材と、違う視点から間接的に考える教材
の両方で構成されています。コラムは、知識を深めるものとスキルを身に付けるものの二段構えで構成
し、多面的・多角的に考えられるようになっています。こういう目次のところにユニットがいくつか配

置されていると思いますが、これも一つの特徴かなと思います。いじめが起きやすい時期に目次のところを見てもらったらわかるように、年間複数回配置しているんですけども、1年生では3か所。時期でいうと、5、9、1月。2、3年生には2か所となっていますが、これは夏休み明けの時期に配置しています。いじめの未然防止につながるような配慮がされているということです。以上が日本文教出版です。

続いてG a k k e nです。

(G a k k e n)

答申

道徳の学習に興味や関心をもって取り組めるように内容・構成に配慮して編集されている。今の時代を生きる上で必要不可欠な情報と、解決すべき現代的課題を扱った教材や誰にとってもやさしいユニバーサルデザインなど工夫されており、多様な学び方や他の人と考えを深めることができる教科書です。

内容を具体的に説明します。2年生の教科書20ページを御覧ください。教材については、教材の前に主題名を置かないことで、多様な考え方を生み出せるようにしております。他の教科書では、入っているものもありますけど、ここでは何について考えるかというようなものは入っておりません。教材名の下を御覧ください。教材の一部を抜粋したキーフレーズを入れ、主題名の下に入れられています。この「困る。困る。」というようなキーフレーズです。生徒の関心・意欲を引き出す工夫がこのキーフレーズでされており、主題名は入れていないんですけど、主題名は、一番最後の巻末のところに全ての教材の主題名が書いております。これも1つの参考になるかなとは思いますが、最重点テーマを「いのちの教育」とし、「生命の尊さ」は全ての学年で3本ずつ用意しています。また、内容項目でその尊さに改めて気付くように、教材冒頭の帯に「いのちのマーク」を付け、生命について多面的・多角的に考えられるようにしています。2年生の教科書64ページを御覧ください。この教材は、いのちの根源に触れ生きることを意味を考えさせています。題材の下にいのちのマークが下に載っています。1年生の教科書8から9ページを御覧ください。主体性を育むために、多様な学び方、考え方はいろいろというのが8ページのところに載っているかなと思います。ICT活用、パソコンやタブレットを活用しようというのが下にあります。こういうのも積極的に取り入れ、学びの幅を広げるための例を表示しています。キャリアへの意識を高められるよう、様々な分野で活躍する人々。1年生の教科書では、56ページに野口聡一さんのライフストーリーを教材にしています。「宇宙で過ごすために 野口聡一」というところ。また、身近な人の生き方から、生徒たちはより自分らしく、自分の将来について考えられようにもしています。以上がG a k k e nです。

続いて、あかつき教育図書です。

(あかつき教育図書)

答申

読み継がれてきた定番教材から多様な現代的課題を扱う教材まで、生徒たちの心に触れ、揺さぶる授業ができるように教材にこだわり、生徒が自分を見つめ、他者と対話し、学びを深めていくことができるよう教材を配列している教科書です。

内容を具体的に説明します。1年生の教科書2ページを御覧ください。道徳をどのように学んでいく

かを「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「自分の生き方を考える」の3つのステップで各学年とも示しています。学び方もここに載せています。6ページを御覧ください。授業開きでは、「道徳 はじまりの時間」。1年生は「小さな勇氣」、2年生は「自分の人生って」、3年生は「自分と向き合う」という教材で、今の自分を見つめることから始まる内容となっています。巻末には、学期ごと、また、1年間で授業の取り組みを振り返ることができるシートがあります。3年生の教科書14ページを御覧ください。学びを深めるために、教材の冒頭に視点をマークで、「自分自身に関すること」「人との関わりに関すること」「集団や社会に関わりに関すること」「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を表示しています。上のマークです。この教科書の目次のところを御覧いただくと、「教材の冒頭についているマーク」の説明がここにあります。18ページに戻ってください。巻末の「自分を見つめて考える」では、主体的な学び、対話的な学びのどちらかを選定し、「考えを深める」では、道徳的な価値に照らして思考や対話を促すような発問を示しています。3年生の教科書76ページを御覧ください。1年間に3か所、「マイ・プラス」を設置して、役割演技や話し合いなどを入れて、生徒がいろいろな立場で想像したり考えたりできる問いを設定しています。また、重要なテーマにも「マイ・プラス」を設け、対話を通して思考を深められるようにしています。このページでは、白鳥さんとのアート鑑賞を紙面で体験できることで、「共に生きる」ことについて考えを深められるようになっています。以上が、あかつき教育図書です。

続いて日本教科書です。

(日本教科書)

答申

読解に陥りがちであった教材を「生徒自ら考える教材」へと変え、考え合って欲しいことに切り込むために「教材の視覚化」を図っている。自分自身への「問い」から「見方・考え方」を深められる教材を増やしている。また、道徳教育とウェルビーイングを結び付け、生徒が自分自身や周囲の人々のウェルビーイングを尊重し、協働して社会を創る力を身に付けられるツールとしてウェルビーイングカードを掲載している教科書である。

内容を具体的に説明します。全学年とも、ガイダンス1教材と本編34教材の35教材。学習指導要領の内容項目順に「自分自身と向き合う」「人とのかかわり」「集団や社会とのかかわり」「自然や崇高なものとのかかわり」をテーマで配列されています。年間を通した配列は、啓発デーや学校行事に合わせて学校ごとに配列を考える事が出来るようになっているのは、この教科書の特徴だと思います。目次を見ていただいたらわかるかと思いますが、順番がテーマごとにまとめられていて、どの月にどれをするかというのは学校行事とか、いろんな啓発デーとかそれに合わせて、これを使おうかというようなことが出来るようになっています。動画や漫画、写真やグラフなど多彩な情報を積極的に取り入れています。2年生の教科書の107ページを御覧ください。23番『「用具係」、動くか』という教材ですけども、ここでは漫画にすることで内容が入りやすくなり、グループで考え合う時間などを多く取れるようにしています。続いて119ページを御覧ください。ここでは二次元コードで動画教材を使うことで考えやすいようにしています。このように教材を視覚化し考え合うことを図っております。この教科書の特徴は、「ウェルビーイングカード」を授業の中で内容項目そのものについて学ぶだけでなく、生徒自身が、自分はどのような価値を大事にしているかを意識でき、それについて生徒同士で議論することです。そ

れをサポートするツールとして、各学年教科書の巻末付録に「ウェルビーイングカード」が付いています。この「ウェルビーイングカード」につきましては、学年の初めのガイダンス授業で「ウェルビーイングカード」の説明と短い教材を使ったワークがあります。「ウェルビーイングカード」は、学年での巻末に切り離して使うようになっております。使い方につきましては、最初のガイダンス授業のところで、2年生の教科書でしたら、ここの『クラスのみんなとで「道徳の授業」を創り出そう』というようなウォーミングアップのところで『「ウェルビーイングカード」を使ってみよう』というところがあります。以上が、日本教科書です。

阿形教育長

報告いただいた内容について、質問等ありましたらよろしくお願いします。

波床委員

各社の教科書を全部つぶさに見れているわけではないんですけども、最近の一番大きな道徳問題というものの一つは、コロナ感染に関して差別意識が出たりですね、感謝の意識がなくて、人を非難するだけに陥ったりですね、そういうことが社会の中でもものすごくあったように思うんですけども、そういうものが取り入れられている教科書はありましたでしょうか。

川端委員

私も、端から端までくまなく見たわけではないんですけども、コロナに関してのものは、見当たらなかったです。

波床委員

ないようですね。これなぜなんですかね。一番最近のことで、道徳的価値を学ぶ良い素材の1つだと思うんですね。これからもそういうことが起きます。生徒たちも、家族の中で、いろんなこと考えたりですね、同級生とこのようなことを話したりしたはずなんですよ。なぜこういうテーマを取り上げないのですかね。

川端委員

直接は扱っていないと思うんですけども、どの教科書会社でも多様性とかいうところで、人それぞれ、いろんな考え方があったりとか立場があったりそういう違いということ、認め合おうということ、すごく意識、いじめとこの2つの多様性というのを意識されているところが多いかなと思うので、その多様性のところからコロナのほうに切り替えることもできるのではないかなと思います。

波床委員

わかりました。

森崎委員

中学生は、ちょうど子供から大人への移行の時期だと思います。その道徳教育で、配慮されている点、力を入れて伝えたいと思われている点、授業を行う上で、どんなことに気を付けておられるのかが知り

たいです。

川端委員

それは私の考えということですか。

阿形教育長

御覧になった中でこういったことが多かったなどをそういうことを含めて、あれば教えてください。

川端委員

道徳というのは、私見になりますが、他の教科と違うのは、答えが1つではないというのが大きなところなので、生徒が1クラス30人いたら30通りの考え方がある。それはどれが正しいというのではない。そういうところを大事にしていく教科かなと思っております。ただ、授業するのは、教師1人なんですけれども、やはりその授業するにあたって、学年の先生であったり、学校全体の教員であったりいろいろな話し合う。生徒と同じように話し合うことで、先生もいろんな考え方をもっていると、それは全部間違いではない。いろんな取り入れられるところを先生も他の先生の意見を取り入れていけたらいいなと思うところが新たな発見として出てくる、そういうところを、やはり道徳の授業では大事にして欲しいと思います。

阿形教育長

ありがとうございました。他に何かございませんか。それでは、川端選定委員どうもありがとうございました。御退室いただきます。

阿形教育長

それでは道徳の審議に入る前に、展示会におきまして道徳の意見はありましたか。

竹内所長

道徳については3件の御意見がありました。該当ページは資料4、令和6年度教科書展示会に関するアンケート結果の最終ページに、一覧表を記載しております。

阿形教育長

アンケートの道徳に関する2、9、36ページ、3人の市民の方から御意見がございましたので、これから道徳の審議に入りますがそのアンケート結果も踏まえて、審議いただきたいと思います。それでは御審議お願いします。

波床委員

今回は、東京書籍が良いと思います。理由は、日本文教出版も良いと思うんですけれども、東京書籍が、いじめに関する題材が充実していて、しかも、1年から3年にかけて考えを深められるように、教材設定が示されていると思うのです。例えば、いじめを例にとりますと、1年生の教科書ではいじめにあたる例を考えさせて、改めて小学校のときに学んだいじめの四層構造、こういったものにも、改めて

気付かせると。2年の教科書ではいじめが放置されている理由とか原因ですね、さらにはいじめた加害者が抱き続ける心の傷、こういったものにも気付かせerような教材になっています。3年ではいじめから目を背けずどうすればいじめをなくせるのかというようなこと。中学生サミットの発表なんかも受けて生徒に議論させているとともにSNSによる現在型いじめの問題、こういったものを取り上げている。それでいじめという項目ではどうもないようですけども、3年の「卒業文集最後の2行」という読み物では、いじめの問題について改めて物語として気付かせer。そういうふうな構造になっております。日本文教出版もいじめ防止教育に重点を置いて多角的に検討させる教材となっていますが、いじめという例を取ってみても、東京書籍の方が考えを深められるように教材が選択されていると思います。それから東京書籍と日本文教出版を比べた場合に気付きますのは、東京書籍はやはり、命を考えるという視点が充実しているということです。今、世界では、命が軽んじられて、ウクライナでは何人亡くなった、ガザでは何人亡くなったという数字でしか語られませんが、1人1人現実の生がある。そういうものが奪われていく現代社会の中で命を考えるという視点は非常に大事だという思いに至っております。例えば、命というのは、自分が望んで生まれてきたわけでもありません。それから、自分が生を終えるときも、自分の意思で自分の生を絶っていいのか。こういった問題についても、東京書籍では、「命プラス」という教材で考えさせるようになっているんですね。やはり、東京書籍が良くできていると思います。第2順位としては日本文教出版を推します。小学校の教科書採択のときにも、日本文教出版を確か採択したと思いますけれども、日本文教出版もいじめの防止教育に随分重点を置いているとともに、それから、良くできているなど思うのは、例えば1年の、番号19と20の教材ですね。「バスと赤ちゃん」という教材がありまして、20には「3人の乗客」という教材がありまして、この2つの文章は、立場を変えて物事を考えさせようとしているんですね。同じ手法は、2年の教科書の5番と6番の教材についても言えます。立場を変えて物事を考えるというのは、先程選定委員もおっしゃったように、道徳にはいくつかの幅があって、物事の見方があるんだと。その中でいろいろと考えてみなければ現実のものにならないと、そういう御趣旨の発言だったと受け取れたんですけども、そういう観点からするとこのように対比をして、教材を眺めて、それで考えさせるというのは非常に良い試みで、このような教材は他の教科書にはあまり見られないと思います。道徳ノートが付録として付いているという点も振り返りとか、自分の考えをまとめたりするのに適していると思います。ただ先程も申し上げたように、考えを、1年から3年にかけて徐々に深められるように配置されているかという点、あるいは命の重要性について重きが置かれているか、という点に焦点を当てて考えると東京書籍の方が優れていると思います。以上です。

石元委員

私も選んだ教科書は波床委員と同じです。東京書籍なんですけれども、3年間を通じて、人権、いじめについてページ数を割いて、子供たちが他者とともに成長していくために力になるように学習が進められているように感じました。テーマごとに「考えよう・見つめよう」という考えるヒントや振り返りとして使える部分があるのも良いと思いました。また、アンケートで頂いた御意見にもあったように、和歌山と関連している内容があります。3年生の77ページ、「紀州のエジソン」として島正博さん、2年生の193ページでは「海と空 ～檜野の人々とエルトゥール号～」など、和歌山に関連した内容を見ることによって、生徒の興味を引くと思います。もう1つの教科書なんですけれども、日本文教出版です。各学年ともに、教科書と道徳別冊ノートの2冊から成っていて、自分の考えや振り返りの内

容を別冊ノートに書き込むことで、1年経った後で記録に残して振り返ることができると思いました。いじめと向き合うというところでは16ページを取っていて、1年を通して最適な時期に、複数回にわたっていじめのテーマ1、いじめのテーマ2と触れる機会を作っているところは良いと思います。またここでも和歌山のことを取り上げられていて、2年生では54ページ、「時をこえて 檜野で生まれた絆 エルトゥールル号について」や、181ページの松下幸之助さん、3年生の教科書78ページの「稲むらの火」についても内容があって、和歌山について触れられているところも良いと感じました。以上です。

森崎委員

1番には、光村図書を挙げたいと思います。先程お話しさせていただいたように、とても、人間を作っていく上で中学生時代というのは大切だと思います。いじめというよりむしろその前にあたる本質的なところ、感動であったり、人を愛するであったり、そういうことの心を豊かにしていくことが非常に大事ではないかと、思いました。ここでは、例えば1年生の162ページ「感動の本質を探ろう」であったり、130ページ、「学びプラス」では、「尊重の本質を探ろう」であったり自分の考え、そして人の考えを聞き、深く考え、しっかりと追及しています。少し難しい内容が多いとも思ったのですが、また、いじめに対する考えも大事にしていると思います。人として、どう生きるべきか、を追及している教科書だと感じました。2つ目は、東京書籍です。私は、東京書籍では、集団や社会との関わりを、多く占めていると思いました。いじめのない世界では、28から39ページまでしっかりと話し合わせ、向き合わせ、いじめに対して向き合わせている、そういうところは良いと思いました。ただ、教材がすごく多く感じました。ここまで出来るのかなと思いましたので、先程伺ったように、必要な項目を必要な時期に取り上げながら、じっくりと時間を取って話し合ったり、自分を見つめさせたりするのが良いと思います。もう1つ挙げさせていただくのは、日本文教出版です。ノート付きで、全ての項目に、自分の考えたことを整理していくことが出来る。これは小学校のときと同じように考えて、大切かなと思いました。しかし、話し合いの記録を書くところがないと思いました。思考ツールの活用していくところも良いかなと思いました。以上です。

藤本委員

私は、1番に日本文教出版を挙げます。他府県でも行われていますいじめという問題、重要な問題であって、そのユニットの配置が素晴らしい。川端選定委員もおっしゃられましたけれども、5月頃に1回、クラスが始まって、そしていじめが起りかけるときに、そのタイミングで使っている。それから、2学期が始まったときというのは、夏休みというの一番、波床委員もおっしゃられましたけれども、一番命の大切さというか、自殺が多い時期というのがありますので、そういったところも取り上げている、1年生で3か所。2、3年生は2か所ということでユニット化してやっているということも、良いのではないかなと思っております。そして、私がなぜ推すかというと、ノートなんですよ。これがあることによって、必ず35単位時間、やらなくてはいけないということをきちんとやりなさいよ、ということで、白紙で返ってくる学校はないように、18校はしたいんですよね、そういった意味でこれは保護者が見て、何も書いていないところが半分くらいあったというのはおかしいことなので、そういった意味で、和歌山市にとっては、この結果が残る、要するに授業が成立しているかどうかというのがわかる教科書を選びたいということで、日本文教出版です。ですけど、東京書籍になったとしても異論は

ありません。ものすごく東京書籍も良い。というのはやはり生命尊重、それからいじめ防止、これをユニット化して、各学年1回ですけれどもきちんと入れて、やっているというところは魅力的でした。以上です。

阿形教育長

私も、やっぱりいじめや人権などは大事だと思うので、そういった点で日本文教出版と東京書籍というのは支持できるかなと思いました。中でも私の1番は日本文教出版とさせていただきます。藤本委員もおっしゃっていましたが、今、道徳に別冊が付いているのは日本文教出版だけになってしまっているんですけど、こういった時代にあった教科書に対応して子供たちが考える視点というか整理できるのが1番。それから自分の振り返りをしようとしたときに評価するところもありますし、自己評価できて、より深い学びを進められると思いました。教師として気付いて考えて吟味して見つめ直して生かしていくという構成に日本文教出版が1番出来ているのと違うかなと思います。自分で気づいて自分で考えさせる構成になっているのは日本文教出版が1番だと思います。2番目は東京書籍とか光村図書とかあるんですけど、東京書籍のほうがよりそういう配置とかそういったことを含めていいのかなと思いますが、私は日本文教出版が一番良いのかなと思います。東京書籍を1番に推された委員、それから光村図書を1番に推されている委員、それから日本文教出版を1番に置いている委員、3者3様になりますので順番は違いますがこの3社が良いのではないかなと思います。次回に向けまして東京書籍、それから日本文教出版、光村図書、この3社を残して検討していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

歴史

竹内教育研究所長

歴史の答申及び答申資料の御説明をいただきます。歴史は、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、令和書籍です。委員の皆様は、御手元の答申資料を御覧ください。御答申は田野岡選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願いたします。

阿形教育長

田野岡選定委員、歴史の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

田野岡選定委員

選定委員の田野岡です。歴史の答申をいたします。歴史は、8社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

(東京書籍)

答申

全てにおいて各時代が目次と共通した色で表記されておりカラー資料も多く、平均的に分かりやすく表記されている。「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」「確かめよう」、「ふり返ろう」、「深めよう」の流れで構成し、章末にまとめられている。吹き出しを使い、保護者、担当教員の立場でも配慮を促しながら、これからの防災・エネルギーについても触れている。

各時代の分量については、平均的であるが、若干近代が多く、現代が少ないです。各時代が目次と共通した色で表記されています。「小学校で習ったことば」、「資料の読み取り」、「みんなでチャレンジ」という問いが設定されており、「探究課題」という形で章を貫く問い、「探究のステップ」という形で各節の課題が示されており、学習に見通しを持つことができるようになっております。章末のまとめでは、導入で示された「節の問い」に対して、「確かめよう」、「ふり返ろう」、「深めよう」の流れで構成し、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながっております。他分野・他教科との関連を図った学習として「リンクマーク」が紹介されており、二次元コンテンツの中で、その分野や教科の教科書の紙面を確認することができます。現代的な諸課題を自分事として捉えるために、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つの視点でとらえ、様々な課題や克服のための取り組みを扱っています。目次の中で、火山の噴火や地震・津波などの災害の写真の扱っていることを担当の先生、保護者の方に配慮をお願いしております。SDGsの観点から、これは各社共通することも多いですが、再生紙・植物油インキを使用し、環境に配慮しつつも、読みやすく、耐久性を高めています。

次に、教育出版です。

(教育出版)

答申

各章・各節の学習の見通しと、見やすく、問いと資料が示されているなど内容もより深く追究し、その時代の変化に注目するポイントが紹介され、見方・考え方を導くヒントが示されて図説、表記、ともに興味引く内容に精査されている。「身近な地域を調べよう」として、地域の歴史や生活体験と関連付けた内容になっていて、巻末にSDGsにも触れている。

詳しい特徴としまして、各ページ横に解説文が掲載されており、各時代を目次と共通した色で表記し、生徒の興味を引くユニークなタイトル、例えば208ページの「クリスマスまでには帰れるさ」等、戦争が終わって帰れるということを、そういう表現で工夫されています。「HOP」「STEP」「JUMP」の段階を経て、思考力・表現力・判断力を高める活動が設定されており、各章末に表記されております。「まなびリンク」として、各章の初めに「役立つリンク集」や「歴史クイズ」「歴史の技」「資料や地図の読み取り方」などが二次元コンテンツとして用意されております。小学校の教科書で登場した人物にはマークを記して地理や公民につながる内容にもマークを記載しております。教科書の横幅が広いので、資料が見やすく配置されています。二次元コードを23か所に掲載し、「まなびリンク」として学習に活用できるように工夫されております。以上、教育出版でした。

次に、帝国書院です。

(帝国書院)

答申

本文では広く見やすく「確認しよう」、「説明しよう」の流れで構成し、章末には、「学習を振り返ろう」を設けており、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる。小学校での学習内容や地理や公民と関連する内容については、欄外に表記している。章末の「学習を振り返ろう」の中で、『話し合っ「章の問い」を考察しよう』があり、グループでの対話を促す工夫をしており内容もより深く追究し、図説、表記、ともに興味引く内容に精査されている。

詳しい特徴としましては、各章の初めに「タイムトラベル」として、ページいっぱいイラストが掲載されており、時代のイメージを視覚的に捉えることができます。見開きでは、キャラクターの吹き出しの問いや「確認しよう」、「説明しよう」の問いで課題追究の視点や方法を示すことで、解決に導く構成となっております。各章の導入で、小学校で学習した内容や人物を、年表とともにイラストで示し、各ページにおいては、小学校で学習した人物や語句を、ページの下に青色で記載しております。小学校での学習内容や地理や公民と関連する内容についても、欄外に記入しております。「未来に向けて」のコラムが設けられており、現在の私たちの生活と関連のある事柄について記載しております。各章の導入と章末には二次元コードを付しており、関連する動画を見ることが出来るだけでなく、ワークシートや確認クイズを活用した学習をすることができます。以上、帝国書院です。

次に、山川出版社です。

(山川出版社)

答申

内容をより深く追究し、詳細な説明、詳しい図説、表記、ともに興味を引く内容に精査されている。各章の初めに導入資料として年表やその年代の要約、写真等章全体のイメージをつかみ、章末の「まとめ」で振り返りを行い、各時代の流れや特徴を確認するという学習の流れは、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる。

特徴としまして、「歴史にアプローチ」では、時代を通した視点・グローバルな視点で見たテーマや、ポイントに絞ったテーマなど、10のテーマを取り上げ、それぞれ多角的・多面的に考察する力を養い、歴史の理解を深めることができます。本文の語尾が常体になっていたり、登場する人物が多かったりと、高等学校における学習にスムーズに移行できるような工夫が特色として挙げられております。選挙制度など、現代の私たちの生活と比較して考えやすくする工夫をしている箇所があります。各時代で、世界史と日本史の色分けをしたり、二次元コード等を用いた場合ですけど、それは約1、2分の動画を見たりすることができ、理解をより深めるねらいがあります。SDGsへの配慮という観点からも、カラーユニバーサルデザインを取り入れて「つくる責任、つかう責任」という観点から、資源に配慮するという目的でページ数を抑え、「緑の豊かさも守ろう」の観点から、再生紙と植物油インキを使用しています。以上、山川出版社でした。

次に、日本文教出版です。

(日本文教出版)

答申

内容をより深く追究し、図説、表記、共に興味を引く内容に精査されている。巻末に防災に触れ、広川堤防等地域の防災にも触れ学習に導入しやすくなっている。また、平和教育、政治参加にも触れ

るなど、近代史にも力を入れている。特色として「先人に学ぶ」、「各時代の女性」、「地域に学ぶ」のコラムを設け、その中でSDGsの17のゴールと関連の深いものには、マークをつけている。

詳しい特色としまして、各編の初めに、その時代を概観できるような資料が並べられ、さらに、年表と地図から日本と世界の結びつきを意識できます。また、編を貫く問いと各節の問いが紹介されており、学習の見通しがもつことができます。編末には「まとめとふり返し」を設けており、「自ら課題を見つけ、見通しをもって粘り強く学ぶ」につながっております。「資料活用」、「確認」、「表現」の問いで、課題追及の視点や方法を示すことにより、解決に導く構成となっております。小学校で学習した人物は、欄外にリンクコーナーで表記しております。見開きの2ページ中の表現や資料を活用して学び合える問いには「学び合い」マークが付いており、言語活動の充実を図る工夫をされており、身近な地域の歴史をグループで探究できるよう具体例を示しながら、課題の設定、調査の仕方、報告の仕方などが解説されており、また、「でかけよう！地域調べ」で実践例を紹介し、体験を通して探究できるように工夫されています。資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験する「チャレンジ歴史」のコーナーを設けたりもしています。以上、日本文教出版です。

次に、自由社です。

(自由社)

答申

巻頭に「日本の世界文化遺産」のページを設け、地図と写真を掲載している。各章の初めに一つの資料を取り上げ、キャラクターが発する疑問により、興味を持って学習に入ることができるようになっている。章末には「調べ学習のページ」により、生徒の探究を促し、「復習問題のページ」では基礎的な用語や知識の定着をはかり、「時代の特徴を考えるページ」では、課題学習で、学んだことを自分で構造化し、表現する場を設け、図説、表記、ともに詳細な説明が行われている。

詳しい特色としまして、小学校で学んだ人物を中心に、年表風に紹介し、時代の流れを示しております。「対話とまとめ図のページ」ではキャラクターによる時代の鳥瞰・大観のための対話篇を設けております。見開きの2ページの中の「チャレンジ」や章末のまとめの中で、見方・考え方、多面的、多角的に見る力を育む工夫がなされております。各時代の分量については、近代が多く、中世と現代が少ないです。二次元コードは記されておりません。「正確な日本地図をつくった伊能忠敬」や「水泳ニッポンと1964年の東京五輪」、「日本の天皇と中国の皇帝」など、多彩なコラムをたくさん採用し、幅広い知識と教養を身に付けさせる入り口となるように配慮されております。以上、自由社です。

次に、育鵬社です。

(育鵬社)

答申

各章の始めに、その時代の見方・考え方を示し、中学生のキャラクターの吹き出しで発問したりして、中学生がスムーズに学習できるように工夫している。図説、写真等も多く興味引く内容で容易に直感的に文章内容を理解しやすくなっている。導入ページでは、「歴史モノサシ」で学習する時代の範囲を確認し、章末には、「学習のまとめ」を設けており、このような流れの学習は、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」ということにつながる。

詳しい特色といたしまして、各章の初めに、その時代の見方・考え方を示し、中学生のキャラクターの吹き出しで発問したりして、学習できるようにしております。導入ページでは、「歴史モノサシ」で学習する時代の範囲を確認し、資料を用いて「鳥の目」「虫の目」で時代を見ています。見開きの2ページの中で、課題を提示することで解決すべき事柄を把握し、イラストの吹き出しの問いで課題追究の視点や方法を示し、課題解決をしやすくしています。各時代を目次と共通した色で表記し、復習するときにも見やすく調べやすくしています。各時代の分量については、原始がやや少なく、現代がやや多いということです。グループで話し合う課題を設定したり、「歴史ズームイン」では、各章の学習をさらに掘り下げ、意見交換し、理解を深めたりできるような特色があります。以上、育鵬社です。

次に、令和書籍です。

(令和書籍)

答申

A5サイズでコンパクトだが、本文ページでは教科書の中では唯一縦書きで、日本史観点から世界背景を表し、節ごとの課題がまず示され、解説文があり、写真や図、文献資料などが掲載されている。全般的に深く説明されており、記述が詳細に表現するため、説明文等フォントが小さくなっている。図説や写真が白黒であるが興味深いものを取り上げている。巻末に資料集が年代別にカラーでまとめである。

詳しい特徴としまして、各章の導入では、政治・外交・文化・産業の4つの章を貫く問いが紹介され、簡単な年表で概観できるようになっております。小学校で学習した人物と文化を思い出し、一番尊敬する人について調べ、歴史カードをつくる学習が最初に設定されています。序では、「国史を学ぶにあたって」において、「歴史の調べ方」「歴史的な見方・考え方」などの学習の進め方を紹介しております。近世のまとめにみられる「展覧会にいこう」で、身近な地域で行われている展覧会でレポートを作成するという体験活動を通した学習が出来るようになっております。二次元コードは、461ページに1つだけあり、ホームページの紹介はありません。本文中の地図や資料は白黒であり、グラフの掲載は少ない。地域について、エルトゥール号の遭難事件がコラムでとりあげられております。以上、令和書籍です。以上で8社の報告を終わります。

阿形教育長

報告いただいた内容について、質問等ありましたらお願いします。

波床委員

中学校の歴史教科書の在り方を教えていただきたいですけど、歴史はもちろん高校でも学ぶわけですね。中学校で獲得目標とすべき事柄と高校で獲得目標とすべき事柄を対比した場合に、どのような違いがあるのでしょうか。

田野岡選定委員

中学校の歴史の場合、小学校で学んだことを更に定着させていくということがあります。高校ではその小学校と中学校で学んだこと、特に自分達が学び合って興味を持ったことについて深く掘り下げて学

習していく、さらにそこを深めて歴史に興味を持っていくという違いがあります。個人の考えとしてはそのような違いがあると思います。

阿形教育長

他に質問はございませんか。それでは、田野岡選定委員には御退出いただきます。

歴史の審議に入る前に事務局に伺います。教科書展示会において歴史について意見はありましたか。

竹内教育研究所長

27件の御意見がありました。資料4「令和6年度教科書展示会に関するアンケート結果」の最終ページに一覧表を記載しております。

阿形教育長

ありがとうございます。歴史に関しては特に市民の方から非常に多くの意見が寄せられております。事前に配布させていただいておりますので、お読みいただいた中で何か御意見はございますか。先程田野岡委員からもありましたように、歴史的な内容については変わりはないですけど、やはり各社特色があって、そういった内容について書かれている御意見が多いのかなと思います。特に戦争のあたりとかそういったものを詳しく取り上げている出版社もあれば、いろいろ特徴がありますので、またいろいろ御意見をいただく中で、もしありましたら出していただけたらと思います。子供たちが小学校の中で学んできましたその上に立って学んでいく中学校なので、そのような事も含めまして御意見を出していただけたらなと思います。

阿形教育長

それでは、歴史の審議に入ります。委員お1人お1人がお調べくださったことやお考えになったことをお出しいただき、御審議ください。

藤本委員

私は歴史を見させてもらって、文字が少なくそれに関する資料の配列というのをよく見せてもらいました。そういった中で選んだのが、1番は日本文教出版が良いなと思いました。というのは、章にはなっていない編を貫いた問いについて、その予想とか疑問とかを行動を追うように記入し見通しを持たせると共に学習前後の変容、メタ認知を記録することを促している教科書だと把握しました。見た目も見やすいし、そういった工夫がされているので、日本文教出版を挙げさせていただきました。続いて、2つ目は帝国書院を挙げました。先程田野岡選定委員もおっしゃられていたんですけど、日本文教出版にもあるんですけど、「確認しよう」、「説明しよう」それから、章末には、「学習を振り返ろう」ということで、きちんと書かれておまして、それを自ら課題を見つける、見通しを持って学ぶというところで良かったなと思いました。そして、良いなと思ったのは、「タイムトラベル」というので、その時代に生活している人の表情とかそういった生活の状況が分かる冊子が2ページにわたってあったのが良かったなと思いましたので、帝国書院を2つ目に持ってきました。以上です。

波床委員

私も、第1順位は日本文教出版です。日本文教出版は、最初に問いだけを行わせて、本文の中で学習課題についての見方とか考え方を提示して、最後にまとめと振り返りで学習したことを総括させる。そういう手法と言うのは、課題の発見、探究、まとめと表現するという、こういう指導要領にのっとった構成で一貫しておりますし、それと整合性のある教科書ではないかなと思います。また、従来の教科書との連続性という観点からみても、日本文教出版は、小学校でも採択されておりますので、使いやすさが生徒にとってもあるのではないかなと思います。第2順位は、やはり私は東京書籍がバランスが取れているかなと思います。よく考えさせる教材として、また考えを定着させようという意識で構成されている工夫のある教科書だと思います。やや他の教科書に比べると、問いの設定が大問小問合わせてかなりありますので、教師の側の相当な準備と授業の工夫をしないとこなすのが大変な教科書かなと思います。その意味で取捨選択が必要になるのだらうと思います。その意味で日本文教出版が教えやすいし、指導要領を実現するために非常に工夫された教科書だなという気がいたします。

石元委員

アンケートの結果を見ますと、一番アンケートの中でも歴史的分野が多く意見をくださっていて、皆さんの関心が高いのだなということがわかりました。私は専門家ではないので、内容の取り上げ方については判断するのが難しかったですけれども、アンケートの結果を踏まえて、子供たちにとって学びやすい教科書を使って欲しいなという視点で選びました。第1に日本文教出版を選びました。テーマごとに学習課題の見方・考え方を示していて、課題解決のための視点を示すことで自ら見通しをもって学べるように工夫されているように感じます。また、近代史もしっかり力を入れられているのが良いと思いました。レイアウトなんですけれども、教科書の横幅が広いことで、文字が多くてもすっきりとした見え方になっていると思います。図や地図、年表なども多くて大変見やすい構成となっているように感じました。次に、東京書籍と帝国書院で悩んだんですけれども、帝国書院を選びました。藤本委員がおっしゃったように、各時代にタイムトラベルという大きな図番が掲載されていて、各時代の初めに載ってくることによって興味付けになっているように思います。また、写真や表、資料などの表示が大きくて、生徒に読み取りやすい工夫がされているなと感じました。生徒が学習意欲を引き立たせるように、イラストの登場人物が語りかけたり、歴史プラスや未来に向けてなどのコラムも充実していて、読み物としても子供たちが楽しめるかなと思いました。以上です。

森崎委員

私も、日本文教出版としました。適度な量でわかりやすいと思いました。チャレンジ歴史によって、歴史に対する興味・関心を注がれる。見開きで完結しており、1時間の学習が進めやすい、わかりやすいのではないかと思います。253ページの資料、若い世代にあてた言葉というところが印象に残りました。また286ページの冷戦決着後の近隣諸国との関係、これもとても心に残りました。次は、東京書籍と帝国書院で私も迷いました。最終的には、非常に詳しい内容まで踏み込んでおり、興味を持てば歴史を面白く感じるかもしれないと思う帝国書院を選ばせていただきます。以上です。

阿形教育長

大体、日本文教出版となっているんですけれども、私も一緒です。日本文教出版と東京書籍と帝国書院はよく似たつくりとってはおかしいんですけれども、一番最初に小学校との関わりというのかな、

それを3社とも丁寧に小学校ってどんなことを学ぶんですか、歴史ってどう学ぶんですか。身近な地域の歴史との関係、同じような内容となっています。日本文教出版だけが少しだけわかりやすいかなと思いました。それから、3社ともページ右端にある時代の年表。下の方に年表がついているのもいくつかあるんですけども、右端が一番見やすく、時代の流れがわかりやすいかなと。これも見た感じわかりやすいかなと思いました。それから、間いというのが1番下の段に統一して見やすいかなと思いました。そして、考えを深められるような工夫がされているかなと思いました。また、地図とか、見開きの年表とかが1番充実しているかなと思いました。他にも、歴史との対話というのが、未来へ生かしていくというのがあって、世界平和とか、これからに生かしていきますよというところが、日本文教出版が1番充実しているかなと思いました。大体皆さん日本文教出版を1番に押されていて、あと2番手に東京書籍と帝国書院が並んでいるんですけども、3社残して、もう一回、最終審議をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、そのようにさせていただきます。

技術

竹内教育研究所長

技術・家庭（技術分野）の答申及び答申資料の御説明をいただきます。技術は、東京書籍、教育図書、開隆堂です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は庄禮選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願いたします。

阿形教育長

庄禮選定委員、技術の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

庄禮選定委員

選定委員の庄禮です。技術の答申をいたします。技術は、3社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

（東京書籍）

答申

教科書の構成と使い方、学習方法、ガイダンスが巻頭に28ページ分掲載され、生徒が中学校で初めて学習する技術の授業に興味・関心を持って取り組めるようになっている。また、学習指導要領に沿った学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から、問題解決の過程を経て、将来の技術のあり方まで展望できる教科書である。

特色、工夫は、答申でも述べましたが、教科書の構成と使い方、学習方法、ガイダンスが巻頭に28ページ分掲載され、生徒だけでなく、初任や経験の浅い先生方が技術分野を指導する場合でも3年間の技術分野の学習の流れが詳しく、分かりやすく説明されています。各ページに用意されている二次元コードの数は令和3年度の教科書と比較して約8倍に増えており、生徒が学びを深めるのに役立つだけでなく、経験の浅い先生方の授業のサポートもしてくれます。教科書が重く厚くならないようエッセンスのみを掲載し、主体的・対話的で深い学びのためにデジタルコンテンツを活用できるよう工夫されています。各編で学習する題材には、身近な学習機やトマト、牛、ドライヤーなどが例として挙げられ、生徒が興味・関心を持ちやすくなっており、問題解決例にも「あったらいいな」を形にする多彩なテーマを挙げています。

次に教育図書の答申と特色、工夫について報告させていただきます。

(教育図書)

答申

ガイダンスの初めに、中学校で新しく学ぶ「技術分野」が四編とも小学校で学習してきたことと密接に関わっていることを見開きの2ページで具体的に示しており、導入をスムーズに行うことで技術の学びを広げていける教科書である。また、各編での実習や実験の手順やポイント、作業の安全や衛生について詳しく補足説明をしている技能資料が別冊「スキルアシスト」として付けられているのが大きな特徴である。

特色、工夫は、答申でも述べましたが、技能資料が別冊「スキルアシスト」として付けられている点が挙げられます。実習や実験での手順や作業上の安全等について、写真や図解で分かりやすく説明されています。ただ、別冊になっているので、生徒が紛失したり忘れてしまうことも考えられます。問題解決学習では全体の流れを4コマ漫画でイメージしやすくなっており、題材例も簡単なものから少し複雑な題材まで多くの例が挙げられています。デジタルコンテンツも奇数ページの右下に見出しをつけ、統一した場所に記載されており、使いやすくなっています。巻末には各編の設計・計画・栽培のワークシートがつけられており、このワークシートも電子データ化されているため教員が使いやすくアレンジできるようになっています。

次に開隆堂です。答申と特色、工夫について報告させていただきます。

(開隆堂)

答申

学習指導要領に示される技術分野目標「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す」を達成できるよう、「Wants」「安全」「環境」「経済」について各編冒頭で取り上げ、生活や社会の中の技術を読み取り、問題に目を向け、問題解決の課題に取り組み、学習したことを社会に生かすという流れで学習していける教科書である。

特色、工夫は、学習の基本的な流れを、「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という構成で共通化することで、各段階で見方・考え方を働かせながら学べるようになっていきます。小項目は「学習の目標」「学習課題」「内容」「CHECK」の4段構成になっており、それぞれが関連し合っているの

で、何を学習するかが分かりやすく、流れに沿って進めることで確実に資質・能力を育てることができ
ます。問題解決の実習例を各編4例から7例と比較的多く例示しており、地域や学校、生徒の実態に合
わせた適切な実習を選ぶことができます。また、実習後に問題解決の振り返りシートを使って評価・改
善を行うことで、SDGsの実現に向けた関わりについても考えさせられる構成になっています。各編
のまとめでは、様々な分野の技術に関わる方の紹介、インタビューを掲載し、勤労観・職業観を育む工
夫がなされています。

阿形教育長

ありがとうございました。それでは報告された内容について、質問がありましたらお願いします。

森崎委員

開隆堂のところですが、実習例が4から7例と比較的多く提示されている箇所がありました。その後
に適切な実習を選ぶとありましたが、実際に、御指導される時には、この中からいくつかを取り上げて
実習されるのでしょうか。

庄禮選定委員

学校の実態や先生の考え方によって、全ての実習例を実習するわけではなく、生徒の実態、地域の実
態に合わせて最適な題材を選ぶということになっています。

森崎委員

もう1点、東京書籍は実習が少ないように思うのですが、この取り扱いというのは、やはり詳しい説
明がされているということで捉えたらよろしいでしょうか。

庄禮選定委員

そうですね。やはり実習例は少ないですけれども、1つ1つの実習例を精選して教科書に挙げられて
いるのではないかと思います。

波床委員

技術というと、私が中学生だった頃は、木工あるいは栽培など従来型の技術ばかりだったんですけれ
ども、今はいずれの教科書も拝見すると、エネルギーの変換とか情報に関する技術とか、というような
事になっているわけですね。重点の置き方として、全てやらないといけないという感覚でやっているの
でしょうか。それとも、今後のことを見据えると、後者といたしますか、それらがどうしても社会におい
て重要性がどんどん増しているように考えられるわけですので、そういったことの応用力を育てる基礎
として、中学校の技術は捉えられているのか。そのあたりの大きな観点というのは、どんな感じなの
でしょうか。

庄禮選定委員

今の学習指導要領では、4つの領域を全て学習するようにと指定されておりますので、各教科書とも
4点の実習を、学校、また先生によって、多少その時間配分が変わってくるかと思うのですが、4点と

も実習領域となっています。

波床委員

もう少しよろしいでしょうか。私が中学1年生のときに算数から数学に変わったわけですが、最初に何を教えられたかという、2進法を教えられたんですね。なぜ2進法を教えられたかという、先生が言っていましたけれど、これからはコンピューターで必ず2進法が必要だからと。その時代はコンピューターというのはそれほど普及していませんでしたが、そういうことで将来を見据えた教育というのを施された経験があります。技術科でも、今後のことを考えると、やはりそういう将来を見据えた強弱といいますか、教育の強弱があつてしかるべきだと思ふんですけど、やはり従来型のものも教えることが大事だよという視点がどうしてもあるということでしょうか。

庄禮選定委員

最近、科学や情報技術の進歩のスピードがどんどん速くなっておりまして、なかなか今の段階でこの先どういったものが必要になってくるのかを見極めるのが難しいと思いますが、やはり人間として生活していく、これから義務教育を終えて生活していく上で、技術科で挙げられている4つの点は大事なことだと思います。ただ、情報処理については今後ますます重要になってくると思います。

阿形教育長

他にありませんか。庄禮委員ありがとうございました。

それでは技術の審議に入りますが、その前に、展示会におきまして何か御意見等ございましたか。

竹内教育研究所長

技術についての御意見はございませんでした。

阿形教育長

ありがとうございます。それでは技術の審議に入りたいと思います。よろしく申し上げます。

波床委員

私は、現代的な要請から見た場合、加工とか栽培とかに重点を置くより、今後のことを考えて、エネルギーの問題だとか、或いは情報技術の問題だとか、そういうものに、生徒たちの関心をより向けていったほうが良いだろうなと思うんですね。そういう観点からすると、少しでもいろんな刺激を与えるという観点から見たときに、どれが優れているのかなと見ますと、私は東京書籍が優れているのではないかと考えております。それで、東京書籍を推薦したいと思います。ただ3社とも見比べますと、教育図書、開隆堂もよく工夫がなされていますので、それほど差があるとは思わないんですけど、やや現代型の技術科という観点から見ると、東京書籍が良いかなということでございます。

阿形教育長

ありがとうございます。ほか、ございませんか。

森崎委員

新しい時代に向けて内容がとても多くなっていること、どの会社もガイダンスにおいて用具の使い方や安全面、今問われている課題を見つけて実践に生かしていこうという説明がよくされていると思いました。もちろん、目次を見ると、材料と加工の技術、生物育成の技術、エネルギーの変換技術など皆同じなのですが、教育図書と開隆堂は、どちらかという実践例がとても多くて、東京書籍は実践例を抑えてあって、そのかわり手順を非常に丁寧に説明している。例えば最初の木工にしてもすごく簡単な材料を、フォトスタンドからスタートしていて、その説明をすごく細かくされていますね。迷いまして、東京書籍か開隆堂。この2つを選ばせていただきたいと思います。

阿形教育長

開隆堂と東京書籍、少し特色が違うが、ということですね。他にありますか。

石元委員

私も東京書籍を選ばせていただきました。中学校で初めて習う科目に技術分野というものがありますが、初めて習うので、どんな科目かなと少し不安と期待があるので、生徒にとっては分かりやすく、教科書の最初の構成と使い方というところで詳しく説明されているのが分かりやすいなと思いました。また教科書に使われているマークやその意味も一目で分かるように工夫されていて統一感があると思いました。問題解決のページでは、自ら課題を設定して解決していけるように、生徒が自分で考えて問題を解決していけるようになっている流れもいいなと思いました。また、デジタルコンテンツが豊富で、学びの助けとなるように工夫されています。あと「TECH Lab」という技術の解説が、写真や解説がとても丁寧で分かりやすいというように感じました。

阿形教育長

はい、ありがとうございます。

藤本委員

和歌山市だけではなくて、和歌山県内、他の都道府県でも技術の免許をもった先生が非常に少ないし、取れない状況です。私の頃は、職業とって工業科にいくと免許が取れたんです。だから私も2年間技術を教えたんですけども、技術の免許をもっている先生が大変少なくなっている状況であることを考えますと、分かりやすいものが良いかと思います。開隆堂も良いのです、ものすごく良いのですけれども、内容となった時にどれを選んだら良いのか。授業をするにあたり、誰に聞いたら良いのか。技術の先生は学校に1人くらいですから、自分自身でセレクトしていかなければならない。そういう実態があるわけですね。それであれば、ゆっくり説明してきちんと順序立ててできるということを選んだ方が良いのではないかと思っています。できる人は開隆堂を選びたいと思うかもしれませんが、私はそういう基準で東京書籍を選ばせていただきました。

阿形教育長

ありがとうございます。私も東京書籍か開隆堂かと思いました。東京書籍では、問題解決の基礎的な考え方をゆったりとまとめられていて、写真等も理解しやすいなと思いました。それから開隆堂は解決

事例が大変多くて、ここもイラストや写真がかなり付けられています。どちらか選ぶとなると、もう少し勉強させて欲しいかなと思っています。ですから、皆さん東京書籍か開隆堂ということで、東京書籍、開隆堂を残して、再度審議するということでよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

では、そのようにさせていただきます。それでは本日の審議を終わりたいと思います。事務局から事務連絡がありますか。

竹内教育研究所長

次回、第3回採択会議について連絡いたします。第3回は、7月23日18時からです。場所は、本日と同じく教育文化センター2階会議室です。審議教科・種目は、理科、美術、英語、地理、地図、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）の7教科・種目です。よろしく願いいたします。連絡は以上です。

第3回 教育委員会の教科用図書採択に係る会議

理科、美術、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、
地理、地図 採択審議

1 日時

令和6年7月23日（火） 会議開始時刻18:00 会議終了時刻20:23

2 会場

教育文化センター2階 会議室

3 出席者

○教育委員

教育長	阿形 博司
教育長職務代行者	藤本 禎男
委員	森崎 陽子
委員	波床 昌則
委員	石元 和代

○教科用図書採択事務局

事務局長	奥山 由佳	(教育局長)
事務局次長	前北 博文	(学校教育部長)
事務担当課長	岩本 信哉	(学校支援課長)
	西谷 宣昭	(学校教育課長)
	竹内 圭	(教育研究所長)
事務局員	北林 直樹	(教育研究所専門教育監補)

4 議事

阿形教育長

それでは、議案第21号「令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の採択について」について説明をお願いします。

奥山事務局長

これより、令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書採択のための臨時教育委員会第3回採択審議をお願いいたしたく存じます。本日も、本市の子供たちにとって最も適切な教科書を採択するための御審議をお願いいたします。それでは、これより事務局説明を、教育研究所長竹内に行かせます。

竹内教育研究所長

本日の採択会議日程について、御説明を申し上げます。これより、理科、美術、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、地理、地図の順に御審議をいただきます。御答申は、選定委員から教科・種目ごとに、1社ずつ行っていただきます。そのあと、質疑応答のお時間を設けたいと存じます。質疑応答が済み次第、選定委員には退出していただきます。選定委員の退出後、教育委員の皆様には御審議をお願いいたします。

理科 _____

竹内教育研究所長

理科の答申及び答申資料の御説明をいただきます。理科は、東京書籍、学校図書、教育出版、啓林館、大日本図書です。委員の皆様は、御手元の答申資料を御覧ください。御答申は富田選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願いたします。

阿形教育長

富田選定委員、理科の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

富田選定委員

理科について、教科用図書選定における答申をいたします。東京書籍、学校図書、教育出版、啓林館、大日本図書の5社について、それぞれ中学校1、2、3年生用の教科用図書、合計15冊について慎重に検討してまいりました。まず、5社とも、探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点でいずれも大変充実しています。和歌山市の「めざす子供像」にいずれも合致するものと思われま。5社の教科用図書の間に、内容や分量に大きな差はなく、敢えて差を取り上げて説明するとなれば、以下ようになります。なお、理科は中学生にとって難しく感じる事が多く、身近な疑問や日常生活と関連付けることや、多様な科学の話題を取り上げることが効果的と思われま。その点でも、5社とも大変充実しています。また、理科への興味・関心についてのジェンダーギャップの問題も最近特に取り上げられています。5社とも、登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように、また説明の中での役割等で配慮されており、ジェンダーギャップ問題への対応がなされているように見られます。

(東京書籍)

答申

探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点でどの社も充実しているが、他社に比べて理科に関係した仕事の紹介と、働く人の紹介が充実している点に特徴がある。

東京書籍「新編 新しい科学」は、他社のものに比べて理科に関係した仕事の紹介と、働く人の紹介が充実している点に特徴があります。また、登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されています。裏表紙の「保護者の皆様へ」では、著者からの思いや呼びかけの言葉になっています。身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げについて、「まちなか科学」で日常との関連、「歴史にアクセス」で科学史の観点、「なるほどね!」で科学の幅広い話題、「お仕事図鑑」「防災特集」「私たちのSDGs」と、読み物が多方面に豊富に用意されている。「なるほどね!」では発展的な話題も多い。さらに、各単元に「社会につながる科学」では科学に携わる人へのインタビュー記事がある。「お仕事図鑑」のコーナーと併せ、世の中の仕事の紹介と、働く人の紹介が充実している。

(学校図書)

答申

探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点でどの社も充実しているが、他社に比べて電子化が質・量ともに徹底的に進められている点、入試問題を念頭に置いた問題を掲載している点に特徴がある。

学校図書「中学校 科学」は、他社のものに比べて電子化が質・量ともに徹底的に進められている点、入試問題を念頭に置いた問題を掲載している点に特徴があります。全ページに二次元バーコードがあり、電子化されています。それにとどまらず、その電子化の中で、ふりがなを付ける、分かち書きで表示する、6か国語の外国語で表示される機能などがあります。さらに、「チャットボット」に質問ができる機能まで付加されています。他社

のものに比べてページ数が1割程度少ないが、徹底した電子化と共に考えられたものでしょう。最初に5社とも互いに大きな差が見られないと申し上げましたが、もし、1番差を出しているものはどれかとなりますと、この社のものになるかと思えます。また、教科名は理科だが教科書名を科学とした説明を裏表紙に記載しています。身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げについて、教科書の随所に「理路整然」と題したコーナーがあり、探究を深めるための視点の整理、科学史的な読み物が紹介されています。また、「SDGsを意識して脱炭素社会へ」というコーナーもあります。この教科書らしく、電子版のページで、定期的に更新される「科学ニュース」があります。

(教育出版)

答申

探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点でどの社も充実しているが、他社に比べて大きなフォントを使い、また、重要語句を色を変えて示しているなどの点に特徴がある

教育出版「自然の探究 中学理科」は、他社のものに比べて大きなフォントを使い、また、重要語句はすべて橙色の太字で印刷されています。市販の赤シートで覆って自習することができるようになっています。身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げについて、「ハローサイエンス」で科学の話題が紹介され、「科学者列伝」、「ブリッジ」で他教科との関連、「発展」のコーナーがあり、そして「やってみよう」「参考」「チャレンジ」で、課題を見つける活動や調べる活動への案内がされています。

(啓林館)

答申

探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点でどの社も充実しているが、他社に比べて探究に関する記載が多いこと、SDGsの問題意識を高める工夫がよくなされていること、付録が豊富な点に特徴がある。

啓林館「未来へひろがるサイエンス」は、他社に比べて探究に関する記載が多いこと、SDGsの問題意識を高める工夫がよくなされていること、付録が豊富な点に特徴があります。巻末に、單元ごとの「探Qシート」の書き込み可能なシートが付いています。これは教科書の「探Q実験」に対応しており、実験が探究的に行えるような工夫になっています。各單元にふり返りシートが電子的に用意されています。また、地学の分野の写真で和歌山県に関係した写真が他社より多めになっています。身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げについて、單元末に「みんなで探Qクラブ」「ひろがる世界」、随所に「部活ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」「防災減災ラボ」「深めるラボ」といったコラムが非常に豊富に掲載されています。「深めるラボ」では科学史の観点や発展的な内容がよく取り入れられています。

(大日本図書)

答申

探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点でどの社も充実しているが、他社に比べて小さめの紙面で、1人1台端末を置いても机の上に余裕があるように使える点に特徴がある。

大日本図書「理科の世界」は、他社のものに比べて小さめの紙面で、タブレット端末を置いても机の上に余裕があるように使える点に特徴があります。また1年生の教科書はフォントサイズを大きめにしています。二次元バーコードについて、全体としては控えめな使い方になっているように感じられます。身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げについて、「つながる」で他教科との関り、「Science Press」で科学の話題、「くら

しの中の科学」で日常生活や社会での活用、「Professional」で職業に関する紹介、「科学のあしあと」で科学史的な観点が紹介されている。また、「Science Press」などでは発展的な内容も紹介されています。

阿形教育長

丁寧にご説明いただきありがとうございました。御報告いただいた内容で、令和7年にコンピューターを基礎としたC B Tへの対応が必要になってくると思うが対応していますか。

富田選定委員

各社二次元バーコードを掲載しています。大日本図書は控えめだと言いましたが各社対応しています。その中でも学校図書は非常に多く、全ページにあります。C B T対応はどこも充実していますので対応しています。

阿形教育長

他に御意見はありませんか。ないようですので、富田選定委員どうもありがとうございました。審議に入る前に展示会に出た意見はありましたか。

竹内教育研究所長

理科については1件の御意見がありました。アンケート結果の2ページを御覧ください。

阿形教育長

それでは、御審議よろしく申し上げます。

波床委員

啓林館の教科書は、各学年とも全ての生命、地球、物質、エネルギーの順で統一されている。各学年で生物、地学を前半で、後半で物理、化学を学ばせる構成となっていて、先生がわかりやすい。各単元の説明も非常にわかりやすい。啓林館を第1順位として推します。次に、教育出版が情報量の過多ではなくてやはりわかりやすい。ハローサイエンスもわかりやすい。他社より広い視野で表記し、効果的であります。他はそれほど差がないと思いました。

石元委員

啓林館を考えています。課題解決型の学習、探究学習が良いと思いました。また、135ページのトライなど自由研究や子供の興味を大切にされた記載がいいと思いました。学ぶ前に学習を捉え、未来について今後考えるところもあります。次に東京書籍です。初めに問題発見、解決の流れが良くて、写真や画像が美しいです。またレッツスタートのデジタルコンテンツを拝見したのですが、身近な問題があり、興味を持って取り組めると思いますが、学校図書が一番進んでいるチャットボットがあり、わかりやすいと思います。

森崎委員

啓林館です。探究の面白さ、問題解決型の学習が良いと思います。可視化が工夫され、写真が効果的に使われています。実験においても、仕方や手順のわかりやすさがあります。単元の流れもわかりやすいです。また、追究の仕方わかりやすいと思いました。次に東京書籍です。同じく探究の面白さが良いです。単元の流れ、そして振り返りがわかりやすいと思いました。

藤本委員

平成29年度に学習指導要領が告示され、問題解決型の学習、探究というところを大切にしています。深い学びの鍵になるのは理科の見方・考え方です。こういった点から考えると啓林館です。啓林館は違うものに注目させ、共通点や差異点に気づかせている。共通や違うものに注目させ、そして、次に考え方についても気付かせる工夫をしている。考え方は黄色のマーカーを引き、子供たちに教科書から探させる。第2は、東京書籍を考えております。写真も綺麗で、素晴らしい。巻頭で、写真を見せ、単元が繋がる。日常に関することも、後ろに掲載されています。1社選定するなら啓林館です。探究や見開きの写真、トライの部分や単元のつながりがわかるなど、また県内の写真があることなどから啓林館が有望かと思えます。もう1社は東京書籍です。

阿形教育長

ありがとうございます。私は、1位は啓林館と思いました。巻頭にある探究とは、探究の過程についてしっかり書かれており、実験の手順がわかりやすく、見開きの写真や学びの見通しがあり、各章のつながりについても書かれています。コラムについても〇〇ラボが多く載せられており興味を持てます。県内の写真も一番多く使われています。東京書籍も探究の流れについて書かれ、わかりやすいです。読み物には科学に関連した働く人も載せられており、使いやすさと、そこから啓林館の方が良いと私は思いました。大体皆さんが1番に啓林館を挙げていますので、啓林館ともう1社残したいと思えます。もう1社は波床委員が教育出版、石元委員は東京書籍と教育出版、森崎委員は東京書籍、藤本委員は東京書籍となっていました。東京書籍でよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは2社は啓林館と東京書籍にしたいと思えます。

美術

竹内教育研究所長

美術の答申及び答申資料の御説明をいただきます。美術は開隆堂、光村図書、日本文教出版です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は寺川選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願いたします。

阿形教育長

寺川選定委員、美術の答申及び答申資料の御説明を開隆堂から順にお願いいたします。

寺川選定委員

選定委員の寺川です。美術の答申をいたします。美術は3社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。まず、開隆堂から申し上げます。

(開隆堂)

答申

各ページにおいて学習の目標が「知・思・学」で示され、その「3つの柱」によって題材を構造化し整理している。また学習内容が「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の3つのラベルにより記載され分かりやすくなっている。1つの単元につき見開きの2ページよりも見開きの4ページが多く、単元数を絞りながら生徒がじっくりと取り組めるよう工夫された教科書である。

続いて特色と工夫について具体的に説明します。美術1の2から5ページを御覧ください。最初に中学校において学ぶ内容や流れが簡潔に示され、図画工作との共通点や違いなどが示されています。続いて6、7ページを御覧ください。「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びの資料」の順に項目を分け、各ページにおいて学習の目標が3観点で示され、題材を構造化し整理しています。美術1の後ろのほう、58から61ページを御覧ください。この「学びの資料」では「発想・構想のヒント」や「鑑賞ってなんだろう」など、発想の活動や鑑賞の活動において何度も繰り返し見て学ぶことができるようになっています。10から13ページを御覧ください。1つの単元につき見開きの2ページよりも見開きの4ページが多く、そのぶん単元数を絞りながら生徒がじっくりと学びに取り組むことができる構成になっています。開隆堂については以上です。

次に光村図書の説明です。

(光村図書)

答申

資質能力の3つの柱をすべての単元において「目標」として設定している。「みんなの工夫」では、生徒や作品の写真、吹き出しを使ってわかりやすく示している。また二次元コードで作者(生徒)インタビューを載せるなど全国の生徒の思いがより伝わりやすくなっており、さらに鑑賞の分野では「言葉集」や「書き込みツール」などが活用できるようになっている。二次元コードを効果的に活用できるよう工夫された教科書である。

続いて、特色と工夫について具体的に説明します。美術1の17ページを御覧ください。「みんなの工夫」では生徒が試行錯誤しながら制作する様子を紹介しています。また二次元コードでは作者インタビューを載せるなど作者の思いがより伝わりやすく工夫されています。21ページを御覧ください。この鑑賞の分野のページでは右下に二次元コードがありますが、鑑賞を広げる書き込みツールや言葉集などが活用できるように設定されています。美術2・3に移りまして、27から42ページを御覧ください。ここでは風合いのある材質の紙に印刷されており、特に和歌山県串本町無量寺の「虎図襖」が掲載されています。素材や道具、色彩など3年間活用できる知識・技能に関しては「美術1資料」として別冊にまとめられています。光村図書については以上です。

最後に日本文教出版の説明です。

(日本文教出版)

答申

各ページに「学びの目標」が掲載され、「造形的な見方・技能」「発想・構想・鑑賞」「主体的な取り組み」の3つに関する目標が書かれており、何ができるようになるか、何を学ぶのかを明確にしている。1年「美術との出会い」、2・3年上「学びの実感と深まり」、2・3年下「学びの探求と未来」をテーマに3分冊とし、発達の段階に応じた学びの大切さを重視するよう工夫された教科書である。

続いて、特色と工夫について具体的に説明します。日本文教出版は、発達の特性を考慮して、3分冊の構成となっています。美術1の6から7ページを御覧ください。ここでは造形的な視点を育みながら学んでいく3年間の学習を系統立ててイメージマップ化しています。つづいて美術2・3上を御覧ください。2ページ目に「学びの実感と深まり」と題して「見る」「感じる」「考える」ことの大切さを伝えています。次に美術2・3下を御覧ください。ここも2ページ目に「学びの探求と未来」と題して「新しい見方や考え方」について触れ、作品との出会いの大切さを示しています。美術1の10、11ページを御覧ください。ここでは「絵や彫刻」の題材の入り口として何をどう学ぶのかを理解できるようガイダンスページを設けています。同じように36、37ページ

では「デザインや工芸」の題材について、9ページでは「鑑賞」の活動について、それぞれガイダンスページを設け、学習意欲を高められるよう工夫されています。日本文教出版については以上です。

以上、美術の教科用図書3社の答申と説明を終わります。

阿形教育長

ありがとうございました。御報告いただいた内容について、御質問等ございましたらお願いいたします。

波床委員

まず、3社の教科書を手に取った時に、開隆堂の表紙、こちらの花の絵が描かれた方と、もう一冊の美術1の方のトカゲの顔が、立体的な手触りとなっていますが、生徒の中にはこういうものを手に取るときに、抵抗を感じる子はいないですか。

寺川選定委員

そのあたりは今回初めてのことだと思います。これにつきましてはバーコ印刷という形で、特殊な印刷になっておりまして、立体感といえば立体感。特に2・3の花の絵につきましては生徒の興味・関心は引くと思います。ただ委員がおっしゃいましたように、花ならいいのですが、ちょっとこれについては抵抗感がある生徒がいるかもしれないというところは、気になるところではあります。興味・関心を引くという特徴の1つであるということは、調査の結果として報告させていただきます。

阿形教育長

ありがとうございました。他に何かございませんか。

藤本委員

選定委員にお伺いします。私は専門でないですが、3社ともすごく素晴らしく、特徴を出されているなと思いました。色々、会社で練っているなと思ったのですが、私は会社名を言うのではなく、色合いが違う3社で、本物の「最後の晚餐」なら「最後の晚餐」の色出しがちょっと違いがあるなというので、そういうのを専門の寺川委員から見ましたら違いというところはあるのでしょうか。

寺川選定委員

調査報告書にも少し書いてありますが、3社ともそれぞれ特徴がありまして、内容についてはそれぞれ報告したとおりです。今、藤本委員からの御質問にありました色合いということだと、開隆堂と日本文教出版は少し派手め、光村図書が若干抑えた感じ、流れで言いますと、前回、光村図書は少し抑えた感じが見られましたが、今回どちらかというところ、両社、開隆堂と日本文教出版に近付けてきている感じです。大きさにしても同じような寸法にできていますので、特徴が少し薄まってきている、あるいは、3社とも同じ様な方向を向いてきていると言えば向いてきている。僅かながら光村図書はおとなしめと感ずるところはあります。

藤本委員

ありがとうございます。

阿形教育長

他に何か御質問はないでしょうか。それでは、寺川選定委員ありがとうございました。御退出していただきます。

阿形教育長

美術の審議に入る前に、事務局に伺いますが、展示会で何か御意見はありましたか。

竹内教育研究所長

美術についての御意見はございませんでした。

阿形教育長

それでは美術の審議に入りたいと思います。委員1人1人がお調べくださったことやお考えになったことをお出しいただき、それぞれ御意見をいただきたいと思います。

藤本委員

本当に美術のことをわかっていないのですが、先生が美術を教えるときに、美術科を学ぶという内容を示しながら授業の流れを上手く作っているという観点から見ますと、日本文教出版がそういうところで上手く美術を学ぶ方向性を考えてやっているなど、授業をする上での教科書使いが感じられました。そして、寺川選定委員にもお聞きしましたが、全体的に写真が大きく綺麗で、説明する文章が多くない、本物に近い色合いが出されているのではないかと感じてしまいました。ですから1番が日本文教出版。それと、今回、色合いを出したなどというのが、光村図書を2番に挙げたいなという思いがあります。先程、寺川選定委員のお話にもありましたけども、美術の2・3のところの和紙のような感じのものを使いまして、本当に違ったものを作ったなというところで印象深いものがありました。ですから2番目としては、光村図書を上げさせていただきました。以上です。

阿形教育長

はい。ありがとうございました。ほか、いかがでしょうか。

波床委員

私は光村図書か開隆堂かなと思うのですが、開隆堂は先程、寺川選定委員にもお尋ねしたように、美術1の表紙は生徒によっては抵抗感がある生徒もいるように思います。これから何年か使うとなったら、そういう生徒が一部でもいたら、美術に対して積極的に取り組めないような、そんな心理的抵抗を覚えるような生徒も出てくるのではないかと思います。ただ、内容は開隆堂がよくできていると思います。それで、第1順位に押したいのは光村図書です。美術は想像力と鑑賞力、この2つを育てることが主眼なんだと思いますけど、鑑賞力を育てるという観点からいくと、美術の2・3なんかは非常によくできていると思います。それで、こういったもので型破りかもしれないけれど、鑑賞力を生徒には開花させていただいたらいいかないと思います。あと光村図書には資料というものがあって、「作ってみよう・見てみよう」というのがあるんですけども、こういうものを先生が上手く利用できるのであれば、想像力の観点で意味がかなりあるのかなと思います。以上です。

阿形教育長

はい。ありがとうございました。ほか、いかがでしょうか。

森崎委員

私は少し変なんですけども、第1候補は日本文教出版。どこに着眼したかということ、実は項目のところの呼びかけにすごくセンスを感じたんです。1年生の最初、「見つめて感じて描いて」、「そのものらしさを形にし

て、「なぜかキレのある情景」。このように何か詩のような呼びかけ、また、技術的な手法の見せ方も写真の配置が工夫され、何か想像力とかそういうものを掻き立てられるようなところに魅力を感じてしまいました。1位が日本文教出版です。2位は光村図書でした。資料はとても使いやすく、またやってみたいなと思わせるような内容だと思いました。以上です。

阿形教育長

はい。ありがとうございました。

石元委員

私は第1候補として日本文教出版を選ばせていただきました。まず3冊に教科書が分かれているので学年や成長の発達段階にあった教科書を選び、使うことができそうだなという点。あと3年間系統立てて学習できるようになっている。1年では美術との出会い、2・3年上では学びの実感と深まり、2・3年下では学びの探求と未来というように3年間系統立てて学習できると感じました。あと、美術を通じて他の教科とも関連付けられて学べる所も良いと思いました。例えば1年生の34ページ、原始の美に出会う旅は社会に繋がったり、2・3年上の教科書の40ページには、一目で伝わるみんなのデザインというところでは、生活につながる内容で、他の教科への知識が繋がっていくように工夫されているところが良いと感じました。あと、第2候補としましては光村図書が良いと感じました。他の委員もおっしゃられていたとおり、真ん中の日本の絵画を楽しむというのは独特の和紙みたいな紙で鑑賞できるところも、すごく贅沢な教科書だなと思いますし、あまり文字が多くなくて、作品に集中して鑑賞できそうなのも良いと感じました。以上です。

阿形教育長

ありがとうございます。私もどの教科書もすごく綺麗でいろんな写真も沢山ありましたし、子供たちの作品も沢山載っていていいなと思いましたが、私は第1候補に日本文教出版と思いました。どの会社にも同じように学びの目標が各ページにあって、「造形的な見方・技能」、それから「発想、構想、鑑賞」、「主体的な取組」という3つの目標はどの教科書会社にもあるんですけども、1番日本文教出版が見やすいような気がしました。何を学んで何ができるようになるかが明確に示されているのかなと思いました。それから見方とか感じ方からいきますと、作品、写真、資料が大きくて見やすいような気がしました。それから見開きのページのインパクトはこれが1番なのかなと思いましたし、3冊全て表と裏表紙、表紙が1つの作品になっているのですごくインパクトがあるのかなと思いました。それから「ゲルニカ」3社とも全てにあるんですけども、日本文教出版が1番インパクトがあったように思います。生徒のシルエットを横につけているんですけども、生徒を前に立たせた会社もありましたけども、1番インパクト的に作品の大きさを実感できるのが日本文教出版ではないかなと思いました。あと2社どちらも良いと思うんですけども、私は日本文教出版1社ということにさせていただきます。

阿形教育長

今、皆さんは日本文教出版を推されているのと、波床委員が光村図書を1番に推されています。それから藤本委員、森崎委員、石元委員ともに光村図書を推されていますので、次の採択会議まで日本文教出版と光村図書を残して再度研究するという事よろしいでしょうか。それでは、美術は日本文教出版と光村図書に絞って選定したいと思いますので、再度どちらの教科書かということの研究していただきたいと思います。よろしくお願いたします。

音楽（一般）

竹内教育研究所長

音楽（一般）の答申及び答申資料の御説明をいただきます。音楽（一般）は、教育出版、教育芸術社です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は山本選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よりよろしくお願いいたします。

阿形教育長

山本選定委員、音楽（一般）の答申及び答申資料の御説明を、教育出版から順にお願いいたします。

山本選定委員

選定委員の山本です。音楽（一般）の答申をいたします。音楽（一般）は、2社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

（教育出版）

答申

冒頭に教材と適切な学習の進め方を学習マップとして示されており、生徒や学校の実態に応じて多様な構成が検討できるよう配慮されている。生徒の創造性を刺激し、探究心を促すような比較及び発展的な学習のための教材が充実しており、学習の広まりと深まりが期待できる教科書である。

内容につきましては、本教科書は、歌唱・鑑賞・創作に分けて教材が配置されており、8、9ページに学習マップとして、学習のねらいや他の曲との関連性が分かりやすく示され、各領域・分野とのつながりが分かります。また比較や発展的な学習のための教材が充実しています。これらは「比べてみよう」とページ下に記載されており、例えば中1の教科書で、歌唱で同じ映画の中で使用された曲で作詞作曲が同一人物によるもの、鑑賞では「魔王」であれば、ライヒャルトの「魔王」と比較して鑑賞することなどがあげられます。また、音楽を形作っている要素のページが各学年ともまとめて設けられており、学習の手引きとして用いることも特徴の一つです。二次元コードでは、「見る・聴く・記録する」の3種類に分かれており、生徒の自主的な学習に効果的です。巻末に見開きの3ページを使って、カラー写真で楽典や楽器の種類、作曲家等、詳しく掲載され、2・3上では、二次元コードで各楽器の演奏を聴くこともできます。以上、教育出版でした。

（教育芸術社）

答申

表現及び鑑賞の活動において、資質・能力の三つの柱に基づいた学習内容が示され、教材（楽曲及び学習活動）との関連度を視覚化する工夫がなされている。楽譜が見やすく、学習内容と学び方を明確に示し、知識や技能等の解説が丁寧に示された教科書である。

内容についてです。本教科書は、目次の次のページに、資質能力の3つの柱に基づいた学習内容が示されており、教材との関連度が視覚化されるということで、この教材ではどういった内容を学ぶのかということが把握しやすくなっています。またインクルーシブ教育を行う上で、写真やイラストの配置の工夫により、使いやすいうように配慮されています。そして、教材には、「学習目標」「考えたいポイント」「音楽を形づくっている要素」「活動文」などが記されており、学習の手順やポイント等に関する解説が丁寧です。歌唱や創作では多くの部分でキャラクターの会話が挿入されており、これらを参考にしながら学び合いの学習を深めるための工夫ができます。鑑賞では中1の教科書50、51ページに日本音楽入門という教材があり、日本文化への理解や関心を促すものでその後の伝統音楽の学習につなげていくことができます。二次元コードでは、各教材のカラピアノが収録され、鑑賞ではその教材に関する様々な資料が閲覧できるようになっています。創作ツールは読譜が苦手でもリズム譜

を作成することができ、誰でも創作活動を楽しむことができます。これらは生徒達にとって教材を更に興味深い物にし、自主的な学習の手助けにもなると考えられます。和歌山に関する教材として、民謡では、「根来の子守歌」、地域の伝統音楽としては、「那智の田楽」が挙げられていることも特徴といえます。最後に裏表紙を御覧ください。表紙の絵のテーマが書かれています。以上、教育芸術社でした。

阿形教育長

ありがとうございました。御報告いただいた内容について、御質問等ありましたらお願いします。

阿形教育長

特にございませんか。それでは、山本選定委員には御退出いただきます。ありがとうございました。

阿形教育長

それでは、音楽（一般）の審議に入る前に事務局に伺いますが、展示会で何か御意見ございましたか。

竹内教育研究所長

音楽（一般）についての御意見はございませんでした。

阿形教育長

それでは、音楽（一般）の審議に入ります。委員の皆様がそれぞれお調べになったこととお話しいただきたいと思えます。

波床委員

教育芸術社のほうが良いと思えます。理由は、日本の雅楽みたいなものが十分に掲載されていて、生徒たちが、中学の段階から色々な音楽に興味を引くようになっていくところが1つ。それからもう1つ、私がぱっと目についたのは、「中学生の音楽1」です。その表紙を開くと、上白石萌音さんの文章が載っていて、ここに書かれてある文章は、要は「恥ずかしがらないで、声を出してやりましょうよ、きっといいものがつかめるはずですよ」というようなことが書かれています。同世代というか、自分たちの年齢に近いお姉さんがこういうことを言って励ましていただいているというのも導入としては非常に良いのではないかなと思えます。

森崎委員

私も教育芸術社の方を推薦させていただきたいと思えます。山本選定委員のお話にもあったように、目次の裏に思考力・判断力・表現力そして知識・技能と書かれていて、歌唱によってどういうことが身に付くのか、これがどのように生活を豊かにしてくれるのかといった音楽を学ぶことの目標や目的が示されているように思いました。楽しく歌う、楽しく音を出すというのは、思いや感情が豊かになることが大切だと思います。鑑賞においても曲のねらいや作曲家や作詞した人の思いなど解説が多く載せられています。表紙の裏にあるページにより、どういうものが培われるのかということが必ず明記されているということで音楽の学ぶ深さを追求できると感じました。

石元委員

私も教育芸術社の方を選ばせていただきます。理由は、「学びのコンパス」のページがとても良いと思えました。このページでは、教材の中で生徒自身が感じたことや気づいたことを考えてまとめる場所があって、音楽との関わりを深めて主体的に学べる環境を用意しているように思えます。また、わかりやすい紙面構成で写真や絵

などの配分もちょうどいいと思います。二次元コードが同じ位置に配置されていて、生徒にとってとても探しやすいこともいいと思いました。

藤本委員

私も教育芸術社が選びたいと思います。7つの共通教材で両社を見比べますと、写真とかですね、特に「浜辺の歌」「赤とんぼ」の教材を見ますと素晴らしく風景がよく歌いやすい、それから写真が楽譜を邪魔していないといったところがすごいなと思いました。1つ1つの写真が大きく迫力を感じるのと、もう1つ、音楽とはちょっと関係ないところですが、紙質が少し教育出版の方がざらざらしているのではないかとこのころで、紙質も教育芸術社の方がいいなと思いました。先程も言いましたように、同じものを比べても、楽譜が見やすいので、子供はピアノとか、色々な楽器を使って演奏するときも、やりやすいのではないかと思ったので、今回は教育芸術社を選ばせていただきました。

阿形教育長

私も結果から言えば教育芸術社です。冒頭のところを両社比べさせていただきました。教育芸術社の方は、見開き最初の2ページで音楽活動されている色々なアーティストについて載っています。歌手や俳優ですね。先程、波床委員もおっしゃられた上白石さんや歌舞伎の方、ピアニストの方等載っています。それから次の2ページで、音楽って何だろうというところがありまして、直接音楽活動に関係ないが、著名人のコラムなど音楽の必要性が書かれています。教育出版も同じように冒頭、最初の2ページは音楽活動されているアーティストについてです。ピアニスト、笙の奏者、指揮者ですね。それから次のページは特徴があって、1ページで作者の思いに触れるということで、有名な作曲家のことが書かれています。これが違うところだと思いました。教育芸術社について先程から出ていますが、「学びのコンパス」が良いと思いましたし、教育出版社にも似たようなところがあります。

「Let's Try」「Sing Sing」などです。それから年表「耳でたどる 音楽史」というものが教育芸術社にあります。古代からずっと上に日本音楽、下に西洋音楽と対比しながら6ページにわたって載っています。また、同じようなものが教育出版社にもあり、見開きの3ページで示され、最後は日本と西洋が混ざったような書かれ方をしており、こういったところは教育芸術社の方が見やすいと思いました。挿絵や写真も教育芸術社の方がわかりやすく効果的だと思いました。それから、教育芸術社の方が表紙は楽しい感じがして、特に1年の教科書の子供たちがよく知っている上白石さん、それから、その次出てくるのは宇宙飛行士の野口さんなので、身近に感じ親しみがあります。そういったことから、私も教育芸術社の方が良いと思います。

阿形教育長

それではまず音楽（一般）の採択については、大体、教育芸術社にまともまっていますので、一旦、教育芸術社を選定させていただいて、次回再度教育芸術社の良いところについてまとめたいと思います。

音楽（器楽合奏）

竹内教育研究所長

続いて、音楽（器楽合奏）の答申及び答申資料の御説明をいただきます。音楽（器楽合奏）は、教育出版、教育芸術社です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は山本選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願いたします。

阿形教育長

山本選定委員、音楽（器楽合奏）の答申及び答申資料の御説明を、教育出版から順にお願いいたします。

山本選定委員

選定委員の山本です。音楽（器楽合奏）の答申をいたします。音楽（器楽合奏）は、2社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

（教育出版）

答申

楽器ごとに教材が示されており、生徒や学校の実態に応じて多様な構成が検討できるよう配慮されている。生徒の創造性を刺激し、探究心を促すような比較及び発展的な学習のための教材が充実しており、学習の広まりと深まりが期待できる教科書である。

内容につきましては、器楽活動が主となりますが、「音のスケッチ」というコーナーが各所に設けられており、器楽活動に関連させた創作活動や鑑賞活動も行うことができる工夫がなされています。18から21ページを御覧ください。教材ごとに1つの題材を達成すると演奏の難易度が上がる構成になっており、演奏技能を段階的に培いながら、次にどのようなことを学ぶのか学習の見通しを持ちやすい構成となっています。国際理解や伝統文化の尊重など、他教科とのつながりも意識された教材が掲載されています。30ページの「表現の仕方を調べてみよう」では、楽器の仕組みや演奏法、自分の着眼点についてまとめ、思考力・判断力・表現力を培う活動が充実するよう配慮され、学び合いの学習等、多様な学習の形態を促すような工夫がなされています。各題材の冒頭部分にある楽器の名手からのメッセージは、音楽的な見方・考え方、音楽の楽しさや美しさを生徒に伝えるものとなっています。また、「音楽や楽器を通じて人と人とのつながりを生み出す」取り組みの紹介など、社会とのつながりや、それらに果たす役割などを考えられるページが設けられています。二次元コードでは、「動画・音声・学習のための資料」があり、特に模範演奏の動画資料などは、生徒が自分自身で練習するときに非常に大きな手助けになると考えます。教育出版「中学器楽」については以上です。

（教育芸術社）

答申

表現（器楽・創作）の活動において、資質・能力の三つの柱に基づいた学習内容が示され、教材（楽曲及び学習活動）との関連度を視覚化する工夫がなされている。学習内容と学び方を明確に示し、知識や技能、奏法等の解説が丁寧に示された教科書である。

内容の説明です。本教科書は楽器の奏法、アンサンブル、楽器でMelody、資料の4段構成になっています。目次の次のページに、表現（器楽・創作）の活動において、資質能力の3つの柱に基づいた学習内容が示され、教材（楽曲及び学習活動）との関連度を視覚化する工夫がなされています。音楽を形づくっている要素も例示されています。16、17ページを御覧ください。段階を踏んで取り組み、合奏の学習活動を通じて学び合いの活動を行うことができるよう、学習目標、活動文、学びのコンパス等の、学習目標を達成する手掛かりとなるものが見開きで示されています。また、音楽的な見方・考え方を意識した学習をさせるために、特に考えたいポイントが教材の冒頭部分に示されています。リコーダーに関しては、学習を進めていくと、技能面ではやや複雑になっていますが、Q&Aの中で解説することで対応することができています。基本的には器楽の表現活動を中心とする内容となっていますが、「My Melody」のような創作教材やリズムの即興演奏も掲載されています。二次元コードが多く添付され、ほとんどの曲の伴奏が収録されており、自主学習が充実するようになっています。最後に、巻末にあるように、和楽器の合奏に取り組んでいる中学生の姿や、インタビューを示すことで、我が国の伝統的な音楽や楽器に親しみを持ち、身近に感じられるような工夫がなされています。以上で教育芸術社「中学生の器楽」の説明を終わります。

阿形教育長

報告いただいた内容について、質問等ありましたらお願いします。

波床委員

音楽一般と器楽合奏と二分野に分かれています。教科書が違う会社になった場合と、それから1社でそろえた場合と、教育的に教えやすさや支障の有無などに差はありませんか。

山本選定委員

教科書の扱いは教員次第なので、教科書によって会社が変わっても、曲の違いなどはありますが、教科書会社が違って支障はないと思います。

阿形教育長

山本選定委員、ありがとうございました。御退出いただきます。

審議に入る前に伺いますが、事務局から展示会で音楽（器楽合奏）についての意見はありましたか。

竹内教育研究所長

音楽（器楽合奏）についての意見はありませんでした。

阿形教育長

それでは音楽（器楽合奏）の審議に入ります。先程、山本選定委員からもありましたが、別の教科書になっても大丈夫ですということなので、自由な意見をお願いします。

波床委員

音楽（一般）と音楽（器楽合奏）を分けていて、選択としては両方とも同じ出版会社にしないといけないということではなさそうですが、音楽（器楽合奏）の教科書についても教育芸術社の方が良いと思います。リコーダーの部分が詳しいし、全般的に写真が効果的に使用されていてわかりやすいので音楽（器楽合奏）も教育芸術社が良いと思います。

藤本委員

私は、器楽合奏も教育芸術社を1番に推したいと思います。波床委員もおっしゃられましたが、リコーダーの写真がとても見やすいということと、次のギターの部分も写真で分かりやすく、全体的に写真を上手く使っていると思うのが教育芸術社かなと思います。しかし、最後のギターのコードの部分は教育出版の方が見やすいと思いました。教育芸術社がなぜこう見づらくなったのかなと、写真の方が良かったと思いました。全般的には、教育芸術社が良かったと思いました。

森崎委員

最初の授業の学習内容がきっちり明示されている。それから説明部分は2社とも遜色ないと思いますが、リコーダーの写真が正面からと側面から載せられていたので、どの部分でも写真の使い方が上手だと感じたので、教育芸術社を推したいと思います。

石元委員

私も教育芸術社を選ばせていただきます。選定委員のお話にもありましたが、写真やイラストが大きく、要所

要所に使われているので、イメージがつかみやすい。また、世界の曲や日本の大切にしたい昔の曲など、広く音楽の世界を知ることができる。また、音楽（一般）の教科書同様、学びのコンパスのページが設けられているのが良いと思いました。

阿形教育長

私も教育芸術社でいいのかなと思います。先程と重なりますが、表紙が楽しく、やってみたい、弾いてみたいという感じがすごいです。それから、冒頭が、先程の音楽（一般）と同じように、最初に2ページ、音楽活動をされている方、評論家の「音楽って何だろう」というのがあって、統一されているのが良い。また、学習内容の目次と学習内容などがわかりやすい。また写真などが効果的に使われている。打楽器は、63から67ページにかけて、子供たちが合奏で使う基本的な楽器の考え方などがかなりわかりやすく書かれているのが良いと思いました。教育出版も、色々な楽器の演奏方法などについて、写真を多く使って丁寧に扱っていますが、総合的に見て教育芸術社の方が、先生方が教えやすく子供たちが楽しく学べるのではないかと思います。それでは、音楽（器楽合奏）については、皆さん教育芸術社で揃っていますので、教育芸術社を採択したいということで、次回もう少し詳しく採択理由を考えたいと思います。

地理

竹内教育研究所長

地理の答申及び答申資料の御説明をいただきます。地理は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版です。委員の皆様は、御手元の答申資料を御覧ください。御答申は島津選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくをお願いいたします。

阿形教育長

島津選定委員、地理の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

島津選定委員

選定委員の島津です。地理の答申をいたします。地理は、4社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

(東京書籍)

[答申]

教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市のめざす子供像に沿った教科書であり、世界と日本の諸地域を「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」という地理学習の5つの視点から扱っている。「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」という5つのテーマへの目配りが効いており、デジタルコンテンツの内容が豊富で発展的な学習に役立つ点が特色である。

世界と日本の各地域の学習がバランスよく配分され、幅広い知識が身に付くよう工夫されています。世界の各地で暮らす人々の肉声を届けるコラムも用意され、臨場感を持って地域学習を進められるよう工夫されています。和歌山県については、県庁所在地の例として和歌山市の写真、飛び地の例として北山村の地図、近畿地方の農業の例として海南市のみかん畑の写真がそれぞれ掲載されています。「持続可能な地域の在り方」の単元では、地域調査を通じて地域の課題を見出し、地域のこれからの提案し発信する取組が扱われています。さらに「スキル・アップ」というコラムが31か所設けられ、時差の調べ方や、写真・雨温図・分布図・統計地図・地形図の読み取り方など、多様な地理的技能が身に付くよう工夫されています。デジタルコンテンツも豊富であり、動画や地

図、統計資料や用語集、ワークシートなどが用意され、生徒の主体的な思考力・判断力・表現力の育成に役立つものとなっています。

(教育出版)

[答申]

教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市のめざす子供像に沿った教科書であり、学習指導要領で重視される資質・能力の三つの柱(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」)の育成が重視されている。世界と日本の諸地域にみられる様々な地球的課題や地域問題への目配りが効いた教科書であり、生徒が主体的に問題意識をもって学習に取り組めるよう工夫されている。

世界と日本の地域的特色が包括的に説明され、地球環境問題や公害・防災が適切に扱われ、地域の伝統文化が受け継がれてきた理由にまで踏み込んだ説明がなされています。世界各地の先住民族や在住外国人の人権問題、それらの解決に向けた取組が扱われています。また、ルーツの違いや障がいの有無にとらわれないキャラクターが用いられ、多様性への配慮が行き届いています。世界の諸地域の学習では、六つの州のそれぞれについて地球的課題が取り上げられ、SDGs(持続可能な開発目標)との関連を考えさせる工夫がみられます。また、ウクライナ問題についての解説や、ニュータウンの高齢化・老朽化問題など、時事問題にも踏み込んだ内容が含まれる点が特色となっています。「地図を活用しよう」と題するページでは、オリンピック開催国の分布図が示され、「オリンピックはどこで開かれるのだろう」という問いを投げかけることで、逆にオリンピックが開催されない国々の存在やその理由について考えさせる構成になっています。

(帝国書院)

[答申]

教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市のめざす子供像に沿った教科書であり、見やすく美しい写真や図表類と平易な文章によって、世界と日本の地理学習を効果的に進められるよう工夫されている。特に「地域調査のしかた」や、課題解決策の提案をめざす「地域のあり方」の内容が充実している。また、章・節ごとに「単元を貫く問い」を設定し、生徒が見通しを立てて学習を進められるよう工夫されている。

世界と日本の様々な地域が幅広く取り上げられ、地球を平面に投影した地図や、地球上の緯度・経度や等時帯、地域調査の仕方に至るまで、分かりやすく丁寧に説明されています。地域調査については、地域の「なぜ」や「どのように」を追究できるテーマを設定するよう生徒を導いており、実践的な説明になっています。SDGs(持続可能な開発目標)との関連付けが随所にみられ、自然・産業・文化の多様性にも目配りされています。「人権・多文化」をテーマに掲げたコラムや現地の人々の肉声を紹介するコラムが配置され、地球上に暮らす多様な人々を等しく尊重する態度が重視されています。各地域のトピックとして経済格差や一極集中、環境問題や難民問題などが取り上げられ、こうした「地球的課題」の解決に向けて何ができるかを考えさせる内容になっています。和歌山県に関しては、田辺市の梅栽培の写真と「林業が盛んな紀伊山地」の説明が掲載されています。デジタルコンテンツは極めて豊富であり、生徒自らが統計データをもとに主題図を作成できるGIS(地理情報システム)にアクセスできるのが特色となっています。

(日本文教出版)

[答申]

教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市のめざす子供像に沿った教科書であり、世界と日本の諸地域を5つの「地理的な見方・考え方」(「位置や分布」「場所」「人と自然とのかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」)を働かせる観点から扱っている。写真や主題図が見やすく配置され、単元ごとの学習課題に対応した「ポートフォリオ」が用意されるなど、「地理学習に向かう力」を発揮させる工夫が施されている。

世界と日本の地域的特色が、個々の地域ごとにテーマを設定する形で、生徒がイメージしやすいよう工夫して扱われています。環境問題や資源・エネルギーに関わる国際社会の課題が扱われ、様々な地域の特徴ある文化も幅広く紹介されています。また、平和や生命の尊さに関わる題材(アフリカの民族紛争や沖縄県の基地問題など)や、基本的人権に関わる題材(フェアトレードや性的少数者への配慮など)が、積極的に取り上げられています。さらに「持続可能な地域をめざして」と題するページが16か所設けられ、当該地域に暮らす人々が課題解決のために進めている取組を学ぶことで、生徒が地域づくりの主体としての意識を持てるよう工夫されています。景観写真や主題図が見やすく配置され、人々の写真や肉声も要所に散りばめられ、生徒が臨場感をもって学習に取り組めるよう工夫されています。和歌山県については飛び地としての北山村、有田川町のみかん畑の写真、県内の観光ツアーを企画する取組が、それぞれ掲載されています。デジタルコンテンツも豊富に用意されています。以上になります。

阿形教育長

ありがとうございました。それではただいま報告いただいた内容について、御質問等ありましたらお願いします。

藤本委員

地理的な見方・考え方を見ようと思って、目次を確認していたんです。そうしたら、ちょっとびっくりしたんですけど、東京書籍の3ページ、そこで左側の一番下、「資料からの発見」というところで、文章を読んでもみると、「各時代に特徴的な資料を取り上げ、読み取ったり、考えたりすることで、その時代への理解を深めるページです」といって、これが歴史の教科書と同じ内容になっているんです。これが公民を見ますと、公民は違うんです。これが各所に「資料を活用する」というところで見ると、時代背景はなくて、地域とか、やはり地理的な見方・考え方で考える部分が載っているわけなんです。ここの部分が「資料からの発見」というところでおかしいと思っているんですけど、これは地歴融合で同じ考え方でいいのかどうかというところで疑問に思ったので聞かせていただきたいなと思います。

島津選定委員

ありがとうございました。私は、それは全く気づきませんでした。恥ずかしながら。

藤本委員

僕も目次で4社を調べたので分かったことなので。

島津選定委員

これは「各時代」ではなくて、おそらく「各地域に」ということだと思います。ですので、歴史と同じ文言だとすると、違うのかなと、正直思いますね。

森崎委員

地理の内容が、例えば持続可能な社会との関係だったり、地域の気候等との関係だったり、非常に増えてきていると思うんですが、授業を進めていく上で、やはり今まで割愛しなければいけない所があったり、どこかに重点を置かなければいけないと思うのですが、島津委員はこれからの地理に関して、どういう所に重点を置いて授業を進めなければいけないとお考えですか。

島津選定委員

なかなか難しいですけれども、とにかく以前のように内容を精選して教えるというのではなくて、以前は少し何か地域に選択肢があったりしたわけですが、要は全ての地域にわたって教える必要があるし、なおかつ中学校で新学習指導要領で一番大きな変化は、日本地理を知るために地域調査を生徒にさせなければいけないということなんです。要するに中学校の校区にある身近な地域を調べるということを生徒がしないとイケなくて、それは逆に言うと生徒が調査をできるように先生が指導しないとイケないということで、これは実は先生にとってすごく大きな負担増になってしまうということです。主体的・対話的で深い学びというところが重視されている学習指導要領の文面を考えると、そういう地域調査はある種当然なわけなんで。私も大学で教員志望の学生に教えているんですね。実際に現場に出て、中学生を引率して、1人でいろいろな中学生がいる中で、生徒を地域に連れ出して調査させる、というのは相当至難の業な気もするので、そのあたり正直、文部科学省が考えることと現場のギャップは相当あるなどは思っているんですが、そこの折り合いをどうつけたらいいのかということを日々悩みながら私も授業しています。

森崎委員

そうですね。話し合いひとつさせるにしたって難しいですもんね。中高生にとって。地理が覚えるだけで終わらない授業になってきているということですよ。その持っていく方は非常に難しいですね。

阿形教育長

他に何か島津選定委員に御質問等ございませんか。それでは島津選定委員ありがとうございました。御退室お願いいたします。

阿形教育長

それでは地理の審議に入る前に、事務局から、教科書展示会で地理について御意見はありましたか。

竹内教育研究所長

地理についての御意見はございませんでした。

阿形教育長

それでは地理の審議に入りたいと思います。委員のお1人お1人でお調べくださったことや、考えていることを出していきたいと思います。よろしくお願いします。

波床委員

私は、歴史的分野、公民的分野と同じく、日本文教出版を第1順位とさせていただきたいと思います。この3分野共ですね、関連性がすごくありまして、今回の地理的分野に限ってみても、日本文教出版は歴史・公民との連携ということで、ある特定のことを学ぶときに、それでは歴史ではこのあたりはどのようなふうな経過があったのだろう、思い出してみましようとかですね。あるいは、小学校で習った事柄とのリエゾンということにも注意しながら書かれていると思います。そういう意味合いで、先程、森崎委員の島津選定委員に対する御質問にもあったように、今の地理というのは、地図帳の在り方が変わってきたように、歴史とか公民とか社会一般の中で地理を捉えるという大きな視点が変わってきているんだろうと思います。そういう意味合いで日本文教出版はよく出来ていると私は思うからです。第2順位は東京書籍かなと思います。東京書籍も相変わらず非常に水準の高い安定した教科書になっておりまして、今の学習指導要領に沿った思考力を育てるための教材として十分工夫がなされていると思いますので、第2順位としては東京書籍にさせていただきましたけど、私自身は第1順位としては歴史・公民分野と同じく日本文教出版を第1順位にさせていただきたいと思います。以上です。

藤本委員

私も、日本文教出版を第1候補に挙げたいと思います。といいますのは公民・歴史の編を貫く問いというのをきちんと貫いております。その章において問いを立てて、見開き1時間の授業がしやすい教科書だなと思っています。3、4ページの上の部分に地理的な見方・考え方が本当に地域に考えて見やすく収められているのが工夫されているなと思いました。先ほども言いましたけど、見開き1時間の構成された基本的に左のページに本文の左側の上に学習の課題と見方・考え方が示されており、1時間の授業で何をどのような視点で学ぶのが生徒がよくわかる教科書だなと思いました。ですから第1候補としては日本文教出版を挙げさせていただきます。第2候補は、帝国書院を推したいなと思っています。ここも地図を作っている会社なのですごくきれいに地理の本が出来ているなと感じました。また先程も申しましたように、日本文教出版と同じように章・節ごとに単元を貫く問いを設定し、生徒が見通しを立てて学習を進められるように工夫されているところが選ばせていただいた理由です。以上です。

森崎委員

私も日本文教出版を第1候補にさせていただきたいと思います。まず、地理的な見方・考え方が端的に表されている。位置や分布、場所、人と自然との関り、地域同士のつながり、地域、そして持続可能な社会と私たちというように、分かりやすいです。そして、藤本委員が言われたように、見開きで完結しているということが、教える側も進めやすいと思います。また、どのように学ぶかということ問い立てて学習を通して、問いを追及して、まとめ、振り返るといった流れが簡単、優しく、そして明確であります。要するに、自分の考えをまとめるために必要な知識を確認して、自分の考えをまとめさせて、そこには思考ツールを活用されています。学習を振り返って、そしてこれから生きるまとめ、振り返りをしているので、楽しそうに感じました。同じ、地理の見方、考え方を帝国書院で見ますと、場所がどのような場所なのか、地域の結びつきは、他の場所とどのように結びついているのか、位置や分布、どこにあり、どのように広がっているのか、人間と自然との関わり、周囲の自然環境とどのように関わっているのか、地域の特徴、他と比べてどのような特徴があるのかというように詳しい内容で説明がなされていると考えました。地理好きには本当に相応しい教科書ではないかなと思いました。同じ様に、東京書籍は、学習のまとめ方が、54、55ページにあります、「確かめよう」、その後探究のマップで「振り返ろう」、その後「チャレンジ」、そして探究課題の解決に取り組めるようにとしています。探究していく筋道がとても分かりやすいと思いました。日本文教出版を1位で、東京書籍と帝国書院は同率2位という考えです。以上です。

阿形教育長

はい、ありがとうございます。石元委員お願いします。

石元委員

私も日本文教出版を第1候補とさせていただきました。学習の課題が分かりやすいということと、選定委員もおっしゃったように、217ページですけれども和歌山県について取り上げられていまして、体験を重視した観光ツアーを企画しようというところでは、和歌山観光ツアーを企画する学習ですけれども、この他のページのところでも、グループワークでも盛り上がるような学び合いができるように課題が工夫されているように感じました。また、持続可能な社会や災害、防災など社会に関する教材を扱っていて、地理を通して社会との関係する力が身に付くように工夫されていると感じました。第2候補ですけれども、東京書籍にさせていただきました。写真や地図などが美しく見やすいということと、114ページですが、課題解決的な学習ができるように学習に対する問いかけがあり、思考したことを記入する欄も設けられていて、こちらも生徒のグループワークなど

の考えがまとめられるように作られています。また最後には探究課題を解決しようというところでは、学んだことを記入して整理することができるようになっています。また、和歌山県についても紹介されているので、生徒も興味を持って学習してくれると考えました。以上です。

阿形教育長

ありがとうございます。私は、東京書籍と日本文教出版と帝国書院と特徴はあるんですけど、よく似た感じで地理を学ぶという見方という、どこもすごく分かりやすくされている。1ページにしているところとか、見開きの2ページにしているところとかあるんですが、5つの視点から学習を進めていくということをこの3社ともすごく考えているのかなと思いました。それから3社ともコラムが結構充実しているのかなと思いました。東京書籍の1番最初のページが、他はわりとSDGsから始まっているんですけど、世界の食事を見ていこうということで、子供たちの興味・関心がある食事から入っています。真ん中に世界地図があって、世界のいろんな所にいろんな食事があって、最初の導入の形が特徴的。それから帝国書院でしたら地図帳を活用するような地図との関連が結構色々扱われているなど。日本文教出版は地域調査ということをすごく詳しくされています。東京書籍は先程、森崎委員もおっしゃっていましたが、学習のまとめのところがすごく充実しているのかなと思いました。3社とも甲乙つけ難いと思うんですけども、順番的に、私は1番東京書籍で、日本文教出版と帝国書院が2番目で大体並んでいるのかなと思います。私以外の皆さんは大体、日本文教出版が1番でいいのではということなんですけど、日本文教出版と東京書籍、それから帝国書院をあげておられる委員もいらっしゃるんで、4社あるんですけども3社残して、もう少し慎重に見ていくということでもよろしいでしょうか。それでは地理につきましては、日本文教出版、東京書籍、帝国書院の3社について再度、検討していくということで、進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

地図

竹内教育研究所長

地図の答申及び答申資料の御説明をいただきます。地図は、東京書籍、帝国書院です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は島津選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしく願います。

阿形教育長

島津選定委員、地図の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

島津選定委員

選定委員の島津です。地図の答申をいたします。地図は、2社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を、1社ずつ申し上げます。

(東京書籍)

答申

世界と日本の多様な諸地域をまんべんなくカバーし、SDGsや地球環境問題、領土問題や国際関係にも周知な目配りがされた地図帳であり、教育基本法や学習指導要領の趣旨及び本市がめざす子供像にとって適内容的な内容である。地図や統計図表を見やすく表現していることや、二次元コードのコンテンツが有用であること、設問の立て方に工夫がみられることが特色である。

以下、答申資料です。

一般図、鳥瞰図、主題図、グラフ、統計資料が豊富に盛り込まれ、地理学習に加えて歴史学習や公民学習にも活用できる地図帳となっています。地図の色調や濃淡のコントラストは目に優しく、等高線も目立ち過ぎないように工夫されています。文字はユニバーサルデザインフォントが用いられ、地図記号に加えて絵記号が用いられるなど、読図のしやすさが重視されています。鳥瞰図には海底地形も表現され、地球表面の凹凸を陸海の区分を超えて統合的に把握できるよう工夫されています。主題図や統計グラフは、読み取りやすさを重視して大き目に描かれています。地球温暖化に関連する環境問題や自然災害についての資料が盛り込まれ、平成30年7月豪雨で大規模な浸水被害が生じた倉敷市真備地区のハザードマップが掲載されるなど、災害列島とも称される日本の状況を踏まえた内容構成となっています。二次元コードが随所に配置され、様々な学習コンテンツにアクセスできるようになっています。

続いて、帝国書院です。

(帝国書院)

答申

世界と日本の諸地域が偏りなくカバーされ、領土問題や地域・文化の多様性、SDGsや環境問題、自然災害と防災に対する配慮が行き届いた地図帳であり、教育基本法や学習指導要領の趣旨及び本市がめざす子供像にとって適切的な内容である。歴史学習との関連性が強く意識されていることや地図表現の仕方が豊富なこと、二次元コードのコンテンツが充実していることが特色である。

以下、答申資料です。

地図の種類(一般図、鳥瞰図、主題図)とそれらの違いが簡潔に説明され、地図学習への適切な導入となっています。写真に加えてキャラクターやイラストが多用され、生徒が世界と日本の地域の学習に親しみを持って取り組める工夫がなされています。先住民の存在が世界地図に明示され、北海道の地名の多くはアイヌ語が起源であることが示されるなど、社会的少数者に対する配慮がみられます。地図の色調は鮮やかで、濃淡の区別が明確であり、等高線もくっきりと描かれています。地図記号は、従来のものに加えて絵記号が用いられ、視認性や親しみやすさが重視されています。多くの一般図では果樹園が薄桃色で表現され、例えば和歌山県の土地利用の特色が一目でわかるよう工夫されています。二次元コードが随所に配置され、様々な学習コンテンツにアクセスできます。様々な統計主題図が作成可能なGIS(地理情報システム)も用意され、ICTの活用に基づく学びへの対応が図られています。以上で、地図の説明を終わります。

阿形教育長

報告いただいた内容について、御質問等ありましたらお願いします。質問はございませんか。それでは、島津選定委員ありがとうございました。御退出いただきます。

地図の審議に入る前に事務局に伺います。教科書展示会において地図について意見はありましたか。

竹内教育研究所長

地図に関する意見はありませんでした。

阿形教育長

それでは、地図の審議に入ります。委員1人1人がお調べくださったことやお考えになったことをお出しいただき、御審議ください。

森崎委員

東京書籍も美しい色彩であるが、私は帝国書院を推薦したいと思います。理由は、資料のページがあるという

点です。先程、地理の時にも説明しましたが、地図はどこにその場所があるのかを提示すればねらいは達成されると思うんですが、資料のところには、どこにあってどのように広がっているのか、周囲の自然の環境とどうよ
うに関わっているのか、他と比べてどのような特徴があるのかということまで示してくれているのが良いと思
います。

石元委員

私も帝国書院を選ばせていただきました。2社ともよく似た作りになっているので大差はないと思うんですが、
長年自分が親しんできて馴染みがあるというのと、資料が豊富で見やすい色使いをしているところが良いと思
いました。また、デジタルコンテンツが充実しているところも良いと思いました。帝国書院では19ページ『世界
の生活・文化』はどちらにもあり、東京書籍では15ページで紹介されているが、帝国書院では、住居と衣装も
紹介されていたり、地図の所に引っ張って料理と食事のところがパッと地図上に見えるようになっていたりして
わかりやすく良いのかなと思いました。

波床委員

私も帝国書院で引き続きよろしいかと思います。2つを見比べると立体的に見えるのが帝国書院の特徴だと思
います。こういう立体感がある地図帳というのは、中学生には好ましいと考えます。内容的には2つともほぼ差
がなく、資料も両方充実していてそれほど差がないと思います。見やすさとか、今まで先生方が使用し、使いや
すく慣れていることを考えると、帝国書院をそのまま引き続き選定して良いのではないかと思います。

藤本委員

各地域、各地方、あるいは各州、世界地図であっても日本地図であっても、一目瞭然に明るくて地図が見やす
いのは帝国書院だと感じました。東京書籍は考えて等高線を少し薄くしているが、やはり等高線は見やすく、く
っきり描かれているのが帝国書院だと感じました。私も帝国書院を一番に推したいと思います。

阿形教育長

結論から言うと、帝国書院です。東京書籍は情報が多く資料がごちゃごちゃしていて多過ぎると思います。色
合いが少し薄い感じもします。それに対し帝国書院は見やすい感じがします。特徴的なこととしては、世界地図
の中で日本のことを日本国と表記しています。東京書籍は日本としているだけです。帝国書院では23、24ペ
ージのアジアとかヨーロッパを含めたユーラシア大陸、33、34ページのアジア近隣の朝鮮、東南アジアが見
開きになっていて日本の周辺を詳しくしています。東京書籍は見開きの半分になっています。もう1つ帝国書院
で、35、36ページに大陸から見た日本があるが、めずらしく、こういう見方も大事。鳥瞰図もたくさんあり
ます。統計資料では色も上手に使っていて見やすい帝国書院が良いと思います。

それでは、帝国書院を選定してよろしいでしょうか。では、本市の子供たちのためにより適切な教科書という
観点で、改めて後日の採択決議会で採択したいと考えます。ありがとうございました。

阿形教育長

それでは、これで本日の審議を終了します。事務局から事務連絡等ありますか。

竹内教育研究所長

次回、第4回採択会議について連絡いたします。第4回は、7月31日です。場所は、本日と同じく教育文化
センター2階会議室です。内容は、まず英語について審議いただき、その後はこれまでの御審議をふまえ、各教

科・種目で採択いただく1社を決議していただきたいと思います。よろしくお願いたします。連絡は以上です。

第4回 教育委員会の教科用図書採択に係る会議

英語 採択審議

令和7年度使用

和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程

教科用図書 採択審議

1 日時

令和6年7月31日（水） 会議開始時刻18:00 会議終了時刻20:54

2 会場

教育文化センター2階 会議室

3 出席者

○教育委員

教育長	阿形 博司
教育長職務代行者	藤本 禎男
委員	森崎 陽子
委員	波床 昌則
委員	石元 和代

○教科用図書採択事務局

事務局長	奥山 由佳	（教育局長）
事務局次長	前北 博文	（学校教育部長）
事務担当課長	岩本 信哉	（学校支援課長）
	西谷 宣昭	（学校教育課長）
	竹内 圭	（教育研究所長）
事務局員	北林 直樹	（教育研究所専門教育監補）

4 議事

阿形教育長

議案第22号の「令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の採択について」説明をお願いします。

奥山事務局長

これより、令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書採択のための臨時教育委員会第4回採択審議をお願いいたしたく存じます。

これまで、3回にわたり教科用図書採択会議を開催し、15の教科・種目について御審議のうえ、選定していただきました。これまで選定いただいたそれぞれの教科・種目の教科書について、本日改めて御審議いただき、本市の子供たちにとって最も適切な教科書を御採択いただきたくお願いいたします。それでは、これより事務局説明を、教育研究所長竹内に行かせます。

竹内教育研究所長

本日の採択会議日程について、御説明を申し上げます。まず、英語について御審議をいただきます。御答申は、選定委員から1社ずつ行っていただきます。そのあと、質疑応答のお時間を設けたいと存じます。質疑応答が済み次第、選定委員には退出していただきます。選定委員の退出後、教育委員の皆様には御審議をお願いいたします。その後はこれまでの御審議をふまえ、各教科・種目で採択いただく1社を決議していただきたいと思っております。委員の皆様には、先に御選定いただきました教科書について、再度研究を深めていただいたとこ

と思います。委員の皆様には、先に御選定いただきました教科書について、再度研究を深めていただいたところです。つきましては、その内容をもとに、本市が育てたい子供像を実現するにふさわしい教科書であるかを改めて御審議のうえ、1社を御採択いただきたくお願いします。また、本日、採択いただいた教科書については、その採択理由を明らかにし、おまとめいただきたくお願いします。なお、採択教科書及び採択理由については、採択期間が終了する8月31日以降公開する予定でございます。

阿形教育長

ただ今、事務局から説明がありましたが、教科書は、学校における子供の学習用として供されるものであり、本市が育てたいと願う子供像を実現するために重要な役割を果たすものです。そのことに鑑み、我々は、教科書の採択権者として本市の子供の実態と、教育基本法及び学習指導要領に示された内容を踏まえ、確かな学力を身に付け、豊かな人間性を育成するための教科書を、責任を持って採択せねばなりません。改めてその責任の重さを認識し、本日の採択に臨みたいと思います。よろしくお願いします。

英語

竹内教育研究所長

はじめは、英語の答申及び答申資料の御説明をいただきます。英語は、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館です。委員の皆様は、お手元の答申資料を御覧ください。御答申は十河選定委員にお願いいたします。それでは、教育長よろしくお願いいいたします。

阿形教育長

十河選定委員、英語の答申及び答申資料の御説明を、東京書籍から順にお願いいたします。

十河選定委員

選定委員の十河です。英語の答申をいたします。英語は、6社ございます。選定委員会として調査・審議し、まとめた内容を1社ずつ申し上げます。答申を始める前に、令和2年度から小学校5・6年の外国語が必修化され、各社とも小学校の教科書を作成しています。今回は、各社がこの4年間で得た様々な声が中学校教科書にも反映されています。ここでは、各社の小中連携の工夫とデジタルコンテンツを中心に説明します。

(東京書籍)

答申

小学校での学びを土台にして、中学校での学習へと円滑に接続する工夫がみられる。また、各学年の初めには前学年の学習をつなぐUnit 0が設けられ、3年間のスムーズな学習が意識されている。多様な切り口から言語活動をバランスよく積み上げ、豊富なデジタルコンテンツをそろえた教科書である。

Book 1の表紙を2枚めくってください。小中連携の観点から、小学校の学びを意識し、「小学校で学んだことを整理しよう！」を目標にUnit 0からUnit 4を使い、音声を中心によりまとまりのある配列が工夫され、「音から文字へ」「表現から文法へ」と中学校の学習につないでいます。1ページにお戻りください。デジタルコンテンツについては豊富に用意されており、「再生する速度が選べる機能が付いた本文再生」や用例をジャンル別に収めた「用例辞典」「文法解説動画」「文法クイズ」「単語クイズ」など生徒の意欲を引き出す工夫がなされています。Word Roomは、英単語がジャンルに分けて部屋に収められているので、発信の際には参照しやすい作りになっています。また、デジタル資料室は当該学年だけでなく、他の学年の箇所も参照できるので、学年の壁を越え、豊かな言語活動ができます。

(開隆堂)

答申

小学校での学習の基礎の上に立って、「話すこと」を軸に4技能5領域の能力を総合的に扱っている。確かな学力が身に付くように、易から難への段差をスムーズにした言語活動を仕組んでいる。各学年の目標から逆算し、目的・場面・状況を意識した言語活動を数多く設定した教科書となっている。

Book 1の7ページを御覧ください。小中連携の観点から、13ページを割いて小学校でできるようになったことを確認し橋渡しができる **Get Ready** を設け、中学校の学習へのギャップを軽減しています。音声を聞く活動から導入し、苦手意識を持ってしまった生徒にも安心感を与えています。デジタルコンテンツでは英語音声やアニメーション、実写動画などが用意されています。また、単語学習アプリを搭載し、4つの出題パターンで、新出語の定着を図り、フラッシュカード機能や音声再生機能などの配慮がなされています。

(三省堂)

答申

音声から文字、基礎基本を確実に習得する練習活動からコミュニケーション活動へとスムーズな流れを作るよう活動を配列している。様々な活動を通して、目的や場面、状況に応じて言葉を使って理解し、表現し、伝え合いながらコミュニケーションを図ることのできる生徒の育成を意図している教科書である。

Book 1の7ページを御覧ください。小学校で聞いたり話したりした活動に取り組む **Starter** が18ページにわたり準備され、小学校で学んだ語句や表現を振り返り、中学校の学びにスムーズにつなげられる配慮がなされています。また、18から24ページには小学校で学んだ語句や表現を収録した **My Dictionary** を配置し、カテゴリー別に掲示された語句や表現を振り返りながら、今後の学習の中で活用し続けることで基礎的な語句が定着できる工夫がなされています。デジタルコンテンツは、音声や映像を使った教材が用意されており、二次元コードを利用して、発音のチェックや辞書機能にアクセスすることができ、個別最適な学びが準備されています。

(教育出版)

答申

「聞く」「読む」「話す」「書く」の全ての言語活動において、初めに目標が提示され、生徒がその授業で何ができるようになるかをしっかりと理解して取り組むことができる。4技能5領域をバランスよく身に付け、コミュニケーションツールとしての英語力を伸ばす教科書である。

Book 1の6ページを御覧ください。小学校で学習した表現や語彙を音声や文字で振り返り、友達とやり取りしたり書いたりして振り返ることができる **Springboard** が配置されています。20ページには「英語学習のポイント」で「相手意識を持とう!」、「音声を活用しよう!」などが紹介されています。デジタルコンテンツは、二次元コードを利用してアクセスできる「まなびリンク」を設け、音声やワークシート教材が用意されており、文法解説動画やフラッシュカード機能、**key sentence** を録音してモデルと比べる機能(学習者用デジタル教科書)など、個別最適な学びが準備されています。

(光村図書)

答申

それぞれの学年、学期、単元で「できるようになること」を明確にし、言語活動を系統的に編成することで、資質・能力を育成し、定着を図っている。等身大の中学生が織りなすストーリーを通して、社会の多様

性に目を向けながら、自他の大切さを学ぶことができる教科書である。

Book 1 の 6 ページを御覧ください。中学校の学びへの導入教材「Let's Be Friends!」では、小学校の既習表現や語彙を振り返り、最後には、まとまりのある自己紹介に無理なく取り組むことができる構成になっています。38 ページを御覧ください。Unit 3 までは聞き取り中心で文字は必要最小限にとどめ、小学校と中学校の橋渡しを企図しています。二次元コードを利用してアクセスできるデジタルコンテンツは、750 以上設定し、速度調節機能を持つ音声、実写を含む映像、文法解説、ピクチャーカードの並べ替えなど ICT ならではの個別最適な学びができる工夫がなされています。

(啓林館)

答申

目的・場面・状況に応じたコミュニケーションが図れるよう、言語活動をスモールステップで設定し、知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。世界平和やユニバーサルデザイン、エネルギー問題など現代社会の諸課題を積極的取り上げ、生徒の興味や関心に対応した教科書である。

Book 1 の巻頭を御覧ください。BLUE SKY World Map が掲載され、各学年で学習する国や地域、人種・民族が登場しており、国際理解や異文化理解を深める工夫がなされています。また、同じページに、登場人物の紹介が示されています。4 ページを御覧ください。中学校の学びへの導入教材「Let's Start」では、小学校で慣れ親しんだ「聞く」「話す」「文字と音」を振り返り、中学校での学習につなげています。また、小学校で「聞く」「話す」を中心に学んできたことを踏まえて、Unit 1 から 5 までは話すことを中心に目標を設定しています。二次元コードを利用してアクセスできるデジタルコンテンツは、700 以上設定し、本文の音声、新出語句の音声、リスニング音声、本文アニメーション映像や文法解説動画などが用意されています。以上です。

阿形教育長

報告いただいた内容について、質問等ありましたらお願いします。

波床委員

今回の英語の教科書を拝見しますと、教科書の中には従来と大分違って、そんなに、一つ一つステップを踏みながら、文法的な力が付くように、力を高めていく、あるいは単語なんかをある程度覚えさせていくというよりは、どちらかといえば楽しさを教えるようなそのような傾向を強く出している教科書があるように思うのです。それで、選定委員の一番最初の御説明のなかに、今回の教科書は小学校 5・6 年から、英語が始まったことを受けて、現場の声も反映されつつ、こういう教科書が出来上がったという御説明があったのですけれども、どうしてこのような楽しさを教えるという観点の強い教科書が出てきたのか、もう少し御説明をお願いしたいと思います。選定委員にお聞きするのは場違いかもしれないのですけれども、教えていただければと思います。

十河選定委員

今回の 4 年間の小学校での外国語の教科書を使ったときに、日本で初めての 7 社が試行錯誤しながら作った教科書を使って、現場からの声を踏まえて、中学校側から言えばもう少し文字を書けるようにしておいてほしいなどということはあるんですけども、小学校の目標と照らし合わせてみれば、読む、書くということは、理解にとどめる、文字を聞いて理解する、見て理解する、それが中学校に入って書き写すことができるであるとか、自分の意見を書くとか。正しさを求めるということになります。小学校、中学校の中でも段差ということとは各

社とも意識しているところで、英語嫌いを中1の段階で作らせない、そんな工夫が一番大きいかと思います。各社様々ですけれども橋渡しの單元というのをかなり重視して作られていて、小学校でこういうことを学んでいるよね、中学校では学んだことをもう少し整理してみましようということ。小学校で学ぶ内容と中学校で学ぶ内容を完全に分けてしまうのではなくて、そこにスロープを置いて、小学校、中学校で橋渡しをするというこんな作りになっています。題材につきましては、現代的な課題についての、取り上げられている題材が各社とも多く含まれていて、例えば、日本の文化で言えば食文化を取り上げていて、日本の食文化はどのようにして外国に広がったのか、外国の食文化はいかにして入ってきたか、平和教材については、これは従来の英語の教科書と遜色なく考えさせる教科書になると考えます。

阿形教育長

はい、ありがとうございます。

波床委員

今回の中学校の教科書を見て、逆に懸念を抱いたのは、小学校の英語教育がどちらと言えば、生徒たちに詰め込み教育的な負担を感じさせているのではないか、だから中学校に入ったときに本格的に英語を学ぶといっても、重圧をかけるのではなくて、楽しみながら学んだ方がいいのではないか、そういうような接続の仕方を教科書が目指しているのではないか、そんなふうに憶測したんですけど、いかがでしょうか。

十河選定委員

今回の6社の教科書を、前段階の小学校での取組自体も適宜しているわけですがけれども、委員おっしゃるように、小学校で詰め込んできた結果、中学校で楽しみながら学ぶことができない印象を受けていないです。小学校の学びは、体験したことを英語でなんとか伝えることができるだろうか、自分がこう思っていることをなんとか表現できないだろうか、そこに子供たちの達成感を高めながら、中学校へあげていくというように考えられていると思います。

阿形教育長

はい、わかりました。ほか、いかがでしょうか。

石元委員

詳しい御説明ありがとうございます。いただいていた教科書アンケートで、気になったことがありましたので、お聞きしたいのですが、英語の御意見、御感想のところ、小学校での学びと中1での繋がりがあるものを採用してください、学びの差がありすぎて、ついていけない子供が多数いると思われまうという御意見をいただいているんですけども、今使っている教科書で、ちょっと使いにくい、難しいかなというか現場の声などを感じる事があれば、教えていただきたいのですけれども。

十河選定委員

英語で使っている教科書であれば、子供たちが、文部科学省のWeCan!という副読本を学習してきた上での、中学校での検定教科書ということになりますので、重なり合っていないということで、いま、そういうところが見受けられます。小学校での学びが、現行使っている教科書で生かすきれていないのではないかというふうに聞き取れました。修正するために、3、4、5、6年でこういうことを学んできたでしょうっていうことを、振り返りながら、自分たちで学びを思い描いていく、その上に立って中学校の学びがあるんだよというのが、

1年生での準備段階での単元の中で、結構丁寧に扱われていると感じています。

石元委員

ありがとうございました。

阿形教育長

はい、わかりました。ほか、いかがでしょうか。

藤本委員

6社とも、中学校と小学校の連携を丁寧に教えていただき、よく理解できました。私は、18校全ての中学校を学校訪問してはいないんですけれども、行かせてもらったところで、生徒は、急に、中学校1年生になったときに、英語を嫌いになる、6年生であれば、写す、写し取る、例えば上に書くというだけで、中学校ではスペルを全部覚えなければならない、単語を覚えなければ、点数にならない。一番多かったのは、1人称、2人称、3人称がごちゃ混ぜに、話をしていたらOKだという教科書もあるので、それが3人称だとSをつけなければいけないなど、そういうところが難しいという意見もありました。構文で、SVOOになったときに、このOの方が前に置かなければいけないことや、9つある単語を並び替えなさいということが、どちらが先に来たらいいのか理解できにくい。小学校では全部OKで、ツールとして使えたのが、構文にあてはめないといけないというようになっている。前置詞が違って、そういったところを訂正しながら教えていく小学校の指導から、中学校では、高校入試というのがあるので仕方がないけれど、そういった意味で懸念しているんです。嫌いな子が多くならないかと。そういった意味で選定委員は、どうお考えでしょうか。

十河選定委員

教科書の工夫から言うと、英語の語順をかなり意識して作られています。「英語と日本語の語順の違いってこうですよ」というのは、どの教科書も押さえられていますし、図や表に表して、「誰が何をする、何々を」という英語の語順になるというのを、ぱっと一目で分かるように、そんな作りになっています。あと、小学校では良かったが、中学校では駄目というあたりについては、言語活動を子供同士で、先生と生徒、ALTと生徒の言語活動を豊富にしていくなかで、その都度こういうふうに言いたいよねというあたりをフィードバックしていくことによって、だんだん身に付いていくものだと考えているんですけども、それをペーパーテストをやるというのではなくて、使っていきながら、正しい英語に使えるようになっていくことが、教科の特性かなと思います。ただ、英語嫌いになっていくということについては、私は小中連携の観点から言うと、より先に進んだのではないかと考えています。

阿形教育長

ありがとうございました。ほか、ございませんか。十河委員は退室いただいて結構です。ありがとうございました。

英語の審議に入る前に事務局に伺います。教科書展示会において、英語について意見はありましたか。

竹内教育研究所長

英語の教科書については、2件の御意見がありました。資料4「令和6年度教科書展示会に関するアンケート結果」の最終ページに記載されています。

阿形教育長

英語については2件アンケートがありましたので、23と37ページに書かれております。先程、石元委員が言われたことが書かれております。それでは、英語の審議に入ります。委員1人1人がお調べくださったことやお考えになったことをお出しいただき、御審議ください。

波床委員

今回の教科書を見て、英語嫌いを生まないように少々文法的に正確でなくても、単語が書けなくても、英語にずっと接し続けて勉強したい、そういうような方向性になる教科書を選びたいと思ひまして、啓林館を推したいと思ひます。各社の教科書ともよくできているんですけども、啓林館は1年から3年にかけて、生徒の学習の進展に応じた教材選択、これが適切になされていると思ひます。全般的に内容が比較的簡単で、生徒に取り組ませる活動の時、簡潔明瞭である点です。例えば、読み物なんですね。1年には「くまのプーさん」、2年は「注文の多い料理店」、「スノーマン」、3年に「オズの魔法使い」というような読み物が配置されまして、これら生徒たち、日本語で読んだり、内容を知っていたりすることが多いんだろうと思ひます。こういうものを英語で読めるということは、非常に生徒たちにとって、良い体験になるのだろうと思ひます。楽しく学べるのではないかと、私は期待します。英語の書物を読む楽しさを伝えるという利点も出てきているということでもあります。開隆堂も同じ傾向があると思ひますけれども、啓林館を推させていただきたいと思ひます。あと、オーソドックスな教科書としては、東京書籍や三省堂というのはオーソドックスな教科書だと思ひますけれども、先生がいろいろ工夫できるという教科書とは思ひますけど、かなり指導力が必要になるのではないかとと思ひます。要するにレベルが高いといえると思ひます。東京書籍は良くできておりますけれども、情報量が盛りだくさんで生徒に対する活動量も多い。先生の時間的な制約のもとで、上手に取舍選択しないと教育効果がむしろ上がらないというリスクさえあるように思ひます。ただ、東京書籍の読み物の中にも、ガンディーだとか、マララ・ユスフザイさんの話が取り上げられていて、英語を通じ、社会問題まで考えてみたらどうですかという発信もあって、これらについては、1つの英語の勉強に興味を持たせる視点だと思ひます。以上のとおりで、第1順位は啓林館、第2順位は東京書籍です。以上です。

阿形教育長

はい、ありがとうございました。

石元委員

私は第1順位が東京書籍です。どの教科書も小学校からの連携が取れていると感じたのですけれども、東京書籍も丁寧に説明されていて、学習の連携が取れているように感じていました。文法の説明のところを比較してみたんですけども、東京書籍の1年生の教科書28ページを御覧ください。文法は、小学生の時には詳しく習わない。中学生くらいになったら、説明を読んで自分で理解する力があると思ひます。文法のところですけども、真ん中に、否定文、肯定文、否定文、疑問文を表にして表して、主語、動詞、補語を色分けして示しているので、ぱっと見て大変わかりやすくなるように工夫されています。そして矢印を使っているのも東京書籍は良いと思ひました。あと、波床委員がおっしゃっていたんですけども、各社とも長文の内容をよく選んでいるなど感じました。東京書籍、1年生126ページから、Gon The Fox、「ごんぎつね」を取り上げているんですけども、これも小学校で習っている内容です。あと、3年生は、「はらぺこあおむし」、2年生は「一杯の牛乳」、これは小学校で習っていない内容ですけども、貧しい少年があめを売って、生活に余裕がないけれど、親切な家の人に助けってもらって、牛乳をもらい、将来医者となって少年が病気の女性を無料で治療してあげて恩返しをするという話なんですけども、ちょっと長いかなと思ひますけども、いきなり長文を読むの

はハードル高いんですが、すでに習っている物語の内容が出てくるので、取り組みやすいようになっています。また、巻末の特徴、各社ともあるんですけども、単語帳も掲載の単語数が多くて、よくまとめられていて見やすいように感じました。ですので、東京書籍を第1位とさせて頂きまして、第2位が開隆堂にさせていただきました。小学校で学んだ4技能を、中学校で生かせるようになっている点と、教科書の文法の説明がスッキリとシンプルだけでも、要点がしっかりまとめられているので、わかりやすいと思いました。あと、152から153の英語の発音が載っているページがあるんですけども、母音の口の形を載せてくれていて、専門的というか、ここまでなくていいかも知れないんですけども、口の開け方で発音が変わってくるので、口の開け方もちゃんとイラストで載っていて、親切だなと思いました。そして、第3位に啓林館を推させて頂きたいと思います。これが小学校からの続きの教科書として考えたときに、一番じっくりくるように、個人的に感じました。以上です。

阿形教育長

はい、ありがとうございます。他にありませんか。

森崎委員

私は順位よりも3社を考えました。まず、1つ目は啓林館です。ユニット1、2、3と、自分のこと、そして自分自身を紹介すること、相手に質問をしたり、相手の質問に答えることというように、各章ごとにスモールステップで進められている。それから2年になりましたら、聞く、読む、書く、話す、また書くということで、1年生で聞いて、話すことから、読むことや書くことが展開されている、そして3年生になってからは、「オズの魔法使い」等、長文を取り扱います。次は開隆堂です。開隆堂で驚いたのは、他の教科書と違って、聞きながら教科書に書き込んでいくという手法がとられているというところが、面白いなと考えました。後半には、自分の考えをまとめたり、それを文章に書いたり、自分のことについて英文化をし、それをまた話し発表するというので、4つの分野がバランスよく学ばれているのではないかと考えました。それから東京書籍です。1番はステージ0から4まで、小学校とのつながりを丁寧に進めていってくださっているということです。しかも、1年生のポイントは、単語をきれいに書く、文章を正しく書く、使える単語を増やす、英語を伝えるように発言するためにということ、そして2年になりましたら、それを発展して展開させているということになっています。単語を有効的に覚えたい、相手に伝えるように発音したい、意見や考えを分かりやすく伝えたい、相手の言いたいことを理解する。3年になると単語や表現を増やしたい、言いたいことを大切に言いたい、まとまりある文章を書きたいとなっている東京書籍は、1年、2年、3年の目的を明確にして、そして段階を追って、指導することができるようになっていくということを感じました。そして3年では、長文が読む力を増やしていっている傾向がありました。後半のところでは、読んで、考えてということを繰り返し、そして自分の考えにして、まとめて書くということも、かなり難しい段階まで挑戦しているなど感じましたので、これは高校への英語へつながっていくのではないかとこのように考えました。以上、3社順番というよりは、この3社がいいかなと思いました。以上です。

阿形教育長

はい、ありがとうございます。他にありませんか。

藤本委員

先程、選定委員にもお尋ねしたのですが、今回、小学校と中学校の連携、継続という形で、1年生の教科書を見ました。そういった意味で、難しい教科書と簡単な教科書というか、配慮が各社されているんですけど

も、1番配慮されているのは、私は啓林館ではないかと考えています。と言いますのは、委員からの意見にも出ましたけども、ユニット1から5まで目標に、書くこと、話すことだけを中心を持って来て、小学校と変わりがないと考えてと作られていました。そして、ユニット1では1人称、I am I'm I watch I like I don't knowのようにIで始まって、そしてユニット2では、Do you とか Are you とか Can you とか、2人称を持ってきている。それから、ユニット4では、3人称単数を持ってきているということで、段階を踏まえてわかりづらい生徒に、寄り添った流れになっているのではないかと感じました。ですから、1番には啓林館、それと同じように光村図書がそういう風になっているんです。1年生の特色として、ユニット1にはI、ユニット2にはyou、ユニット4には3人称単数ということになっているんです。そういったところの部分から見て、私は2番は光村図書を挙げたいと思います。以上です。

阿形教育長

ありがとうございます。私は、小学校と中学校との接続をしっかり見て、どれが1番子供が英語を活動とかおしゃべりが、どう中学校へ繋がっていくかを見ました。私は東京書籍が1番で、内容は多くて、先生の工夫があるのかも知れませんが、ただ、いろいろ丁寧に書かれているので、先生には使いやすいのではないかなと思います。ただ、確かに内容量が多いのですが、上手く取舍選択したら、例えば、巻頭の学習の流れのイメージや、学習のポイント、見通し、このあたりを先生がうまく使えれば、すごく良いかなと思いました。それから巻末の学習を振り返るといふところでは、Can-Do リストなどもあるんですけども、例えば、1年のとき、小学校というのが入ってしまっていて、それから3年には高校のも入って、見通しもあるのかなと思いました。小学校での学びを意識したものが東京書籍が1番あるのかなと思いました。学習の流れが統一されていて、使いやすいような気がしました。3年間のスムーズな学習が出来るのではないかなと思いました。それから、単元と単元の中の小単元がどこもあるんですけども、Real Life English ということで、実生活に則した話題で生徒が伝えたい内容があります。それから個人の感想ですけども、色合い、文字、写真、イラストなど見やすく感じました。東京書籍が1番良いかなと思いました。同じような観点で見て、2番目に開隆堂が良いと思いました。ですので、皆さんの御意見をまとめますと、啓林館を1番に推されている、森崎委員は順位をつけられていないのですが、啓林館を波床委員、藤本委員、森崎委員も同列ということでしたので啓林館と、それから東京書籍を石元委員と私と第1順位となっております。あと、森崎委員は順位をつけられていないのと、開隆堂が出ております。どうでしょうか。藤本委員は光村図書を推していただいたんですけども、複数で御意見出ているので、特に第1順位でたくさん出ている啓林館と東京書籍の2社を残させていただくか、開隆堂も残すかということなんですけれども、どうさせていただきますでしょうか。3社か、啓林館と東京書籍にさせていただくか。開隆堂も複数の委員が挙げておられるので、3社残すということによろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

他の教科については1社に絞っていききたいんですけど、本日英語が初めての審議になっていますので。英語については、啓林館、東京書籍、開隆堂を残して、次の教育委員会で、再度審議させていただきます。よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、そのようにさせていただきます。

(1)【審議：国語】

竹内教育研究所長

続きまして、教科書目録の掲載順に沿って、国語から順に御審議をお願いします。国語は、東京書籍、光村図書の2社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、国語の審議に入りたいと思います。東京書籍、光村図書の2社について再度審議し、1社を採択します。委員の皆さんが改めてお調べくださったことやお考えになったことをお出しいただき、御審議ください。

波床委員

この2社を改めて見比べてみたんですけども、読解力の観点から言いますと、取り上げた教材が一緒の場合は、課題についてもものすごく似ているんですね。だから、この2社で取り上げている教材には差があって、特に従来から名作とされている作家のものを比較的多く取り上げている東京書籍と比較的最近の作者を取り上げている光村図書という違いはありますけども、共通の教材については同じような構成になっていると思います。それで、教科書に設定されている課題を見ていますと、見やすさといいますか、課題の多さとか、あるいは1つの教材をきっかけに色々検討させる視点としては、光村図書が非常に多く盛り込まれていると思います。逆に言うと、その点が光村図書の教科書が盛りだくさん過ぎて、果たしてちゃんと生徒たちに上手く教えられるのかという問題もあるようにも思います。パッと見た印象は1ページに書かれている見やすさという観点から言いますと、光村図書はいろんなことが書かれていますので、内容が詰まっている感じがします。それに対して、東京書籍は割とすんなりとしている、そんな違いがあると思います。どちらも遜色がないといえば遜色がないと思います。ただ、私の固定観念が強いのか、旧来より名作とされている作品については、できるだけ生徒に触れてもらいたいものですから、前回の採択で東京書籍を第1順位で推したと思いますけども、比べてみたらそれほど遜色がないという考え方もいいのかなと思います。私はどちらでも結構かと思っています。

阿形教育長

わかりました。どちらもそんなに遜色がないということで、現在は東京書籍が使われています。その前は光村図書が使われていましたので、和歌山市にはどちらもなじみのある教科書となっています。

藤本委員

私はこの間も言わせてもらったんですけども、今まで光村図書は教材が固定されていて、読み物を教える側にしては、これをこういうふうに教えるんだ、という固定観念で授業が進んでいたということがあって、斬新な新しい教材を入れている東京書籍に変えた方が良いという意見を、令和2年度に言わせていただいたと思います。そういった意味で今回光村図書が変わったと私は思います。教材の後に学びの扉というのを作って、前に置いたんですけど横書きにして、国語の先生が横書きするということに本当に変化を与えて見やすくやっている。そして、その1番のところが重要です、というところは次のページに書かれているというところ

ろが、丁寧に教科を教えるという内容になっているのではないかと思います。それで、教材も洗練されていて、ものすごく新しいものが入れられて改善したなどと思いました。今回は光村図書を1番にさせていただきます。

森崎委員

前回は光村図書を推させていただいたんですが、ポイントはやはり学びへの扉でした。見通しをもつ、捉える、読み深めるとなっています。この読み深めるところに黄色い色が付けられているんですが、国語の一番の根底にある読み深めることを大切にするという意味かと思われまます。そして、そのことについて考え、自分の意見として話し合おうとされています。その次に学びの鍵としてここでのポイントをもう一度復習しているという点で、本当に新しいことに取り組んでいるなどという見方をしました。以上です。

石元委員

私もどちらも良い教科書で、本当に難しい選択だったのですが、光村図書が良いと思います。課題を発見して、解決するための言葉の力を身に付けてほしいというのと同時に、いろんな物語を読んで大人になってからも記憶に残るような作品に親しんでほしいと思うのと同時に、先ほど委員がおっしゃったんですけども、学びへの扉がとても読みやすく、視覚的にも色分けもされていてとても丁寧だなと思いました。また次のページにある思考のレッスンはとても分かりやすく、イラストもとても分かりやすい内容に工夫されていると感じました。デジタルコンテンツは東京書籍の方が豊富で、光村図書は少し少ないみたいですが、今はKindleなどの電子書籍により気軽に本を読むことを楽しむことができる時代になってきたんですけども、ちょっと教科書は重くなりますが電子で味わえない紙の本で読んで想像して感じて考えてもらえたらいいなという意味も含めて、光村図書が良いと思いました。以上です。

阿形教育長

私はまず学習の見通しを持つというところが、折り込みで分かりやすく1年間の学習の全体が見渡せるようになっているのすごいなと思います。それから学ぶポイントが一目でわかるようになっています。それから、委員の皆さんがおっしゃっていた学びへの扉、また学びのカギがとてもすごく使いやすく良いのではないかなと思いました。それから、収録されている教材も親しみのあるものもありますし、子供達が興味を持つ名作、それから新しいものも含めて色々なものがありますので、今回の国語は光村図書でいいのではないかなと思います。それでは、波床委員はどちらでもということですが、皆さん光村図書ということですので、今回の国語は光村図書でいきたいなと思います。理由といたしましては、皆さん、おっしゃっていましたが、様々な名作や新しい教材、色んなものがバランスよく載っているということ、それから学習の流れや学ぶべきポイントがわかりやすく表記されているということ、それから書き教材がたくさん入っているということ、そういった理由から今回は光村図書にさせていただきます。それでよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(2)【審議：書写】

竹内教育研究所長

続いて、書写について御審議をお願いいたします。書写は、東京書籍、三省堂、光村図書の3社を御選定い

ただいております。

阿形教育長

それでは、書写の審議に入りたいと思います。東京書籍、三省堂、光村図書の3社について再度審議し、採択したいと思いますので、委員1人1人が改めてお調べくださったことやお考えになったこととお出しいただき、御審議ください。

藤本委員

前回は申し上げましたが、写真や筆使い、払い、止め、そういうものがきちんとわかるように書けているのが、東京書籍ではないかなと思います。それから3つのポイントとして書写のかぎということで、学習のポイントを焦点化しているところ。行書の4つの動き、行書の時の流す時の動きが頻度の高いものからきちんと載せてある。それと、文筆の動画で真上から筆の動きがわかるように捉えた二次元コード、こういった意味で1番良いのではないかと思います。東京書籍を選ばせていただきます。

波床委員

私も東京書籍が良いのではないかと思います。姿勢とか用具の持ち方から始まって、文字の大きさや配列の仕方など、読みやすい字を書くための工夫がしっかりとなされていると思います。また、学んだことを書写活用ブックで手紙など日常生活に活用するように動機付けもされていますので、東京書籍が良いと思います。以上です。

森崎委員

文字の書き方に関してはみなさんがおっしゃるとおりで、それに加えて波床委員がおっしゃっている書写活用ブック、これはこれからとても参考になる良い資料だと思います。以上です。

石元委員

私も東京書籍が良いと思いました。1年生で使う10ページの筆を使って書き順や止め、はねを練習するページなんですけども、この涙型の顔のキャラクターの絵がとてもわかりやすく見た感じ好きだなと思いました。また、作品が多くて綺麗に載っているというところと、森崎委員がおっしゃっていたように、書写活用ブック、これもこれから先、切り離してずっと持っておきたい活用できるものだなと思って、便利だなと思いました。以上です。

阿形教育長

私も東京書籍が良いと思います。皆さんが言ってくださっていたように、まず作品が大変多くて、お手本が大きく美しいと思います。書写活用ブックがたいへん良い資料であると思います。それでは、皆さん東京書籍ということですので、書写につきましては東京書籍を採択します。理由といたしましては、学習のポイントが焦点化されている。それから文字の大きさ、読みやすい文字の工夫と、お手本が大変多くて綺麗である。それから、書写活用ブックが子供にとって良い資料になっているのではないかと。そういったことを採択理由とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員一同

はい。

(3)【審議：地理】

竹内教育研究所長

続いて、地理について御審議いただきます。地理は、日本文教出版、東京書籍、帝国書院の3社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、地理の審議に入ります。日本文教出版、東京書籍、帝国書院の3社について再度審議し、1社を採択します。委員1人1人が改めてお調べくださったことやお考えになったことをお出しいただき、御審議ください。

波床委員

見比べてみたんですけれども、やはり地理といっても、単なる地形とかという問題ではなくて、他の社会の教科書との連動性とか、そういう中で地理も勉強することになってきていますので、そういうリエゾンがやっぱり取れているのは、日本文教出版だと思うんです。こんなこと言うと申し訳ないかもしれないんですけど、やはり社会科は同じような方針で編集されている会社の教科書が望ましいと思うんです。地理を見ているようで公民に飛んでみたり、地理だけを勉強しているようで歴史に飛んでみたり、そういうことが必ずありますし、また日本文教出版は小学校との接続も意識していますので、そういう意味では、横軸にも縦軸にも配慮された教科書だと思います。やはり日本文教出版が良いのではないかと、今回改めて検討させていただき思いました。

森崎委員

私も日本文教出版です。見開きで完結していて、教える側も進みやすいと思うということ。どのように学ぶかで問いを立てて学習を見通す、問いを追究する、まとめ・振り返るとされていて、各章の振り返りに自分の考えをまとめるために必要な知識を確認して、ここでは自分の考えをまとめるために思考ツールを活用しています。学習の振り返り、導入をして、思考ツールも活用されているということで、今までの単に覚える地理から、自分自身が理解する地理へ変えようとしているのではないかと。それが今の学習指導要領に適しているのではないかと考えました。以上です。

石元委員

私も日本文教出版が良いと思いました。自分の考えをまとめようとか、議論をしてみようという学び合いのページでも、グループワークで盛り上がるような内容になる課題が設定されているように感じました。また、コラムが充実している点と和歌山県についても取り上げられているという点でも日本文教出版を推薦したいと思います。

藤本委員

私も日本文教出版が良いと思いました。森崎委員もおっしゃられたんですけども、単元を通す問いを設定し、見開きの2ページで章が始まり、1つの課題に対して見方・考え方を必ず左のページの一番上に持ってきている。写真が多く文字を少なくして、必ず見やすいようなページ配置になっているのがいいなと思いました。教えるのも見開きの2ページを教えていくということで完結しているのも、一番良いのではないかと考えました。以上です。

阿形教育長

私は前回、東京書籍を一番に推したんですけど、改めて色々と見まして、先程から皆さんがおっしゃっていますように、日本文教出版は、小学校との関連とか地域調査の手法とか、すごく詳しく書かれていて、子供たちが自ら学ぶ、調べていく、そういうところが使いやすい教科書だと思いました。それから、石元委員がおっしゃいましたけども、コラムもより充実していると思います。そのような理由で、私も日本文教出版が良いと思います。まとめさせていただきますが、皆さんが日本文教出版ということでしたので、選定の理由としましては、1点は単元を通した問いがしっかりしている点、問いを第1に見方・考え方を考えさせる意味で、見開きの紙面構成が使いやすいのではないかとということ。それかた、教える側も使いやすいのではないかとということ。また、コラムの充実、そして小学校との接続として同じような方針で貫かれているということ。そういったことから日本文教出版が一番良いのかなと思います。日本文教出版という形にさせていただきたいと思います。これでよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(4)【審議：歴史】

竹内教育研究所長

続いて、歴史について御審議いただきます。歴史は、日本文教出版、帝国書院、東京書籍の3社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、歴史の審議に入ります。日本文教出版、帝国書院、東京書籍の3社を2回目の審議で選定しております。それぞれの御意見について再度いただきたいと思います。

森崎委員

地理と同じように、日本文教出版が良いと思います。見方・考え方を働かせながら学習を進めているやり方は、地理と同じようにされています。さらに、チャレンジ歴史では、資料をもとにして歴史について自分で考えたり対話したりして歴史を学ぶ、その面白さを体験することができるのではないかとと思いました。時代世紀の表記は分かりやすく、それから歴史を掘り下げるというコラムでも、知識を深める仕組みが作られています。1時間の学習が進みやすいのは地理と同じだと思いました。特に私が注目したのは、253ページの資料6「若い世代にあてた言葉」というのと、286ページの「冷戦終結後の近隣諸国との関係」というところでとても面白く読ませていただきました。以上です。

石元委員

私も森崎委員と同じなんですけど日本文教出版が良いと思いました。森崎委員がおっしゃられたように、学習のテーマごとに学習の課題と見方・考え方が示されていて、課題解決のための視点を示すことで自ら見通しを持って学べるように工夫されているという点、あと地理でも同じだったんですけども、真ん中に文章を持ってきて外側に図や地図・年表などを持ってきているので、同じレイアウトで大変見やすい構成になっていると思いました。また、図や年表も綺麗で見やすいと思いました。以上です。

波床委員

私も日本文教出版で良いと思います。歴史はまず何を掴むべきなのかという大きな問題意識、これを持つかどうかが出発点として大事だと思います。その意味では、いろいろな資料をもとに、この時代はどんなことが起こっていたんだろうか、どういう時期だったんだろうか、ということをもっとうまく問題設定できていて、まず大掴みで興味を持たせるようにしているということ。それが、実際に勉強を始めるにあたって、見方・考え方を提示していて、それに沿って勉強できるようになっている。最後にまとめと振り返りで学習したことを消化させている、そういう手法で一貫していますので、非常に良いと思います。選定委員の先生がおっしゃっていた近現代については、東京書籍より日本文教出版の方が充実していると思うのです。よく外国の人から言われるのは、留学した生徒に日本の近現代のことを外国人が質問しても、あまり答えられないことが多いという傾向があるんだそうです。これはやはり歴史を学ぶ上において、一番最後の大事な視点が欠けてしまっているということだと思いますので、そういう意味で近現代について重点が置かれているという教科書が望ましいと言えるかと思います。以上が日本文教出版が良いと考えている理由でございます。

藤本委員

私も波床委員と同じように近代史を見ました。現在の日本の世界ということで敗戦前後の写真を載せておりまして、日本を比べてみようという問いを立てまして、これでやはり戦争は大変だったんだなということを生徒たちに理解させることでは良い内容ではないのかと思いました。それと、人権尊重については部落差別や色々な男女差別の状況が先進国の中でも最低レベルであるというところ、事実を書いているのが日本文教出版ではないかなと私は思いました。前に言いましたように、日本文教出版を選ばさせていただきます。

阿形教育長

私も日本文教出版で良いと思っています。歴史の捉え方とか身近な地域の歴史を探究していくという意欲を持てるように問いが多いと思いますし、わかりやすい、使いやすいのではないかと思います。あと、いろいろな資料が大変充実していると思います。それから、災害、政治参加、世界平和、これからの自分の将来に生かしていけるような内容が多いのかなと思いますので、日本文教出版で良いのかなと思います。それでは、皆さん日本文教出版ということですので、日本文教出版を選定したいと思います。選定の理由といたしましては、1つは歴史の見方・考え方を学べる1時間の学習が進めやすいといったこと、それから同じようなレイアウトで作られているので使いやすいのではないかと。あと、資料も見やすく充実している。そして、近現代史が充実した表記になっているということ。また、人権学習も同じような充実した内容になっている。そういった理由で日本文教出版を選定させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(5)【審議：公民】

竹内教育研究所長

続いて、公民について御審議いただきます。公民は、日本文教出版、東京書籍の2社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、公民の審議に入ります。日本文教出版、東京書籍の2社について再度審議したいと思いますので、

よろしく申し上げます。委員1人1人が改めてお調べくださったことやお考えになったこととお出しいただき、御審議ください。

藤本委員

地理は115単位時間を学び、歴史は135単位時間を学んで、それから最後の3年生でそのベースがあって、π（パイ）型という、地理と歴史があってその上に公民が乗っかってくるということを考えまして、公民が100単位時間あるんですけども、そういった意味で、日本文教出版が単元を通しての問いとか、いろんなことで良いんですけども、そういった考え方で地理と歴史を学んで最後に公民と考えれば、日本文教出版が良いのではないかと考えました。以上です。

森崎委員

やはりインパクトがあったのは1ページ目でした。どの公民もそうだったんですが、地理・歴史の上に乗って、公民は生徒たちがこれからの社会をどんな社会にしたいのか、ということのを投げかけています。そして、3ページには地理と歴史とのつながりがあって、そして本文1には、公民を学ぶにあたってということで、社会の働きに積極的に参画していこう、身近な家族・学校・地域社会のことを考えてみよう、そこからグローバル、国家、国際社会へと書かれています。それは具体的に導入資料と学習課題と確認、表現、話し合い等があって、学習指導要領に沿っているんですが、中学生が社会に参画するための手がかりを示していると思います。チャレンジ公民では、章にかかる社会の課題を考察したり、構想したりすることができるようにしてあります。そして、情報のスキルアップでは、情報の読み取りや活用に必要な知識・技能の学習ができるようにしてある。本当に考えられた教科書だと思いました。

阿形教育長

私も皆さんがおっしゃっているように、日本文教出版で良いと思います。本当によく考えられた教科書で、具体的な問いや活用事例などがいろんなところにあって、子供もわかりやすいですし、先生も使いやすいのではないかと思います。それから、森崎委員がおっしゃっていましたが、いろんな社会の問いを自分の問いとして捉えられるように、工夫されているのかなと思います。日本文教出版の教科書が良いのではないかと思います。

波床委員

私も、日本文教出版で良いと思います。よく主権者教育が必要だと言われるわけですけども、やはり実際にいろんなことを問題意識を持って意見を自分で持つ。そういう機会を常日頃から体験していないと主権者教育にはならない。模擬投票みたいなものは主権者教育の入口に過ぎないと思うんですけども、そういう観点から見たときに、日本文教出版は積極的に色々アクティビティやってみようとか、意見を出し合おうとか、そんな視点が感じられる教科書だと思います。東京書籍はさすがに知識を吸収して考え方を自分の中で固めていくにはすごく良い教科書だと思いますが、積極的に相互交流をして自分の意見を判断して修正していくとなると、少し日本文教出版と違ってそのあたりの姿勢が弱いのかなと私は感じるころがあります。したがって日本文教出版で良いかと思います。

石元委員

私も日本文教出版が良いと思いました。皆さんおっしゃってくださっていたんですけど、課題の取り組み方、進め方が良いように思います。各単元の初めに問いを立てて、目的を持って見方・考え方を学んで、最後にま

とめと振り返りで学習を定着させる流れがよくできていると思いました。また、和歌山の写真も取り上げられているので興味を持ってくれると思いました。以上です。

阿形教育長

それでは、皆さん日本文教出版ということで、日本文教出版を選定したいと思います。選定の理由としましては、皆さんが言ってくださいましたが、1つは単元を通しての問い、そういったものが具体的な問いや進め方、流れが分かりやすい教科書であるということ。それから、地理、歴史とのつながりもよく考えられているのではないか。それから、主権者教育が大事に叫ばれている中で、常に子供達が問題意識を持って取り組んでいけるような、そのような具体的な問いが示されている。そういった内容で選定の理由とさせていただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(6)【審議：地図】

竹内教育研究所長

続いて、地図について御審議いただきます。地図は、帝国書院の1社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、地図の審議に入ります。地図は前回の審議の中で帝国書院1社を選定しています。帝国書院について再度審議して、選定の理由についても決めていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

藤本委員

帝国書院を前回選ばせていただいたんですが、一目瞭然で見やすい。地図は見やすく、明るさが鮮やかで、濃淡の区別がはっきりして、地図として見やすいなということで、帝国書院を選ばせていただきました。

森崎委員

私は前回もお話させていただいた資料のページが良いと思いました。どこに何がある、そこにどういうことが行われているか、興味深い資料がたくさん載せられています。活用しやすい地図帳だと思いました。

波床委員

私も帝国書院が良いかと思います。地図帳は使い方がわからないところがあるんですが、決して地理だけに使うものではない。常に歴史に接合させる。それから、もちろん地理にも接合させる。場合によっては公民にも接合させる。そういう資料として地図を使うのですが、いろいろな統計的な資料や比較表など、そういうものが付いていますので、そこから本体の歴史とか地理というものを考える。そういう地図帳を出発点として、分析して自分で思考する。そのような使い方を是非していただきたいなと思います。そのような使用にも耐えうる教科書だと思いますので、これで良いのではないかと思います。

石元委員

私も前回、帝国書院が良いと思ったんですけども、今回も同じ意見です。地図が立体的で見やすいということと、あと資料も豊富で色使いが良いところと、あと昔から私が見てきている地図で、実績があって馴染み

がある帝国書院が良いと思いました。以上です。

阿形教育長

私も皆さんが言っていたように、本当に見やすいというか、あまりごちゃごちゃしていないのがまず良いと思います。前回は申し上げたんですけども、鳥瞰図の情報があるんですけども、鳥瞰図の中にいろんな資料が入って、東京書籍はあまり資料が入っていないですが、先程皆さんおっしゃったように、ここに歴史に関係ある資料とかいろんなものが入っていますので、大変使いやすいのではないかと。それから、資料が大変充実しているような気がしました。ですので、帝国書院を選定するんですけども、選定する理由といたしましては、まずは見やすく明るく濃淡がはっきりしていて、見やすい立体的な色使いである、いろんなことを含めて子供達が一番見やすいのではないかとというのがあります。それから、どの委員も言われていますけども、当然地理にも使うんですけど、それだけではなくて歴史や公民の他の社会科でも活用すると考えた時に、そういった関係の統計とか比較する資料がたくさん入っていて、地図帳を出発点にして、公民や歴史の学習に発展していくのではないのかなと、そういう理由で帝国書院の地図を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(7)【審議：数学】

竹内教育研究所長

続いて、数学について御審議いただきます。数学は、啓林館、東京書籍、数研出版の3社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、数学の審議に入ります。前回、啓林館、東京書籍、数研出版の3社を選定しておりますので、この3社について先生方の御意見をいただきたいと思っております。

波床委員

改めて3つの教科書を見たんですけども、いずれの教科書も良くできているなという感想を抱きます。ただ、和歌山の生徒達の数学の学力といいますか、小学校からの学力から見ますと、小学生で算数が良くできていた子は良くできていたんでしょうけど、その子達が私立中学校に行ってしまうと、他の生徒たちが公立中学校に行くと、全国学力状況調査の結果を見るとかなり公立の中学生の学力は全国平均から隔たっているところがあるように思います。数学は苦手意識を持ってしまうとそこからどんどんやらなくなるという傾向が生まれてきますので、やはりわかりやすい教科書の方が良いと思います。3社とも本当によくできているんですけども、そういう意味で数学嫌いを生まない教科書は啓林館だと私は思います。その点で、今回は啓林館を採用いただければと思います。以上です。

石元委員

私も啓林館が良いと思いました。波床委員もおっしゃってくださっていたんですけども、基本的なことを教えることに重点を置いているという点、スモールステップで進められている点が和歌山市の生徒に合っているのかなと感じました。また、身近な課題に焦点を当てて、数学と結びつけて生徒が興味をわくように工夫されているようにも感じました。以上です。

森崎委員

私も章の進め方がスモールステップであるということと、生活の中で活用するところまできめ細やかに学ぶようにされているという点。そして、ICTの活用も前面に出されています。そして、対話的学びの方法として深める方法をノートのまとめ方まで非常に細やかに計画されているということで、啓林館をお願いしたいと思います。

藤本委員

私も啓林館を選ばせていただきます。やはり、先生が教える内容を考えましたら、教えやすい教科書だと思います。先程も出ましたが、全国学力学習状況調査で良い値が出なかったんですが、引き続き啓林館で教えていきたいなと思います。以上です。

阿形教育長

私も大体皆さんと一緒に、スモールステップで使いやすい教科書だと思います。基礎・基本を大事にされていると思いますし、生活の中にある身近な課題をたくさん取り扱っているところ、デジタルコンテンツも充実しているのいいかなと思います。それでは、皆さん啓林館ということですので、啓林館を採択したいと思います。選定の理由といたしましては、まず内容的に基礎・基本が大事されていて、スモールステップである。そして、先生方が教えやすいのではないかと。そして生徒もわかりやすいようになっているのではないかと。それから、ICTを前面に出してデジタルコンテンツが充実しているところ、またノートのまとめ方等が詳しいことがたくさん表記されている。そういったことも、選定の理由とさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(8)【審議：理科】

竹内教育研究所長

続いて、理科について御審議いただきます。理科は、啓林館、東京書籍の2社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、理科の審議に入ります。東京書籍、啓林館の2社について再度審議し、1社を採択したいと思います。先生方それぞれ御意見いただけたらと思います。御審議ください。

藤本委員

前回も言わせていただいたんですけども、理科の見方・考え方というのがあります。そういった意味で、比較するとか、そういったところをオレンジの付箋、それから黄色のマーカーで示されているところが、生徒にとっては分かりやすいのではないかと思います。それが1点と、最後に探Qシートというのがあります。これは自分自身で調べたことを書くというところ、覚えるだけの理科ではなくて自分自身で予想を立てて、そして観察・実験を行って、それから予想がちがったら、なぜちがったのだろうかとかと批判的に考察する力が今大切だと言われているので、そういった意味で啓林館の教科書が良いなと思います。以上です。

石元委員

私も啓林館が良いと思っています。課題解決型のスタイルを取っていて、生徒自ら考えていけるように導かれています。また、藤本委員がおっしゃったように探Qシートのワークシートに自分の考えを書けるようになっていて、また生徒同士で意見交換する時にちょうど良いものになっていると思います。

波床委員

私も啓林館で良いと思います。中学校の理科でも、地学・生物と化学・物理の2つのグループに大きく分けられると思うんですけども、後者の化学と物理は非常に理解が難しいところがあって、苦手意識を抱くと、理科について、高校になってもあまり興味を抱かない傾向があるんだと思うのです。もちろん生物や地学にずっとこだわって理科について興味を持ち続けるという生徒もいるのかもしれませんが、高校になるとやはり化学や物理というのは理科の中では非常に重きをもってきますので、そういう意味合いで中学校では分かりやすさという観点から、啓林館が優れていると思っています。以上です。

森崎委員

私も皆さんと同じように啓林館をお願いしたいと思います。探究、追究していくこの流れが具体的で非常に分かりやすいというところです。そして、資料写真がとても美しく、それによって、事象の変化が細かく表されていて、非常に興味がそそられる。そのように思いました。以上です。

阿形教育長

私も一番探究を重視しているのは啓林館かなと思います。探Qシートが効果的で書き込めますし、教科書の実験とも対応していて、実験で探究的にやれるように工夫されているのかなと思います。それから、先程から皆さんがおっしゃっていますけども、写真とか資料が充実して綺麗であると思います。そういった理由で啓林館が良いと思います。皆さん啓林館ということで推していただきましたので、選定の理由といたしましては、まず1つは課題解決型の探究・追究の流れがしっかりしている教科書であるということ。それから、化学や物理の思考を大切にしていくために、わかりやすい表記がたくさんなされているのではないかとということ。それから、生徒自らが学習していく流れになっていく展開が良くできているということ。資料、写真等がたいへん美しく綺麗であるということ。生徒にとってわかりやすい教科書でないのかなということを、選定の理由にさせていただいてもよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

（9）【審議：音楽（一般）】

竹内教育研究所長

続いて、音楽（一般）について御審議いただきます。音楽（一般）は、教育芸術社の1社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、音楽（一般）につきましては、教育芸術社を選んでいるんですけども、再度審議いただいた上で採択したいと思いますので、御審議ください。

石元委員

音楽（一般）は教育芸術社が良いと改めて思いました。理由としましては、わかりやすい紙面構成で、写真や絵などの配分もちょうど良いと思いました。あと、学びのコンパスというページでは、教材の中で生徒自身が感じたことや気づいたことについて考えをまとめる箇所があって、音楽と関わりを深めて主体的に学ぶ環境を用意しているように感じました。以上です。

藤本委員

私も教育芸術社をお願いしたいと思えます。といいますのは、学習指導要領で言われている共通教材の中ですごく写真が大きく2ページにわたった写真が各箇所に掲示されています。そして、その時に音符が見えづらくないように工夫がされていて、次のページには音符があつたりとかそういったところも工夫されていました。1つ1つ写真が大きく、迫力を感じるものであって、素晴らしい教科書だと思っています。以上です。

波床委員

私も教育芸術社で良いと思えます。徐々にステップを踏みながら勉強をできるようになっている丁寧さが理由の一つです。それからもう一つは、鑑賞力を高めるという観点から見ても、昔からの日本の伝統音楽である邦楽についても、かなり注力をして作られた教科書であると思ひまして、これもバランスが取れていると思ひます。そういう意味合ひで、教育芸術社が良いと改めて思ひました。以上です。

森崎委員

私も教育芸術社を選ばせていただきました。皆さんの意見にプラスして、8ページにあるように音楽を学問として捉えていて、思考力・判断力・表現力、何の知識を学ぶか、どんな技能を学ぶかということがきちんと整理されている、ここに教科書としての質の高さを感じました。以上です。

阿形教育長

私も大体皆さんがおっしゃってくれたものと一緒です。写真とか挿絵が大変効果的で綺麗であるということ。解説もわかりやすいと思ひますし、伝統音楽に触れながら学習していけるといったことが充実しているように思ひます。それでは、それぞれの理由としてまとめさせていただきますが、まず1つは大変分かりやすい紙面構成である。それから、共通教材の写真が大きくてたくさん掲載されている。それから、ステップを踏みながら学習できるように構成されているということ。それから、鑑賞力とか伝統音楽の和洋バランスがうまく取り上げられているということ。さらに、歌唱で、どんな技能を学んでいくかということがしっかりと整理されている。そういったことを採択の理由としてよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

（10）【審議：音楽（器楽合奏）】

竹内教育研究所長

続いて、音楽（器楽合奏）について御審議いただきます。音楽（器楽合奏）は、教育芸術社の1社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、音楽（器楽合奏）の審議に入ります。教育芸術社を選定しておりますので、再度見直していただいた上で採択したいと思っておりますので、御審議ください。

森崎委員

私は教育芸術社を選ばせていただきました。音楽（一般）と同様に音楽を学問として捉えていて、思考力・判断力・表現力、何の知識を学ぶか、どんな技能を学ぶかということがきちんと整理されている、教科書としての質の高さを感じました。以上です。

藤本委員

リコーダーだけでなく、ギター、琴、太鼓、いろんな分野で打楽器に至るまですごく写真で分かりやすく揭示されているなと思いました。そして、きちんと音符も綺麗に書かれておりまして、良いなと思ったのが教育芸術社です。以上です。

波床委員

教育芸術社で良いと思います。基本的にリコーダーに関する部分がこの教科書は充実していると思います。それから、写真が多用されていて非常にわかりやすい。私、太鼓フェスティバルを見に行ったことがあるんですけども、もし生徒達が太鼓を叩くような音楽の時間があるんだとしたら、非常にいいんじゃないかな、ぜひ叩いてほしいと思います。

石元委員

私も教育芸術社が良いと思います。音楽（一般）の教科書と同じように、写真やイラストが大きく見やすいのでイメージがつかみやすいところ。音楽（一般）の教科書と同様に学びのコンパスのページが設けられているところ。また、楽器の説明も丁寧というところと、楽譜が見やすいと思いました。以上です。

阿形教育長

私も、大体皆さんと一緒なんですが、写真が多用されていてわかりやすいと思いました。また、リコーダーが大変わかりやすく書かれていると思いました。あと、教材の関連が視覚化されていると思いましたので、教育芸術社が良いと思います。それでは教育芸術社を選定する理由なんですが、まず一つは資料としての写真、音符がわかりやすく綺麗であるということ。それから、リコーダー学習が大変充実しているのではないかと。それから、学びのコンパスというコラムがすごく良いということですね。それから、太鼓などの日本の伝統楽器や打楽器が大変丁寧に扱われているのではないかと。そういったことで、教育芸術社を選定させていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

（11）【審議：美術】

竹内教育研究所長

続いて、美術について御審議いただきます。美術は、日本文教出版、光村図書の2社を御選定いただいております。

ります。

阿形教育長

それでは、美術の審議に入ります。日本文教出版、光村図書の2社について再度審議したいと思いますので、ご審議ください。

藤本委員

私は前にも言わせていただいたんですけども、美術を学ぶ内容を示しながら、授業の流れをうまく作っているのが日本文教出版だなと感じています。それと、生徒の作品が多くそれを取り上げて、表情が豊かな写真が多いなと思っております。そして、もう1つは写真が全体的に多く綺麗で、説明する文章が多くなく、本当に色彩の綺麗な写真、あるいは作品の色合いがきちんとできているなというのが、日本文教出版の方が良いなどの思いであります。ですけども、光村図書も和紙のような紙を使って示しているところなど斬新なところがあって、捨てがたいんですけども、どちらかというとなんか日本文教出版に傾きました。以上です。

波床委員

私もこの2社をよく比べた場合、日本文教出版が教科書としてふさわしいのではないかと思います。まず鑑賞力が高まることは日本文教出版を利用した場合に間違いありませんし、創作意欲という観点でも、藤本委員がおっしゃったように生徒達の作品を適宜織り交ぜながら構成されていますので、意欲も持たせる教科書ではないかと思います。以上です。

石元委員

私も日本文教出版を選びました。教科書が3冊に分かれているので、学年とか発達段階に合った教科書を選んで用いることができるということで、3年間系統を立てて学習できるようになっているのかなと思います。また、写真の色が綺麗に写っているので、こちらの方が好きだなと思いました。以上です。

森崎委員

私も日本文教出版を選ばせていただきたいと思います。前回もお話しさせていただいたんですけども、生徒の作品が多く出されていて、この教科書全体が芸術的に作られていると感じます。表題から、表現をしたいなと思わせる呼びかけだと思います。たとえば、2・3年生の下では、「私自身を見つめて」という表現、「心が動く瞬間」という表現、「やってみたいな、書いてみたいな」等とどういった思いで書いたらいいんだろうなというように、心の中の創作意欲をくすぐるような題目の表現の仕方がとても良いと思いました。以上です。

阿形教育長

私も日本文教出版が良いのかなと思いました。見開きページのインパクトがかなり大きいのと、先生方もおっしゃっていますけど作品や写真、資料が大変大きくて見やすい。子供達の見方・感じ方を養うということからすれば、作品とか写真が大きくて綺麗で見やすいというところから、日本文教出版を採択したいなと思います。

それでは、皆さん日本文教出版ということで、採択の理由といたしましては、まず1つは作品の写真、色合いが綺麗で、生徒の作品が多く、表情も豊かで、生徒の創作意欲が高まるのではないかなということ。そして、表現してみたいと思う呼びかけとか投げかけの言葉として多いのではないかなということ。それから、3年間系統立てて作られていて、使いやすいのではないかなということ。そういったことを選定の理由としてさせて

いただいてもよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(12)【審議：保健体育】

竹内教育研究所長

続いて、保健体育について御審議いただきます。保健体育は、大修館書店、東京書籍、Gakkenの3社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、保健体育の審議に入ります。大修館書店、東京書籍、Gakkenの3社について再度審議し、1社を採択します。御審議ください。

藤本委員

私は、大修館書店を選ばせていただきました。前にも申しましたとおり、3年間で48単位時間しか保健体育が無いわけなんです。1学年だと16時間ということで、大変少ない中で大修館書店では見開き1ページで授業を受け、そのあと資料として読み物教材など家へ持ち帰って家族の方と防災、命の大切さなど話しながら学べる教科書だと思いました。そういったところから一番良いのではないと思いました。

波床委員

大修館書店が内容も充実していますし、資料的な価値もありますし、他の教科書も良くできていますが大修館書店が少し抜き出ているかなと思います、大修館書店でよろしいかと思います。

森崎委員

私も大修館書店が良いと思います。いろいろな資料が整合性が高いのに、中学生にわかりやすく示されている。ここが良くできていると思います。以上です。

石元委員

私も大修館書店が良いと思いました。課題は現代とか実社会の課題が多く盛り込まれていて、生徒にとって理解しやすく、興味を引く内容となっている感じがします。また、1時間の学習が見開きの2ページで構成されていて、適切な量で学習できる作りになっていると感じました。以上です。

阿形教育長

私も皆さんと同じですが、大修館書店が良いと思います。見開き1ページで1時間がわかりやすいですし、全ての章に小学校で学習したことそれから高校に向けてがあって、系統立てて作られているなどと思います。資料もたくさんありますので良いと思います。今日的な課題もたくさんあって、国際平和、環境保全とか学ぶ観点からすればこの教科書が良いのではないかと思います。それでは皆さん、大修館書店が良いと言ってくださっていますので、選定の理由として、まず1つは見開き1ページでその時間の課題をはっきりさせて、学習することがはっきり示されているということ。それから、単元で系統立てて子供の興味を引くように工夫されていることが2つ目。それから、たくさんの優れた資料があって中学生にわかりやすく示されている。それから、

今日的な課題もたくさん取り上げられているということ。そういったことを選定の理由として挙げさせていただきますが、よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(13)【審議：技術】

竹内教育研究所長

続いて、技術について御審議いただきます。技術は、東京書籍、開隆堂の2社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、技術の審議に入ります。東京書籍、開隆堂の2社について再度審議し、1社を採択しますので、御審議ください。

阿形教育長

私は東京書籍が良いのではないかと思います。問題解決の基礎的なことが1ページに上手くまとめられていて、写真とかも上手く使っていると思います。子供が自らそれをやってみようという構成になっていると思います。また、技術の匠というコーナーがたくさんあって、ものづくりの職業観を身近に感じることができる教科書ではないかと思いました。

藤本委員

私も東京書籍を推させていただきます。38から51ページのやってみようの作業の工程が大変すばらしく、きめ細やかに掲示されています。経験の浅い先生でも、これだけ丁寧に写真を入れて載せていただいたら十分指導ができるのではないかと考えまして、東京書籍を推させていただきます。

森崎委員

私は開隆堂が良いかなと思っていたのですが、たとえば42ページの切断の項目を見ても非常に細やかな資料です。進め方がわかりやすく、先生方が教えやすいのではないかと思いました。以上です。

阿形教育長

東京書籍ということでよろしいでしょうか。

森崎委員

はい。東京書籍です。

波床委員

私も東京書籍が良いと思います。前回申し上げましたけれど、これからは情報技術、エネルギーの変換の問題とか重きをなしていくのは間違いなくて、そういうことに少しでも関心を高めるような教科書が望ましいと思っていて、東京書籍の方が開隆堂よりは難しいかもしれないですけども、ここに組み込んで欲しいという思いがあります。その意味で東京書籍を使っただけならと思います。

石元委員

私も東京書籍が良いと思いました。皆さん、おっしゃったようにTECH Labという基本の技術の説明では写真や解説がとても丁寧でわかりやすく掲載されています。問題解決例では、自ら問題を考えて、設定して解決していくというふうに生徒が自分なりに考え解決していけるような構成になっていると感じました。また、エネルギーと情報の内容にも力を入れていて良い教科書だと思いました。以上です。

阿形教育長

それでは、皆さん東京書籍ということで東京書籍を選定させていただきたいと思います。選定の理由としては基本的な技術を身に付けるときに示されている資料が写真等を丁寧に入れて、その工程がきめ細やかにされている。また、それをやってみようという生徒が意欲を持つようなものかなということ。そして、情報技術、エネルギーなど、これから大事にしていかななくてはならないものが上手く取り入れられて、生徒が興味・関心を持てるような内容になっているのではないかと。そして何より技術の免許がある先生が少なくなっていますので専門性のない先生が教えやすいのではないかとということを選定の理由として挙げさせていただきますがよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(14)【審議：家庭】

竹内教育研究所長

続いて家庭について御審議いただきます。家庭は、開隆堂、東京書籍の2社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、家庭の審議に入ります。開隆堂、東京書籍の2社について再度審議し、1社を採択します。御審議ください。

藤本委員

両方見させていただいて、肉じゃがだけではなくてサラダ、レンコンのきんぴらなど作ってみたい、西岡選定委員もおっしゃっていましたが時間数の少ない教科であります。家に帰って作ってみようということでレシピが書かれている内容が多い方を選びました。肉の料理で肉じゃがだけではなくて、ハンバーグ、餃子、チンジャオロースなど作りたいなと思わせる写真がたくさんありましたので、東京書籍を選びました。以上です。

森崎委員

私は、前回は牛井のところ写真が大きくてわかりやすい。すぐにでも作ってみたいと思わせる点で開隆堂を推薦していたのですが、品数が多いということも、とても魅力だなと思いました。教科書としては学ぶ量が多いかとは思いますが、これから持っていてずっと使っていけるのではないかとということから見ると内容が豊富で良いのかと思い、東京書籍を選びます。

波床委員

改めて2社を比較して見たんですけれども、どちらかというとまだ開隆堂の方が良いと思っています。作ってみるという観点から考えた場合、写真が大事。文字情報だけあった場合にそんなに作るかなと思うんです。

綺麗な写真を見てこんなものができるんだ、お母さんに教えてもらおうとかそういうのが良いのかなと思うからなのです。もちろん東京書籍も良くできていますし、どちらでも結構だと思います。以上です。

阿形教育長

やや開隆堂の方が、子供が取り組めるような写真が多いということですが、内容的にはどちらでもということではよろしいでしょうか。

波床委員

はい。

石元委員

私は東京書籍が良いと思いました。調理のところの美味しそうだな、やってみたいのも理由なんですけども実際に作ってみる、衣類の手入れなど158ページの「簡単な小物を作ろう」でティッシュボックスカバーやポケットティッシュケース、マスクケース、次のページですけれど、衣服のリフォーム・リメイクで環境に配慮して着れない服を再利用して着れるように作り変えてみようなど身近なものを自分で作れるよというところが役に立つ、すぐ実践できるなと思って良いなと思いました。説明のイラストや写真も綺麗でわかりやすいと感じました。以上です。

阿形教育長

2社はとても似ているので、実習のところの写真も綺麗ですし、写真のダイナミックさでいえば開隆堂の気もするんですが、授業の時間数も本当にありませんし、子供がやってみようとなると説明も見ながらとなりますのでどっちかなと思うんですけど。私も波床委員と同じで甲乙つけがたいなと思っています。3人の委員が東京書籍とおっしゃっていますが、私も甲乙つけがたいと思っていますので、東京書籍でよろしいでしょうか。それでは、選定の理由としましては、写真とか資料、特に調理実習のところで作ってみたいという意欲、それから家へ帰ってもやってみるレシピが東京書籍の方が少し充実しているところ。それから、ずっと使っていける内容が少し豊富なのではないかということ。なかなか甲乙つけ難いんですけどそういうことで理由にさせていただいてよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

(15)【審議：道徳】

竹内教育研究所長

続いて、道徳について御審議いただきます。道徳は、東京書籍、日本文教出版、光村図書の3社を御選定いただいております。

阿形教育長

それでは、道徳の審議に入ります。東京書籍、光村図書、日本文教出版の3社について再度審議し、1社を採択しますので御審議ください。

藤本委員

前にも言わせていただいたんですが、私は日本文教出版が良いなと思います。やはりいじめのところの配置が各学年、特に中学校1年の場合、3か所あってユニット化し、5月の道徳の時間できちんといじめのことが入っている。そして夏休みが終わって9月にまたいじめのことが入っている。そういった意味で一年間を通してして考えられた教科書ではないかなと思います。ただ、生命の尊重についてはユニット化していないところがあるんですけども、各学年で6教材程度入っていますので、そこでカバーできるかなと思っています。以上です。

石元委員

私も日本文教出版が良いと思いました。藤本委員もおっしゃっていましたが、1年間を通して複数回、いじめのテーマについて触れる機会を作っているという点。道徳ノートとの2冊からなっていて、自分の考えや振り返りを書き込むことで記録に残すことができる。また、それを家に持って帰って、親がチラッと見て考えを知ることができるとても良いノートだなと思いました。以上です。

波床委員

日本文教出版、いじめ防止教育に重点を置いて、多角的に検討している教科書というのはその通りだと思います。前回は申し上げましたが、1年生の番号19と20の「バスと赤ちゃん」、それと対比して「三人の乗客」、それから2年生の番号5と6、「五月の風」では立場を変えて生徒に考えさせるという工夫がされていて、同じ事柄でも立場を変えて考えてみたらどうだろう、問題ないかなという視点の工夫がなされている。日本文教出版は工夫がされているなと思っています。それから、道徳ノートが付録として付いていて、生徒が自分で考えをまとめたり、振り返ったりすることに適しているというのは事実だと思います。そして、命の重さを考えるという意味でも、例えば、2年生の番号25では、前回の教科書でもあったはずですが、猿渡瞳さんの話が載っておりますし、その意味では、命の重要性について自覚させる部分は確かにあると思います。しかし、命の重さを考える意味では東京書籍の方が優れていると思います。前回は言いましたが、命というのは自分の意志で生まれてきたものではない。それでは、命とは一体何なのか、生かされているとは何なのかということを考えなければいけないと思うのです。そういう問題設定もされて、きちんと展開されているのは東京書籍です。先日、ある方とお会いする機会があって、法律の世界では、自殺幇助罪といって、自殺する人を手助けした時、あるいは囑託殺人をした時にこれは犯罪とされているんですけど、これは一体なぜ犯罪になるのかということについて話す機会があったんですけど、その方は、命という認識についてやはり弱いと感じました。法律の世界にいる者にとってもそんなところがあります。しかし、命というものは、自分1人で生きてきて、自分1人で死んでいくということではないことは明らかですので、そういったことについて中学生くらいから十分勉強させるという姿勢が大事だと思います。繰り返し命の教材を学年ごとに取り扱っているという東京書籍はそういう意味で優れていると思います。日本文教出版がそのあたりが弱いと私は思っています。以上です。

森崎委員

日本文教出版の良いところは、いじめと向き合うユニットはたくさんあるのですが、その中には「視野を広げて」という項目があります。そこでは「いじめに至る前の自分の心と向き合う」、「怒りの感情に上手につき合う」や、「お互い認め合うためにどのような考えを持たなくてはいけないのか」であったり、単に人に対する以前に自分自身を見つめ直すという深いところに目を向けさせる役割を果たしているのではないかと思います。東京書籍は、集団や社会との関わりが9割を占めています。中学生が人間を作っていく上で土台になる話やこれからどうやって人と向き合っていくかということについて考えさせられます。その中の1つに命の

重さや尊さを考えさせる内容を入れていると考えるとどちらか悩みます。両方とも優れていると思います。

阿形教育長

私は、日本文教出版かなと思っています。一つは道徳ノートというのがよく考えられている別冊かと思っています。教科書に対応していますし、考える視点が示されています。自分へ振り返るということで自己評価もできますし、自分のこれからの行動にも振り返って見ていける一つの視点になるのかと思います。それから、いじめとか命の重さに関しては、波床委員や森崎委員がおっしゃっているように、命の重さに関しては、少し東京書籍の方が良いのかなという気もするんですが、いじめということに関しては、藤本委員がおっしゃったようにユニットで、時期をよく考えて入れるようにしているのかなと思います。私は、日本文教出版かなと思っています。ただ、波床委員や森崎委員の方から命の重さを考える意味では、東京書籍の方が取扱いが深いのではないかという御意見だと思いますので、もう少し議論していきたいと思います。いかがでしょうか。

藤本委員

英語と一緒に次回にするのはどうでしょうか。

阿形教育長

藤本委員から提案がありましたが、英語を次回に持ち越していますので、道徳に関しては心の学習でもあり、重要な教科でもありますので、東京書籍と日本文教出版がかなり拮抗していますので、道徳も次回に持ち越すということによろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、道徳につきましては、次回までに、光村図書もあるんですが、意見が出ています東京書籍と日本文教出版について再度勉強してくるということによろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それではそのようにさせていただきます。

これまで16の教科・種目の教科書について審議してまいりました。英語と道徳については再度審議を行うことになりましたので、16の教科・種目のうち、英語と道徳を除く14の教科・種目の採択を終了しましたので決議したいと思います。それでは読み上げます。国語、光村図書。書写、東京書籍。地理、日本文教出版。歴史、日本文教出版。公民、日本文教出版。地図、帝国書院。数学、啓林館。理科、啓林館。音楽（一般）、教育芸術社。音楽（器楽合奏）、教育芸術社。美術、日本文教出版。保健体育、大修館書店。技術、東京書籍。家庭、東京書籍。以上、14教科・種目を採択してよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、これで本日の採択会議を終了しますが、事務局から事務連絡等ありますか。

竹内教育研究所長

次回、第5回採択会議について御連絡申し上げます。第5回は、8月8日（木）の定例教育委員会において御審議をお願いします。場所は、市役所11階教育委員室です。内容は、英語と道徳の審議と9月からの公開にあたり、採択結果及び採択理由について、事務局でまとめたものを報告させていただき、御確認いただくものです。よろしくお願いいたします。

阿形教育長

それでは、本日はこれにて閉会とします。

第5回 教育委員会の教科用図書採択に係る会議

英語 採択審議

道徳 採択審議

令和7年度使用

和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程

教科用図書 採択決議

1 日時

令和6年8月8日（木） 会議開始時刻14：25 会議終了時刻15：48

2 会場

市役所11階 教育委員室

3 出席者

○教育委員

教育長	阿形	博司
教育長職務代行者	藤本	禎男
委員	森崎	陽子
委員	波床	昌則
委員	石元	和代

○教科用図書採択事務局

事務局長	奥山	由佳	（教育局長）
事務局次長	前北	博文	（学校教育部長）
事務担当課長	岩本	信哉	（学校支援課長）
	西谷	宣昭	（学校教育課長）
	竹内	圭	（教育研究所長）
事務局員	北林	直樹	（教育研究所専門教育監補）

4 議事

阿形教育長

それでは続きまして議案第26号「令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書採択について」の説明をお願いします。

奥山事務局長

先の7月臨時教育委員会において、第4回採択会議を開催し、御審議を深めていただき、令和7年度から使用する和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程教科用図書について、14教科・種目の教科書を決定していただいたところです。本日は、残り2教科の教科書について、改めて御審議いただき、本市の子供たちにとって最も適切な教科書を御採択いただきたくお願いいたします。その後、採択教科書の採択理由を御審議いただきたく存じます。それでは、これより説明を教育研究所長竹内に行わせませう。

竹内教育研究所長

本日の採択会議日程について御説明を申し上げます。まず、英語と道徳について、これまでの御審議

を踏まえ、採択いただく1社を決議していただきたいと思います。委員の皆様には、先に御選定いただきました教科書について、再度研究を深めていただいたところです。つきましてはその内容をもとに、本市が育てたい子供像を実現するにふさわしい教科書であるかを改めて御審議の上、1社を御採択いただきたくお願いします。その後は、令和7年度より和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の採択理由について御審議いただき、採択教科書及び採択理由を決定していただきたく思います。加えて、教科書採択に係る資料の公表の日程案についての御承認をいただきたく提案させていただきます。

阿形教育長

それではまず2つの教科の審議に入りたいと思います。

【審議：英語】

竹内教育研究所長

英語の御審議をまずお願いいたします。英語は東京書籍、啓林館、開隆堂の3社を選定いただいております。

阿形教育長

それでは英語の審議に入ります。東京書籍、啓林館、開隆堂の3社について、再度審議し、1社を採択したいと思います。委員の1人1人が改めてお調べくださったことやお考えになったことをお出しいただきながら審議を始めたいと思いますので、どうぞよろしくごお願いいたします。前回は啓林館と東京書籍が特に多くご意見もあったんですが、いかがでしょうか。

藤本委員

先日、私は1年生でかなり段階を踏んで、スモールステップである啓林館が良いのではないかと意見させていただきました。そして、今回はもう1度、2年生、3年生を重点に3社を見ました。すると、2年生でこのように、26、27ページに書かれているように、この二次元コードで英語が流れてきて、この写真を見ながら、英語を聞くという聞く力、「Listen & Think」。聞くことを評価するところの部分が良いと思っております。学習指導要領の聞くことの目標は、日常的な会話について、私であれば全部文章を追ってしまうんですけども、そういうことではなくて、必要な情報を聞き取る。それと概要を捉える。それから、社会的な課題について要点を捉える、こういうことができれば、単語を知らなかったとしても流してもいいんだということの勉強をするわけなんです。全て聞き取ろうとするのではなくて、聞く目的に応じて対応することが求められるというところが出来ているということから、「Listen & Think」、「Read & Think」というのが入っている啓林館が2年生、3年生を見ても、和歌山市の生徒に合っているのではないかなと思いました。以上です。

阿形教育長

啓林館の2年、3年も含めてスモールステップが良く出来ていて、それから、特に聞くことの評価、そういったあたりがすごく和歌山市の子供に合っているのではないかなという御意見です。他の委員の

方はいかがでしょうか。

森崎委員

私は和歌山の子たちにはというより、こうあって欲しいなという観点で、3年生を見ました。私は、東京書籍の方が良いなと思いました。1番のポイントは生活に実際に活用するということです。「Real Life」いうものがあります。実際に行くこと、実際の世界ということだそうですが、そこで英語をどうやって使うかというところをございまして、啓林館にもプロジェクトというところの中に、同じような活用の方法があるのですが、もう1回見直したときに、次に、高校に向かう人たちが、少し難しいですけども、こういうことに取り組んで欲しいという思いで、私は東京書籍の方を選ばせていただきたいと思いました。

阿形教育長

東京書籍の方がより生活に活用するという、そういったことはあるかなと、高校へ向けての繋がりなどそういったことですね。

波床委員

私もやはり、改めて対比してみましたけれども、啓林館が良いのではないかと思います。1つはですね、英語の基本も国語と同じで、読解力はやはり必要だと思うのです。リスニングとかスピーキングとか、そういう力をつけなければいけない。それはこれからの国際社会の中でそれは当然の方向で、そこに重点を置く教育に移行してきているのは当然わかるのですけれども、だからといって、リーディングをおろそかにしたり、あるいはスピーキングやリスニングに力が入り過ぎますと、やはり話したい内容が出来上がらないものですから、これについては、あくまで英語というのは、コミュニケーションツールであって、そのツールが使えたからといって内容が伴ってなければ、外国人は評価しませんので、その意味でいろんなことを日本で英語で読んでおくということが大事だと思います。そういう観点から見たときに、啓林館は日本の物語であったり、それから先程、2年の教科書で、藤本委員が「Listen & Think」でおっしゃられた長岡祭りのことにしてもですね、日本の題材に基づいて、こういうことを学ばせようとしている、そういうものが非常に多いんですね。従って私は、生徒たちが興味を持って、英語を楽しく学ぶという観点から見ても、啓林館の方が良いのではないかと思います。少し見方を変えて言えば、東京書籍の文法がかなり高度であり見開きの2ページの間を書いてある文法の知識量というのは、情報量が詰まり過ぎていると思うのです。啓林館も見開きの2ページのところに、文法的なことに触れた部分は、かなり情報量があると言えばあるんですけども、東京書籍に比べたら少しそのあたりは負担感が少ないかなと思います。私の信念として、文法は少々間違っても構わないと思っているんです。ただ、伝える意欲があるかどうか、学ぼうとする意欲があるか、それが大事だと。そういう観点から、小学校から少し、私の懸念するところでは、あくまで憶測になりますけれども、少し、詰め込み授業的な負担感が子供たちに、芽生えてきてるんだとしたら、中学校の教科書こそ非常に大事な時期でして、そういう観点からも、私の懸念が正鵠を射ているのであれば、啓林館のほう望ましいであろうと思います。以上です。

石元委員

私は、前回、第1が東京書籍で第2が啓林館とさせていただいていたんですけど、この順位は今のところ変わってなくて、やっぱり文法の説明が丁寧なことを、波床委員は、情報量が多いかなとおっしゃっていたんですけど、それもとてもよくわかります。話す勇気や話す姿勢が1番大切だということも十分わかるんですけど、何も知らないと逆に、何単語しかしゃべれない。ある程度、型はこんな型があるよ、主語の次は述語、述語を並べたらいいよという型を教えてもらった方が、逆に話せるというパターンもあると思うんです。あと長文が、いろいろ厳選されて良い文章を選んでくれているなどというのも良いところだなと思ってしまして、3年生の東京書籍のUnit 1の日本文化で「What is special about Japanese pop culture?」があるんですけど、本当に今、海外の方はすごい日本のアニメなど日本の文化に興味を持ってきて留学してくれるという学生もとても多いんです。なので、現在のことを扱ってくれているなど生徒にも意識してもらえていいなと思います。ちょっと内容的には高度かなというところもあるんですけど、これぐらいやってもらえたら高校受験や、その先も楽になるなと思います。1回読んで、全部わからなくても良いと思うんですよ。全部わからなくても良いけど、初め読んだときに、3割ぐらいわかって、次、授業を受けて、半分ぐらいわかって、また家に帰って復習をしたり、何ヶ月経ってとか、1年経って受験のときにもう1回復習して、8割ぐらいわかったなんて、そんなのでもいいと思うんですけど、英語は長い時間かかるし、繰り返しが大事だなと思うんですけど、そういう長い目で見ても、やっぱり東京書籍は良いテキストだなと感じます。あと、啓林館も教科書とICTの活用の学びの仕方が上手くいっているなと思ってまして、動画の再生速度を調節できたり、スクリプトを見れたり、生徒が家で、もし学習するんだったらちょうど良いテキストかなと思って、あと小学校からの引き続きの連携と考えたら、良い教科書だなと思いました。東京書籍、啓林館どちらでも良いと私は思います。

阿形教育長

私は前回の東京書籍と言わせてもらっています。啓林館の方が本当にもしかしたらスモールステップで、小学校も啓林館に変わったんですけどもまだ使い始めて少しですので、今後、どうなるかわかりませんが確かにこのスモールステップでこの子供たちが学んでいけるそんな教科書かと思います。苦手な子ももしかしたらその小学校の流れの中でやれるかと思いましたし、結構、馴染みのある文章もたくさんありました。ただ東京書籍も結構、子供が知っている内容の長文がたくさん扱われていたり、日本文学についても先程から波床委員がおっしゃっていたり、だけど石元委員がおっしゃっているようなところも取り上げられたりとか、どちらがいいかなと迷うんですけども、ちょっと難しいかなという気がするんですけども、1年から3年へ学習の流れが明確でわかりやすく、先生がもしかしたらうまく使えたらわかりやすいのは東京書籍の方かなという気がします。だけど、本当に甲乙つけ難いと思いますので、開隆堂は外させていただいて、もう少し2社で議論したいなと思います。どちらも本当に工夫されていると思いますし、高校受験とか控えた時にやっぱり文法というものも大事にしていけないというようなお考えもあるし、でも英語嫌いを作ってはいけないとそういうこともあります。学ぶ意欲、伝える意欲というのはまずわからないと英語嫌いになるのではないのか、でもやっぱり文法というのもわかりやすく工夫されているなど2社はお互いちょっと作り方が違うのかなと思います。大体拮抗しているんですけど、これだけ意見が分かれているわけですから、どちらを選んでも問題がないと思います。

藤本委員

令和6年4月の県の到達度調査を見て、先程、西谷課長も話していただいたんですけども、1年生がそんなに県内で変わらずにいるんですけども、2年生、3年生になったら、「聞くこと」がものすごく落ちてくる。そういう和歌山市の状況があるので、本当は東京書籍ぐらいのをやって欲しいんですけども英語苦手な私からしたら難しいかなという気がするので、感想なんですけども、そういった現状があります。以上です。

阿形教育長

まず、「聞くこと」というのを重視してということですね。そういうことからいくと啓林館の方がなじみやすいのかなと。

藤本委員

レベルはもうやっぱり大分良いですよ。東京書籍は。

阿形教育長

そうですね。先生方が上手く使いこなせるかとかいうことがあって、そこで、上手く使いこなせなかったら英語嫌いを作ってしまうのではないのかなということがあって、ただ内容的にはこれぐらいは理解して欲しいなという、反対から言えばそういう意見もあるということで、小学校からの繋がりということから見たらどうですか。啓林館の方がスムーズに入れそうな感じですか。

森崎委員

啓林館ですよ。

波床委員

1番最初小学校の時、開隆堂を選んだんですよ、それで少し工夫がということで啓林館に変わったんですよ。啓林館、開隆堂の系列の教え方というかそれを引き継いだのはやはり、中学校でもそれは啓林館、開隆堂ですよ。

阿形教育長

そうですね、どちらかというとな開隆堂のイメージの作り方ですよ。

森崎委員

見開きで左側ページに文章があって、右は問に対して解答していくページになっています。東京書籍と良く似ていますよ。

でも、後半までずっと続いて、途中で長文も入っています。バランスが取れているかもしれないですね。これも東京書籍の文法に関してこれまでと比べたら、随分、文法をわかりやすく色使いをしたりしていますけどね。

阿形教育長

前日も石元委員の方から、文法の説明がすごくわかりやすいとありましたけれども。

石元委員

そうですね。色分けしたり矢印を使ったりしてですね。

阿形教育長

英語が苦手な子が中学になって増えていくという、そういうことや先程の学力調査の結果ということから見て、啓林館を選んだから絶対にそうなるかはわかりませんが、今の時点で、こっちの方が生徒になじみやすく、特に中1で小学校の英語から中学校に変わっていくときに、啓林館の入り方が、特にスモールステップで、最初聞くところから、入って、そして読み、書く、話す、そしてまた書くという順番が割と、整理されてる気がするので啓林館ということにしましょうか。現在は東京書籍を使っているんですけども、小学校は啓林館です。それでは、英語が苦手な子を作らない。そういったことから各章ごとにスモールステップであるなど、それから、接続にすごく配慮されている。それから日本のすくなじみのある教材が使われている。そういったことから、啓林館を今回採択させていただくということによろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、今申し上げましたけれど、小学校との接続に配慮しており、学習の進め方でスモールステップ、それから日本になじみのある教材が配置されているということで啓林館を採択させていただきます。

【審議：道徳】

竹内教育研究所長

続きまして、道徳の御審議をお願いいたします。道徳は東京書籍、日本文教出版を御選定いただいております。よろしくお願いいたします。

阿形教育長

それでは次に道徳に入ります。道徳は、前回、東京書籍と日本文教出版で、前回、いじめのところをすごく重点的に上手く配置していると日本文教出版については御意見いただきました。ただ、命の大切さということに関しては、東京書籍は優れているのではないかと、そういった御意見がございました。日本文教出版、東京書籍の道徳について再度、御意見いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

森崎委員

もう一度いじめの観点から、3年生の方向に目を向けて見させていただきました。33ページを御覧ください。少し驚いたのがですね。ブロック会の話し合いの中で、ここに出てくる言葉が、生徒の言葉に近いものを挙げておられるのではないかと思います。「相手が傷ついていることに気づいていないからいじめめるのではないか。」という質問に対して、「気づいていながらわざといじめている人もいる。」

「相手の痛みがわかればやめようとする気持ちが起きると思う。問題は本当にわかろうとするからだ。」

「さん、君」をつけて相手を呼ぶなど言葉遣いを丁寧にしたたり、挨拶運動をしたりするときに、いじめが少なくなるのか。」ということに対しての「言葉遣いを丁寧にするだけで挨拶するだけではいじめや問題が解決しない。」とあります。そのようなやりとりの言葉が、非常にリアルで、今の生徒の思いに近いものではないか。現実味を帯びていて、若者の声を代弁しているかのように私は感じました。46ページのピアスの話も、オリジナルかもしれませんが校則のことになっています。私の国では、このピアスをするのは当たり前なんだよという外国から来た転校生が話すわけなんですけど、このように、国の文化の違いを上手く捉えていて、日本の今の学則の見直しにも関連してくるのではないかと感じました。このように身近なことの問題に対しての取扱いをされている。そういう意味合いで、東京書籍の方でと思いました。私は最初は日本文教出版にさせていただいたんですが、以上です。

石元委員

前回は、日本文教出版が第1で、第2が東京書籍にさせていただいていたんですけども、日本文教出版は、1年を通して数回にわたっていじめのテーマに触れられている機会を作っているところが素晴らしいなと思って、あと道徳ノートも別冊で付いているので、これも活用できそうだなと思いながらもう一度両方見たんですけど。東京書籍は、命についてのテーマをたくさん取り上げられています。命について、いじめについても、考えてみたんですけど、命を大事にするということが、自分の命も、人の命も大事にするって捉え、広く言ったらいじめの問題につながって、いじめについても考えることができるということを感じました。そして道徳の限りある時間の中で、全部の項目をするのはとても大変だと思うので、この道徳ノートを本当は活用して欲しいなと思いますけど、これも付いてくると、何か余計に負担になったり、ここまでの時間がないかと思ったり、なるべくたくさん、時間がある限りこの中の、物語とか問題を読んで向き合ったり、話し合ったりする時間をとって欲しいなと思いました。なので、今回は東京書籍にしたいと思います。

波床委員

私も前回から対比して、東京書籍と日本文教出版を新たに読み比べたんですけども、やはり命の重さなどそういうものに関しては、東京書籍の方が充実していることは否定できないのだと思います。それで命とは一体何なんだということの問いかけがですね。教育の場で、本当に十分できているんだろうかということ考えたときに、今回は選定していないですけど、ある教科書会社の教科書には、「命はなぜ大事なんだろう。時計のように壊しても、命は元に戻せないからだ」という切り口で、述べている教科書があるんですね。私はこのような考え方しかできないというのが非常に悲しいんです。命というのは、そんな元に戻らないからというものなんだろう。元に戻るような技術が開発されたら、命は奪っても構わないのということにすらなってくるわけですね。現に医療技術が非常に進展してる時代です

ので、命とは一体何なのかということも改めて問いかける時代に入ってきていると思うんです。命というのは、やっぱり自分の力で生まれてきたわけでもありませんし、1人で生きているわけでもありませんし、死ぬときも、だから自分1人で、死んでも何も問題ないではないのというような程度の発想しかない。そういう生徒たちがそれなりにいるのではないかという気がしてならないのです。でも、命はそんなものではないですよ。従って、改めて命ということをお聞きしたい。そう思いますのは、最近、テレビとか報道を見ていて、我慢ならないのが、簡単に人の命が奪われているのに、報道されるものは人数でしかないんですね。1人1人に生活があって、現に生きていたという現実が、きちんと報道されることは非常に少ない。こんな時代だからでもあるし、いじめ問題。ある女子生徒が、執拗ないじめを受けて、それで人間の尊厳を害されるようなことを強制的にさせられたりした上で転校までしたのに、寒い川に飛び込んで自殺するということがあったと思いますけれども、ああいうふうなことが起こるのも、やはり命ということをおきちんと考えていないからなんだと思うんです。それが非常に気になるんですね。他方で、翻って考えてみますと、日本文教出版がやはり優れていると思いますのは、立場を変えて物をお考えてみましょうという教材が、これまで2回にわたって申し上げましたけどあります。命に関しても、やはり立場を変えて考えるという教材がさらに必要だと思います。自分がそういう目にあったらどうなのというのが1つの問いかけですし、誰々がこんなことしたからいじめたり、あるいは場合によってちょっとぐらい行き過ぎたってそれは誰々が悪いのではないのというような言い分だって、通らないのか通るのかということはきちんと考えた方がいいと思うからなんですね。そういう観点からすると日本文教出版の教育手法の中には非常に良いものがあるって、東京書籍なんかでもそういうものをぜひ影響をお受けしたいとは思っていますけれども、全般として、私は命の重さに関しての教育という観点から見たら東京書籍がやはり優れているなと思います。石元委員がおっしゃったように、いじめの根本はやはり命みたいなところもありますので、そういう観点からも、東京書籍を第1順位として維持させていただきたいと思います。以上です。

藤本委員

私は今度新たに特別の教科道徳の評価の観点から考えてみました。生徒がいかにか成長したか、これを積極的に受け止めて、認め、励まして個人内評価で、記述式で、評価を行い、生徒指導要録、最後に卒業の時にも、1年生、2年生、3年生の最後に、教師は書くんですけども、その指導要録にこの子はこんなにして伸びたよ、道徳的価値を理解して、それを実践力を持って行ったよというようなところを認めて記述式で書くというのは評価になっています。そうした意味で、1時間単位の授業だけでなく、学期、あるいは年間を通して、子供1人1人、35名の1人1人の良いところを必ず見とれるかということは、私は自信はないです。そうしたときに、この道徳ノートがあれば見返すことができる。先生が集めて、最後にチェックしておいて、それで良いところ、伸びたところをチェックできるという良さがあると思うんです。ただ、東京書籍も内容的にはすばらしいし、この東京書籍の指導書を買うと必ずCD-ROMが付いていて、そこからダウンロードして、道徳ノートのようなものに直結できるわけなんですけど、それをしていただけたところは良いんですけども、ないところはプリントもなく、この教科書一本でいってしまう。後に評価が残るかどうかわからないので、それはやっぱり記述をしないでいけませんので、そういった意味で、やっぱりポートフォリオとして残っていく。評価が残っていくのを見て、先生方は最後にそれを見て評価をしやすいのではないかなという意味で、

日本文教出版を選びたいと思っております。以上です。

阿形教育長

私も前回、日本文教出版が特にいじめについては、きちんと1年生で3つユニットがあって、2年生、3年生で2つであります。また、よりよい社会を考えるということが1年生が2つで、3年生、2年生が、3つということで、まず、入学当初の時期も含めて、いじめということにすごく力を入れている、そういう教科書かなと思いましたが、ただ、波床委員から御指摘があったように生命尊重、命の重さという観点では東京書籍の方が確かに、いろいろと教材も充実しているかなと思って、両方見させていただきました。藤本委員ともよく似ているんですけども、やっぱり道徳ノートというのが先生が指導するときに、後々、大事になってきて子供たちも自己評価したりとか、記録が残っていくというのがすごく良いのかなと。ただ石元委員がおっしゃったように使い切れるかなとか、道徳は35時間しかないので抜けることももしかしたらあるかもわかりません。そこは使う先生次第かなという気がします。それから日本文教出版は視野を広げてというところで、いくつかいじめのこととか、安全な生活とか情報社会、多様性とかいろいろ多岐に分かれています。いじめのところ、1年生のところで傍観者の立場というものを両方の立場からやっぱり傍観していたら駄目なんだよ、いじめの加担者なんだよと、ここはすごくいじめの本当に象徴的な場面でこの傍観者の子が、声を上げてくれることでやっぱりいじめられている子供はすごく助かる。でも声を上げると、今度自分が標的になるかわからないとか、そういったことがすごく詳しくわかりました。いじめも最終的にやっぱり命を失うとか、そういうところにつながっていきますので、いじめということを中心に、より子供達にこのいじめについて考えてもらうことによって命の大切さとかそういうところに繋がるのかなと思ひまして、日本文教出版の方かなと思っております。でも確かに東京書籍の方もすごく良くできた教科書で、たくさんの生命尊重の教材がユニット化されていますし、中学生が、人の命の重さについて考えることができる教科書かなと思ひました。ですので、甲乙つけ難いですが、日本文教出版の方が先生方がいろいろ評価するとか使いやすいかなと思ひます。今のところ、東京書籍の方が3人いらっしゃって日本文教出版は2人です。私も日本文教出版でも東京書籍でも問題はないかなとは思ひますけれども、どうでしょうか。

波床委員

私も東京書籍のことを強く言ってますけれども、そんなに差があると思ひているわけじゃないんです。どちらも本当に良く出来ていて、あとは先生方の使い方といいますか。そういうところもありますので、特に東京書籍じゃないと譲らないとそんな気持ちは全くありません。

阿形教育長

本当に今、御意見を聞いても、どちらの教科書もすごく良く作られているし、教材もたくさんありますし、それぞれの教科書に出てくる方からのメッセージも、デジタル教材も大変充実していると思ひますし、学びのヒント的なものも随所に出ていますし、本当に甲乙つけ難いと思ひます。しかし、一応、3人の方が東京書籍を上位にされていますし、私も含め皆さん、東京書籍も良いと思ひますので、東京書籍にさせていただきますでしょうか。

森崎委員

評価のお話があったので、書くことによってまた自分に振り返るといふ生徒の思いもあるでしょう。

藤本委員

初回にも言わせてもらったんですよ。私は道徳をやって欲しいんですよ。私の時には、明治天皇を尊厳する修身があったということで、GHQも昭和26年に道徳を排除して、33年までかかった。けど領域になったわけなんです。その昔があったんだけど、今の子はやっぱりきちんとこんな良い教材、東京書籍であっても日本文教出版であっても、ものすごく良いのに授業が本当に出来ているのかどうかというところに私は懸念するわけなんです。1番大切な道徳が、もうないがしろになっているわけなんです。そこを懸念しているんで、どちらでも私は結構です。

阿形教育長

本当にどちらも良く出来た教科書です。多数決で決めるわけではないのですけれど、東京書籍を1番にされている方が多かったですし、他の方も東京書籍も良いと思っておりますので、東京書籍ということでさせていただいてよろしいですか。理由といたしましては、生命尊重の教材が、各学年で大変充実している。中学生の人格を作っていく土台となる命の重さについて、かなり深く考えることが出来る教科書である。また、いじめに関する題材も充実しておりますので、東京書籍ということにさせていただきますが、よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

これまで5回の審議を受けた採択理由について、事務局案を報告してください。

竹内教育研究所長

教科種目ごとに採択理由の事務局案を申し上げます。資料2を御覧ください。順に申し上げます。

国語 光村図書

学びのカギ、学びの扉など、学習の流れやポイントがわかりやすく示されており、生徒が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。また、名作をはじめ、様々な教材がバランスよく掲載されている教科書である。

書写 東京書籍

文字を整えて書くためのポイント「書写のかぎ」を示すなど、学習のポイントが焦点化されており、文字が大きくて読みやすい工夫がなされている。また、「書写活用ブック」の活用により、生徒が使いやすい教科書となっている。

社会 地理的分野 日本文教出版

単元を貫く問いがしっかりしており、主体的で対話的な学びが進むように工夫されている。1時間の学習課題や見方・考え方、まとめ・振り返りまでが見開きの2ページに示されており、多くの写真や図表に加えて、思考ツールも活用されているため、生徒も教師も使いやすい教科書である。

社会 歴史的分野 日本文教出版

歴史の見方・考え方を働かせながら、個人思考や対話的な学びを通じて、1時間の学習が進めやすい教科書で、また大きく見やすい資料が適所に配置されており、近現代史や人権学習も充実している。

社会 公民的分野 日本文教出版

単元を通した具体的な問い、導入資料と学習課題、見方・考え方が示されており、問題意識を持って学びながら、最後にまとめ・振り返りで学習の定着を図っている。地理・歴史とのつながりや中学生が社会に参画するための手がかりも示されている。

地図 帝国書院

色調が鮮やかで濃淡がはっきりしており、立体的な色使いのため見やすい。また、鳥瞰図や統計的な資料、比較表など資料が豊富に掲載されており、地図帳を出発点として、地理・歴史・公民の学習につなげることが出来る教科書である。

数学 啓林館

章の進め方がスモールステップになっており、基礎・基本が大事にされているため、生徒にも教師にもわかりやすい教科書である。また、生活の中にある身近な課題をたくさん取り扱っており、デジタルコンテンツも充実している。

理科 啓林館

課題解決学習が重視されており、探究・追究の流れが具体的である。物理・化学分野についても、わかりやすい表記がなされている。また、資料や写真が美しく、事象の変化が細かく表されていて、生徒の興味を引く工夫がなされている。

音楽 一般 教育芸術社

紙面構成がわかりやすく、楽譜が見やすいように配置されている。また、鑑賞力を高める工夫がなされており、日本の伝統音楽についても注力されている。音楽と関わりを深めて、主体的に学ぶことができる教科書である。

音楽 器楽合奏 教育芸術社

リコーダーだけでなく、太鼓など打楽器についても詳しく取り扱われている。楽器の演奏についてわかりやすいように、写真や解説が見やすく構成されており、生徒自身が学びを進められる教科書である。

美術 日本文教出版

生徒の作品がサイズも大きく、数多く掲載され、生徒の創作意欲をかき立てる工夫がなされている。3分冊構成で、学年ごとに系統立てて、生徒の見方・考え方を養う教科書である。

保健体育 大修館書店

運動による体の発達の機能について詳しく記載され、豊富な資料も掲載されており、読み物資料も充実している。学習課題がわかりやすく生徒が興味を引くような構成になっており、主体的に学ぶことのできる教科書である。

技術・家庭 技術分野 東京書籍

基本的な技術を身に付けるために写真など実技の作業工程がきめ細やかに構成されている。今日的な課題である情報技術、エネルギーについても興味・関心が持てるように学習できるよう工夫されている教科書である。

技術・家庭 家庭分野 東京書籍

調理のレシピが数多く記載されており、わかりやすいように大きな写真や資料も載せられており、調理したくなる意欲を持たせる工夫がなされている。家庭での学習も、生徒自らが進めていけるように内容が充実している教科書である。

英語 啓林館

各章ごとにスモールステップで進められており、小学校と中学校の接続に配慮し、すべての生徒にも寄り添った教科書である。日本語でもなじみのある教材が配置されており、楽しく学ぶことができる。

道徳 東京書籍

生命尊重の教材が各学年でユニット化されており、中学生が人格を作ってく上で土台となる命の重さについて深く考えることができる教科書である。また、いじめに関する題材も充実しており、学年が上がるにつれて、多角的に考えを深められるような題材設定がなされている。

以上が事務局案です。お諮りください。

阿形教育長

ありがとうございました。ただいま事務局から採択理由についての案がありましたが、御覧いただきまして、何か御意見とかございませんか。

波床委員

よろしいですか。3点あります。まず社会の歴史的分野の文章なんですけど、個人思考や対話的な学びを通じてとなっているわけですけども、上の地理的分野については主体的で対話的な学びが進むようにという表現があって、個人思考という言葉と、上の主体的という言葉とこれが違う形で対比されている

んですね。これ、主体的で対話的な学びというので統一はできないんでしょうか。

竹内教育研究所長

内容的にも主体的で対話的な学びの方が学習の進め方は問題解決学習としても共通しているところが多いので、よろしければ統一したいと思います。

波床委員

この個人思考って、ちょっと慣れない言葉ですし、それから指導要領的な表現からしても、主体的で対話的な学びでワーディングが1つの定型文言だと思いますんで、これが利用できるんでしたら、これに統一したらどうかと思います。

阿形教育長

それでは事務局、地理的分野の表記、主体的で対話的な学びという表現に、歴史的分野の方も、個人思考で対応的な学びというのを、主体的で対話的な学びと変えていただくということでよろしいですか。

竹内教育研究所長

はい。

波床委員

それでは2点目よろしいでしょうか。2ページの音楽（器楽合奏）のところなんですが、リコーダーだけでなく、太鼓など打楽器についても詳しく取り扱われているという文章があります。私の感覚では、リコーダーについて、もう1社よりは詳しく取り扱われているという点に特徴がありますし、太鼓など打楽器についてもわかりやすく取り扱われているという感覚があるのです。リコーダーだけでなく、太鼓や打楽器についても詳しく取り扱われているとなると、太鼓、打楽器について、そんなに詳しく取り扱っていたかなという感覚がどうしても出るので、ちょっと私の感覚にすぎませんので、これは単なる意見ですけども。

阿形教育長

いかがでしょうか。教育芸術社の方は、リコーダーのところは特に詳しくて良いという意見が多くて、また太鼓なんかについてもやっているんだけど、この書き方だとリコーダーと並列というか、どっちも詳しくというような感じになるので、この表記をリコーダーの方が、より詳しく丁寧で、太鼓とか打楽器についても取り扱われているということが、そういった内容から、ここを少し変えていただくということでどうでしょうか。

竹内教育研究所長

訂正させていただきたいと思います。

阿形教育長

リコーダーはとにかく詳しく扱っていると、それ以外のものも扱っているけど、リコーダーをちょっと強調して欲しいということだと思ってしまうのでそうですね。

波床委員

お願いします。もう1点です。これは単なる文字だけの問題なんですが、3ページ目の英語の啓林館、2行目すべての生徒にも寄り添った教科書である、「も」はいらぬんじゃないですかね。

阿形教育長

抜いてください。よろしくをお願いします。他に何かございませんか。

森崎委員

保健体育のところですか。運動による体の機能の発達についてではないでしょうか。ただ、機能の発達ではなくて、発育も詳しく書かれているんですけども、機能の発達ではどうでしょうか。

阿形教育長

発達と機能を入れ替えた方が、文章的には運動による体の発達の機能についてと書いているんですけど、運動による体の機能の発達についての方が通りやすいではないかなということですがいかがでしょうか。流れ的にはそんな感じがしますが。

森崎委員

機能の発達だけではなくて、発育もよく詳しくされているんですけども、これだけ運動によるだったら機能であって、機能は発達、形態の成長を発育というのですが、どうでしょうか。

阿形教育長

それでは発達と機能を入れ替えるともう1点付け加えた方が良いでしょうか。

森崎委員

大修館書店の解剖学的な視点からすると、機能の発達と形態の発育、体がこんなに大きくなりますよというのも両方ともが優れて書かれていたと、ひっくりめたらもう成長ということになるんですけども。

阿形教育長

森崎委員の方から運動による体の機能の発達と体型の発育について詳しくしたり、両方入れた方がいいのではないのかというご意見ですけども。

森崎委員

運動による機能の発達などをつないでもいいかな。

阿形教育長

それでは、運動による体の機能の発達などについてという形にしましょうか。そのなどの中に体型の発育も含まれているということよろしいですか。

森崎委員

はい。

阿形教育長

他ございませんか。英語と道徳については、急でまとめきれていないかわかりませんが、もっとこんな文言を入れたほうがいいのかあればお願いします。よろしいですか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、この採択理由につきましては、今いろいろ御指摘いただきましたので、一部を修正した上で、事務局案のとおりとしたいと思います。よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、採択理由につきましては皆様に御承認いただいたということ令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書再度確認いたします。この資料1を御覧いただけたらと思います。

国語につきましては、光村図書出版株式会社。

書写につきましては、東京書籍株式会社。

社会地理的分野につきましては、日本文教出版株式会社。

社会歴史的分野につきましては、日本文教出版株式会社。

社会公民的分野につきましては、日本文教出版株式会社。

地図は、株式会社帝国書院。

数学は、株式会社新興出版社啓林館。

理科は、株式会社新興出版社啓林館。

音楽一般は、株式会社教育芸術社。

音楽器楽合奏は、株式会社教育芸術社。

美術は、日本文教出版株式会社。

保健体育は、株式会社大修館書店。

技術家庭技術分野は、東京書籍株式会社。

技術家庭家庭分野は、東京書籍株式会社。

英語は、株式会社新興出版社啓林館。

道徳は、東京書籍株式会社。

以上を採択結果とし、採択理由とともに決定いたします。よろしいでしょうか。

委員一同

はい。

竹内教育研究所長

続きまして、令和6年度教科書採択に係る資料公表の日程についての御承認をいただきたく存じます。資料3を御覧ください。採択結果と理由、選定委員及び調査員の氏名については、令和6年9月2日を目途に、また議事録、選定委員会答申資料及び調査員調結果資料については、9月定例教育委員会において公表資料の確認と承認をいただいた後に、10月1日を目途に公表させていただきたく思います。公表は市庁舎1階資料コーナー及び市ホームページにて行います。御審議のほどよろしくお願ひします。

阿形教育長

ただいま資料公表の日程等について説明がありましたが、これでよろしいでしょうか。9月1日が、日曜日になっておりますので、2日となっております。

委員一同

はい。

阿形教育長

それでは、事務局案の通り公表することといたします。他に何かございませんか。特になければ、これもちまして、令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書についての採択審議を終了いたします。どうも長時間にわたってありがとうございました。